

八戸市美術館

Hachinohe Art Museum

令和4年度
(2022年度)

年報



1. 展覧会+プロジェクト	持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから	4
	コレクションラボ001 舟越保武展—静謐に佇む	14
	ジャイアント食堂	17
	まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!	21
	コレクションラボ002 地をみつめる	29
	八戸市美術展	33
	佐藤時啓 —八戸マジックランタン—	36
	コレクションラボ003 七尾英鳳—花鳥風月を愛でる—	44
2. コレクション	収集	48
	管理	50
3. アートファーマー	建築ツアーガイド	52
	きむらとしろうじんじん八戸野点2022	54
4. 学校連携	学校連携プロジェクト	58
	大学資産を活用したアートの学び事業	60
5. イベント	ゴールデン・ジャイアント・ウィーク (GGW)	63
	ジャイアントサマー	66
	開館1周年! 美術館の誕生日	68
	あそらぼ2022～高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展	70
	帆風美術館×八戸市美術館共催「新春屏風展」	73
6. その他事業	5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN	75
	はちとまネットワーク	76
7. 貸館	貸館	78
8. データ	入館者の状況	83
	広報	84
	八戸市美術館運営協議会	85
	運営(決算・組織)	86
	関係規約	
	八戸市美術館条例	87
	八戸市美術館条例施行規則	90
	八戸市美術館美術品等収集委員会規則	93
	施設概要	94
	沿革	96

1. 展覧会+プロジェクト

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

1. 開催データ

会期 | 2022年3月19日(土)～6月6日(月)

開催日数 | 69日間

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ

観覧料 | 一般800円(700円)、小・中・高校・大学生100円(80円)

※()は20名以上の団体料金

※未就学児、八戸市内及び近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の小・中学生は無料

※市内の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額

※民間駐車場利用の場合、運転手1名分について団体割引適用

※フリーパス「かおパス」 一般1,200円、小中高校・大学生150円、65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方600円

入場者数 | 5,005人

※2021年度=578人、2022年度=4,427人

図録 | B5、88頁

編集：篠原英里・平井真里、執筆：篠原英里、デザイン：佐々木遊(東北のデザイン社)、発行日：2022年3月19日(土)、発行：八戸市美術館

ポスター | B2

デザイン：佐々木遊(東北のデザイン社)

チラシ | A4、2頁

デザイン：佐々木遊(東北のデザイン社)

ハンドアウト | A3、2頁(作品リストおよび展示マップ)

主催 | 八戸市美術館

協力 | 八戸市博物館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

後援 | NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、コミュニティラジオ局BeFM

展示作家 | 池田恭三、石橋宏一郎、石橋忠三郎、今川和男、岩織治、宇山博明、大久保景造、久保田政子、小島恵次郎、佐々木泰南、島岡達三、月館れい、東郷青児、豊島弘尚、名久井由蔵、七尾

英鳳、西村健次郎、橋本雪蕉、八戸市立鮫中学校版画グループ、八戸市立湊中学校養護学級生徒、樋口猛彦、福勢喜一、福田剛三郎、福田寛、松村外次郎、棟方志功、村井芳流、和井田要、渡辺貞一

会場構成 | 佐藤慎也

映像撮影編集 | 神智

広報物デザイン | 佐々木遊(東北のデザイン社)

担当学芸員 | 篠原英里、平井真里、山田泰子

2. 事業内容

約5年ぶりの収蔵作品展。作品(モノ)が語ることと、人が作品を語ることの2つの意味での「モノガタリ」の持続をテーマにした。八戸市美術館のコレクション約3千点および八戸市博物館と八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の資料から、約110点を3章構成で展示した。

第1章「歴史をモノガタリ—コレクションの成立」では、八戸市全体のコレクションから、美術館のコレクションの歴史を辿り、新しい美術館の背景や時間的な奥行きを紹介した。

第2章「土地をモノガタリ」では、八戸市の風景や暮らし、民俗を描いた、土地を物語る作品を中心に展示。

最後に第3章「交流をモノガタリ」では、八戸における人と人の繋がり、作家たちの交流のモノガタリを紹介した。

さらに、本展のために撮り下ろした作家・関係者へのインタビュー映像を、会場内の各章で上映。この映像は、作品鑑賞を助けると共に、貴重な記録資料となった。加えて、モノガタリカードや篠原部屋などの、美術館スタッフと鑑賞者とのコミュニケーションを促進する仕掛けを設置した。

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

3. 関連イベント

「持続するモノガタリ」オープニングイベント—zodiac nova, pop-machine & contemporary system 音楽ライブ

開催日 | 2022年3月19日(土) 11:30~12:30

出演 | zodiac nova, pop-machine & contemporary system

参加者数 | 約50人

内容 | 「持続するモノガタリ」の開催を記念して、地元を中心に活躍するデュオユニットのライブを開催。

茶会with静寂

開催日 | 2022年3月27日(日) 15:00~16:00

ゲスト | 福田宗和

参加料 | 500円

参加者数 | 29人

内容 | 福田剛三郎《静寂》のモデルをつとめた福田宗和が、《静寂》の前でお茶を点て、参加者をもてなした。

鑑賞クラブ「木夕」

開催日 | (1) 2022年3月31日(木) (2) 4月14日(木) (3) 4月28日(木) (4) 5月12日(木) (5) 5月26日(木) 各回18:00~18:45

参加者数 | (1) 3人 (2) 5人 (3) 7人 (4) 2人 (5) 6人

内容 | 木曜夕方のクラブ活動。作品を1点選び、集まったみんなで楽しくおしゃべり鑑賞。

アーティストトーク

開催日 | (1) 2022年4月24日(日) (2) 5月22日(日) 各回11:00~12:00

ゲスト | (1) 石橋忠三郎 (2) 今川和男

参加者数 | (1) 25人 (2) 27人

内容 | アーティストが自身の展示作品を語るトークイベント。

ギャラリートーク

開催日 | (1) 2022年4月9日(土) (2) 5月8日(日) (3) 6月5日(日) 各回14:00~15:00

参加者数 | (1) 17人 (2) 8人 (3) 25人

学芸員が展覧会の見どころを語るトークイベント。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・新美術新聞、篠原英里「【寄稿】持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから／再開館後初のコレクション展」2022年3月11日号
- ・デーリー東北「美術のミカタ／【24】収蔵品紹介 福田剛三郎「静寂」／多くの“モノガタリ”秘め」2022年3月17日
- ・東奥日報「八戸を知る 103点の物語／市美術館企画展 きょう開幕」2022年3月19日
- ・デーリー東北「収蔵品の「物語」ひもとく／5年ぶり、前後期計138点展示／八戸市美術館 きょうからコレクション展」2022年3月19日
- ・東奥日報、鷺田めるろ「鷺田めるろの青森アート探訪／コレクションの展示方法／支える市民の思い反映」2022年4月7日
- ・デーリー東北「造形家石橋さん出展作解説／ガラス作品に込めた心情／市美術館企画展でアーティストトーク」2022年4月30日
- ・東奥日報「作家・石橋さん 市美術館でトーク／ガラス造形 音楽と一緒に」2022年5月11日

WEB |

- ・オンライン美術手帖、藤田直哉「地域に根ざす青森5館／「百姓」としての美術館——八戸市美術館を巡って」2022年3月31日 (<https://bijutsutecho.com/magazin/series/s48/25403>)
- ・artscape、篠原英里「キュレーターズノート／対話の生まれる展示室から継承されるもの——「持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」の実践」2022年5月15日 (https://artscape.jp/report/curator/10176025_1634.html)

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名(所蔵)	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
	西町屋文書 本箱第五号 (八戸市博物館蔵)	江戸時代		60.0×25.2×34.0
	『阿弥陀経和談抄』 (八戸市博物館蔵)	貞享2年 (1685)		
	必夢『因果説法 發願廻向文鼓吹』 (八戸市博物館蔵)	元禄8年 (1695)		
	是川考古館パンフレット (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)			18.0×11.0
	八戸市歴史民俗資料館パンフレット・チケット (八戸市博物館・八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)			25.6×18.3
	八戸市縄文学習館パンフレット (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)			17.4×14.0
	鉢形土器 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	縄文時代 晩期		7.9×11.4
	皿形土器 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	縄文時代 晩期		5.5×22.5
	皿形土器 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	縄文時代 晩期		7.8×23.4
	注口土器 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	縄文時代 晩期		5.5×14.2
	是川発掘写真 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	1924年 2月		11.4×15.6
	出土品写真(5号164) (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	不詳		10.6×15.5
	八戸市寄贈 感謝状贈呈時写真 (八戸市埋蔵文化財センター-是川縄文館蔵)	1961		13.0×18.0
	伊万里地図絵大皿 (八戸市博物館蔵)	江戸時代		48.0×8.3
高村光雲	聖観音像 (八戸市博物館蔵)	昭和時代		40.5×12.0×12.0
	唐草南部鶴紋蒔絵椽 (八戸市蔵)	江戸時代 後期		20.8×30.0×21.5
	唐草南部鶴紋蒔絵御歯黒箱 (八戸市蔵)	江戸時代 後期		18.1×14.2×17.0
	竹鷄文様蒔絵文台 (八戸市博物館蔵)	江戸時代		13.5×57.4×33.2
	スクラップブック「文化財No.1 19号13」 (八戸市博物館蔵)			29.7×21.0
	スクラップブック「文化財No.2 19号12」 (八戸市博物館蔵)			29.7×21.0
	八戸市博物館整備中写真 (八戸市博物館蔵)	1982年 12月24日		
	アルバム「八戸市博物館開館式 1983.7.15」 (八戸市博物館蔵)			
宇山博明	是川作品群 001~015	1976	キャンバス、油彩	31.8×40.9
渡辺貞一	壺I	1969	キャンバス、油彩	30.0×22.5
渡辺貞一	極光III (モヨロ記)	1970	キャンバス、油彩	150.0×162.0
島岡達三	地釉象嵌縄文壺	不詳	陶器	径33.1、高30.9
	旧八戸市美術館写真	1986年 12月頃		

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

作者名	作品・資料名(所蔵)	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
	旧八戸市美術館開館式写真	1986年 11月21日		
	栗村和弘「月曜随感ハコ、モノ、ヒト・・・3拍子」『東奥日報』	1992年 3月16日		
	「美術館にブロンズ像 八戸一葉会創立25周年記念し寄贈」『デーリー東北』	1988年 11月9日		
	「松村外次郎作の「蓬瀬」 婦人団体一葉会が寄贈」『東奥日報』	1988年 11月10日		
松村外次郎	蓬瀬	1956	ブロンズ	高165.0
作者不詳	黒地草花文大島紬着物	不詳		
小島恵次郎	型絵染芥子地雀文着物	不詳		
小島恵次郎	白縮緬地異国文型絵染帯	不詳		
東郷青児	女と白鳥	不詳	キャンバス、油彩	162.1×130.3
岩織治	花あし灯	不詳	キャンバス、油彩	40.9×27.3
久保田政子	鈴木継男肖像画	不詳	キャンバス、油彩	73.0×61.0
	「鈴木八戸ガス会長が八戸市に寄贈」『デーリー東北』	1999年 3月25日		
	「40年の収集作品八戸市に寄贈」『東奥日報』	1999年 3月27日		
月舘れい	青い実のある静物	1979	キャンバス、油彩	60.0×72.7
月舘れい	風景と白いテーブル	1982	キャンバス、油彩	72.7×91.0
豊島弘尚	オーロラ群島I	1989	キャンバス、油彩	193.9×130.3
豊島弘尚	オーロラ群島II	1989	キャンバス、油彩	193.9×130.3
樋口猛彦	中居林より長者の森を望む	不詳	紙、鉛筆	17.7×25.0
樋口猛彦	三八城公園	不詳	紙、鉛筆	12.4×17.5
樋口猛彦	三八城公園にて	不詳	紙、鉛筆	18.0×12.5
樋口猛彦	おでんや 三八城公園入口にて	不詳	紙、鉛筆	18.0×12.5
樋口猛彦	長根スケートリンクにて	1976	紙、鉛筆・水彩	22.2×14.0
樋口猛彦	道路工事 八高前にて	1975	紙、鉛筆・水彩	26.5×21.5
樋口猛彦	街並	1969	紙、水彩	24.5×35.0
樋口猛彦	ビルディング	1949	紙、水彩	17.7×27.7
西村健次郎	種差海岸の景	1937	キャンバス、油彩	37.7×45.8
福田寛	蕪島	不詳	キャンバス、油彩	80.3×100.0
福勢喜一	浜の子ども	不詳	キャンバス、油彩	42.6×79.0
名久井由蔵	鮫の港	1969	板、油彩	41.0×32.0
石橋忠三郎	浸食	1991	ガラス	高48.5、径25.0
石橋忠三郎	しぶき氷	1994	ガラス	70.0×60.0×10.0
石橋忠三郎	しぶき氷 早春	1994	ガラス	50.0×50.0×8.0
今川和男	潤沃	1986	キャンバス、油彩	112.3×224.7
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 漁夫の話をきく少年たち	1958	紙、木版	45.4×30.8

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む— 八戸市美術館コレクションから

作者名	作品・資料名(所蔵)	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 酒を飲む漁夫	1958	紙、木版	45.9×30.4
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 叫ぶ漁夫	1958	紙、木版	30.4×45.9
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 船ゆうれい	1958	紙、木版	30.3×46.0
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 大漁をよろこぶ	1958	紙、木版	46.0×30.4
八戸市立鮫中学校 版画グループ	海の物語 海を流れてきた仏像	1958	紙、木版	46.0×30.4
石橋宏一郎	北国の市場II	1964	キャンバス、油彩	130.5×162.1
石橋宏一郎	いさばかが	1949	キャンバス、油彩	162.0×130.8
池田恭三	漁婦と燈台I	1973	キャンバス、油彩	118.6×92.8
樋口猛彦	アブラメ	1982	紙、水彩	31.2×40.7
樋口猛彦	ウバガレイ	1982	紙、水彩	32.0×41.0
樋口猛彦	カラカラ干しのタラ	1982	紙、水彩	26.7×38.0
樋口猛彦	ホヤ	1982	紙、水彩	24.0×27.0
石橋宏一郎	青い北国(馬力大会)	1974	キャンバス、油彩	162.1×130.3
大久保景造	馬と	不詳	キャンバス、油彩	38.0×45.7
久保田政子	馬曼陀羅	1985	キャンバス、油彩	150.0×150.0
久保田政子	祝い唄	不詳	キャンバス、油彩	72.7×60.6
久保田政子	むかしむかし・下	1967	キャンバス、油彩	91.2×116.7
池田恭三	いたこ(A)	1974	キャンバス、油彩	116.7×91.2
豊島弘尚	墓獅子舞A	1968	キャンバス、油彩	259.1×193.9
橋本雪蕉	名花十二客図屏風	1876	絹本着色	各隻169.8×382.2
	月報誌『野の花』 第二巻第十一集神無月の巻	1904		29.3×46.5×0.7
福田剛三郎	静寂	1933	キャンバス、油彩	45.5×38.0
七尾英鳳	十和田湖春秋	1922	紙本着色	各隻149.0×352.0
七尾英鳳	花鳥十二ヶ月図	1922	紙本着色	各隻174.0×372.0
福田寛	T嬢の像	1930	キャンバス、油彩	100.0×80.3
福勢喜一	初秋の奥入瀬	不詳	キャンバス、油彩	91.0×116.7
西村健次郎	静物	1948	キャンバス、油彩	53.1×65.2
棟方志功	波乗菩薩の柵	1974	紙、木版・彩色	52.0×41.3
棟方志功	倭桜の柵	不詳	紙、木版・彩色	45.1×32.2
棟方志功	鯉韻の柵	不詳	紙、木版・彩色	16.3×17.6
棟方志功	弘仁の柵	1961	紙、木版・彩色	33.7×25.5
渡辺貞一	東方の泉	1965	キャンバス、油彩	96.0×129.5
名久井由蔵	花見の宴	1969	板、油彩	162.5×112.1
	五玄会第1回展写真	1953年		

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む— 八戸市美術館コレクションから

作者名	作品・資料名(所蔵)	制作年	素材・技法	サイズ(cm)
樋口猛彦	自画像	1982	紙、パステル	38.4×27.2
樋口猛彦	秋	1974	紙、水彩・コンテ	42.2×36.0
佐々木泰南	廬山煙雨	1979	紙、墨	137.0×271.0
佐々木泰南	廬山煙雨浙江湖	1986	紙、墨	132.0×267.7
佐々木泰南	李白詩 夜泊牛渚懷古	1927	紙、墨	173.0×65.7
佐々木泰南	七言対聯	1928	紙、墨	各189.0×32.0
佐々木泰南	雪	1972	紙、墨	138.8×68.7
佐々木泰南	深雪	1974	紙、墨	133.0×66.8
和井田要	絶壁	1957	キャンバス、油性塗料	130.0×80.0
和井田要	雲	1961	紙、墨	140.0×70.0
和井田要	飛	1964	キャンバス、油性塗料	90.0×64.5
和井田要	子供	1953	ガラス、油性塗料	25.6×20.7
和井田要	タイドゥ	1952	紙、インク	45.2×67.8
和井田要	詩文原稿「いやだなあ」	不詳	原稿用紙、インク	25.2×35.7
和井田要	詩文原稿「心」	不詳	原稿用紙、インク	25.2×35.7
八戸市立湊中学校 養護学級生徒	虹の上をとぶ船総集編I	1975	紙、木版	各100.0×200.0
八戸市立湊中学校 養護学級生徒	虹の上をとぶ船総集編II	1976	紙、木版	各100.0×200.0

※所蔵について記載のないものはすべて八戸市美術館蔵

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む— 八戸市美術館コレクションから

6. 開催の様子



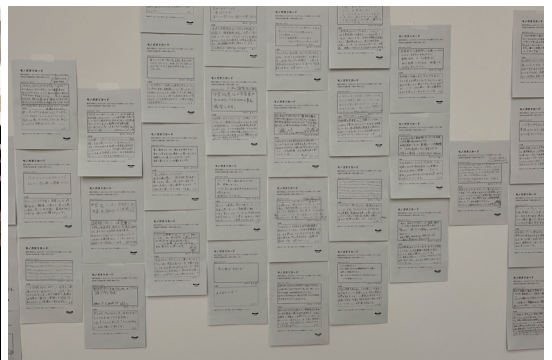
会場風景



学芸員との交流スペース 篠原部屋



《逢瀬》と建築ツアーガイド



モノガタリカード



ギャラリートーク



茶会with静寂



今川和男アーティストトーク



石橋忠三郎アーティストトーク

1. 展覧会+プロジェクト

持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから

7. ポスター／チラシ／ハンドアウト

Hachinohe Art Museum Collection

5年ぶりまた話そう。

持続するモノガタリ

Talk, Connect, Grow > 語る・繋がる・育む

八戸市美術館コレクションから

2022.3.19(土) >>> 6.6(月)

八戸市美術館 Hachinohe Art Museum

池田世一 島田達二 樋口隆彦 渡辺八
石橋三郎 日藤れい 藤野善一 藤田剛彦
今川勇 東郷青児 藤野善一 藤田剛彦
岩橋浩 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
宇山明 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
大久保進 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
久保友子 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
小島文子 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
佐々木清 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦

ポスター

Hachinohe Art Museum Collection

5年ぶりまた話そう。

持続するモノガタリ

Talk, Connect, Grow > 語る・繋がる・育む

八戸市美術館コレクションから

2022.3.19(土) >>> 6.6(月)

八戸市美術館 Hachinohe Art Museum

池田世一 島田達二 樋口隆彦 渡辺八
石橋三郎 日藤れい 藤野善一 藤田剛彦
今川勇 東郷青児 藤野善一 藤田剛彦
岩橋浩 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
宇山明 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
大久保進 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
久保友子 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
小島文子 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦
佐々木清 志島弘樹 藤野善一 藤田剛彦

チラシ (表裏)

持続するモノガタリ

語る・繋がる・育む

八戸市美術館コレクションから

開催期間: 2022年3月19日(土) - 6月6日(月)
観覧時間: 10:00 - 19:00 (入館は18:30まで)
休館日: 火曜日、6月11日(水)
(5月31日(火)は臨時休館)
観覧料: 一般300円/200円
小中・高校・大学生100円/80円

もっとモノガタリしたいあなたへ

茶会 with 静寂
アートストーク
アートフォーラムプロジェクト
アートストーク
アートフォーラムプロジェクト
アートストーク

同時開催 コレクションが01 舟越徳武展 静寂の心に行む

TEL: 019-64-8338 FAX: 019-64-8321
MAIL: artinfo@hachinohe.com.jp
https://hachinohe-art-museum.jp



持続するモノガタリ
語る・繋がる・育む

2022年3月19日〔土〕～6月6日〔月〕
前期 | 3月19日〔土〕～4月25日〔月〕
後期 | 4月27日〔水〕～6月6日〔月〕
八戸市美術館

ホワイトキューブ

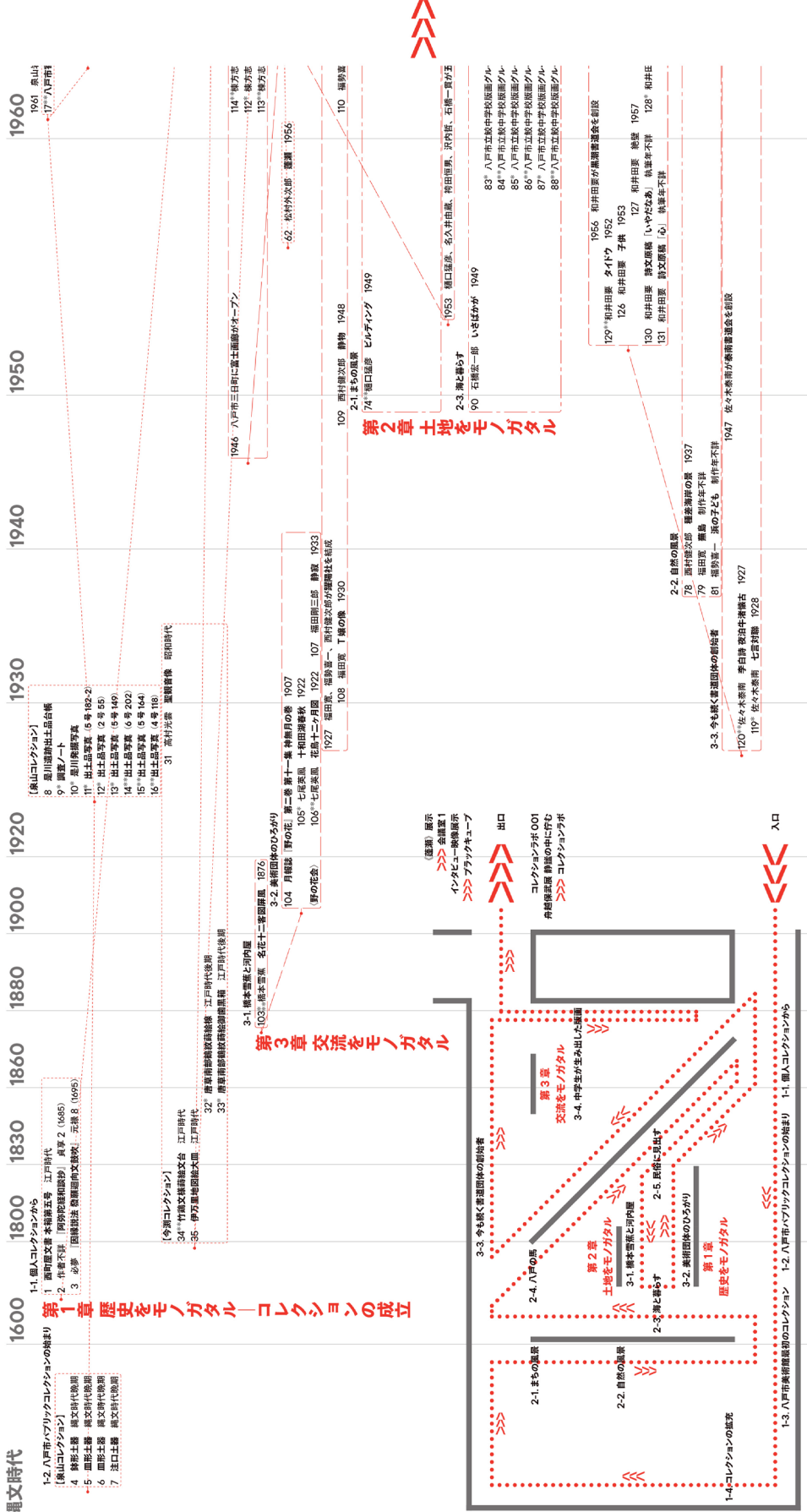
会場構成 | 佐藤卓也
映像監修 | 神智
瓜破物デザイン | 佐々木遼 (東北のデザイン社)
担当学芸員 | 篠原英里、平井理里、山田奏子

主催 | 八戸市美術館
協力 | 八戸市博物館、八戸市地域文化センター(八戸文化館)
後援 | NHK青森放送局、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、八戸テレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、コミュニティラジオ局 BeFM

会場構成 | 佐藤卓也

映像監修 | 神智
瓜破物デザイン | 佐々木遼 (東北のデザイン社)
担当学芸員 | 篠原英里、平井理里、山田奏子

持続するモノガタリ | 語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから 八戸市コレクション年表



八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ001
「舟越保武展－静謐の中に佇む」

コレクションラボ001 「舟越保武展－静謐の中に佇む」

1. 開催データ

会期 | 2022年3月19日(土)～6月20日(月)

※前期：2022年3月19日(土)～5月9日(月)

後期：2022年5月12日(木)～6月20日(月)

開催日数 | 82日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 6,418人

※2021年度=740人、2022年度=5,678人

ポストカード | ハガキ、2頁

ハンドアウト | A4 (作品リスト)

主催 | 八戸市美術館

協力 | 八戸市立図書館

担当学芸員 | 山田泰子

2. 事業内容

日本の戦後具象彫刻の礎を築いた舟越保武。キリスト教をテーマとした作品を多く手掛け、それらは、静謐、端正、精神性といった様々な言葉で形容された。当館の所蔵するブロンズ彫刻やリトグラフ、デッサンなど全19作品を展示した。あわせて、八戸市立図書館の協力のもと、舟越の著作物も展示し、重厚感溢れる舟越保武の世界を、作家自身の言葉とともに紹介した。

当初、3月12日(土)開始予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月19日(土)の開始となった。

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「美術のミカタ / 【23】舟越保武」
2022年3月3日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ001
「舟越保武展－静謐の中に佇む」

4. 出品作品・資料

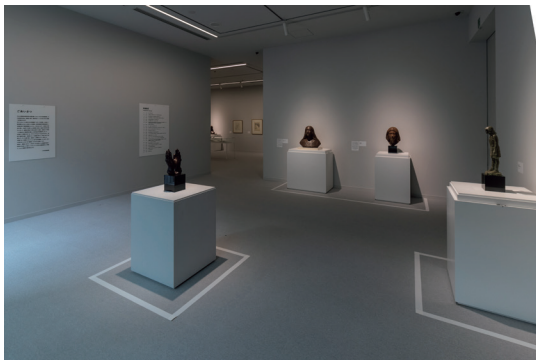
作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
舟越保武	ダミアンの手	1977	ブロンズ	26.5×17.0×10.0
舟越保武	聖マリア・マグダレナ	1984	ブロンズ	48.0×50.0×32.0
舟越保武	原の城 (エスキース)	1971	ブロンズ	42.0×14.0×12.0
舟越保武	聖ペロニカ	1977	ブロンズ	36.0×26.0×29.5
舟越保武	聖クララ	1981	ブロンズ	48.0×50.0×25.0
舟越保武	チエコ	1948	ブロンズ	20.0×15.0×17.0
舟越保武	若い女	* 1984	リトグラフ、紙	48.5×37.0
舟越保武	E嬢	* 1984	リトグラフ、紙	42.5×37.0
舟越保武	婦人像	1985	ブロンズ	45.5×44.0×28.0
舟越保武	裸婦	* 1980	鉛筆、紙	40.0×31.0
舟越保武	笛吹き少年	1964	ブロンズ	40.0×11.0×10.0
舟越保武	若き石川啄木	1965	ブロンズ	30.0×18.0×25.0
舟越保武	女の顔	* 1985	木炭、紙	46.0×34.0
舟越保武	女の顔	** 1985	エッチング、紙	12.5×10.0
舟越保武	女の顔	** 1980	鉛筆、紙	47.0×31.0
舟越保武	「流沙」装画・星群一知られざる外壁	** 1977～ 1979	木炭、紙	16.5×22.5
舟越保武	「流沙」装画・窓	** 1977～ 1979	木炭、紙	16.5×22.5
舟越保武	「流沙」装画・河の畔り ーレリーフ・アダムエバ部分	** 1977～ 1979	木炭、紙	16.5×22.5
舟越保武	聖クララ	** 1982	リトグラフ、紙	43.5×30.5
舟越保武	『素描 女の顔』講談社 (八戸市立図書館蔵)	1985		
舟越保武	『巨岩と花びら 画文集』筑摩書房 (八戸市立図書館蔵)	1983		
舟越保武	『石と随想』求龍堂 (八戸市立図書館蔵)	2005		
舟越保武	『石の音、石の影』筑摩書房 (八戸市立図書館蔵)	** 1985		

*は前期展示 **は後期展示

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ001
「舟越保武展-静謐の中に佇む」

5. 開催の様子



展覧会風景



6. ポストカード

POSTCARD

コレクションラボ 001

舟越保武展
静謐の中に佇む

Collection Lab 001: FUNAKOSHI Yasutake Standing in Tranquility

2022年3月19日[土]～6月20日[月]


開催時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日、5月11日(5月3日は開館) 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 山田泰子 会場構成 | 佐藤慎也 ※途中展示替えあり

日本の戦後具象彫刻の礎を築いた舟越保武。キリスト教をテーマとした作品を多く手掛け、それらは、静謐、端正、精神性といった様々な言葉で形容されました。ブロンズ彫刻やデッサンから舟越作品の魅力に迫ります。

同時開催 ●持続するモノガタリ—語る・繋がる・育む— 八戸市美術館コレクションから 会期 | 2022年3月19日(土)～6月6日(月)

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



ポストカード (表裏)

舟越保武《聖マリア・マグダレナ》
1984
48.0×50.0×32.0(cm) ブロンズ

コレクションラボ001

マリア・マグダレナは、キリストに魂を救われ、キリストの死を看取り、その後の復活を最初に目撃した人といわれます。十字架上のキリストを見上げているのでしょうか、やや苦し気な表情で斜め上を見上げています。顔のすぐ下には、かすかに涙が滲んでいるように見え、悲しみの深さが伝わってきます。



ジャイアント食堂

1. 開催データ

開催日 | 2022年6月25日(土) 8:00~21:00

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 無料

入場者数 | 4,065人

チラシ | A4、2頁

デザイン：高橋麻衣

ハンドアウト | A3 (フロアマップ・タイムスケジュール・

出演者プロフィール)

デザイン：山崎朋(居間 theater)

主催 | 八戸市美術館、東京藝術大学長島確研究室

助成 | 東京藝大「I LOVE YOU」プロジェクト

協力 | PARADISE AIR

演出・構成 | 居間 theater (東沙織、稲継美保、宮武 亜季、山崎朋)

音楽監督・出演 | 大谷能生

インストラクター | 土方大、森純平

イラスト | きたがわゆう

担当 | 山内伶奈

2. 事業内容

ジャイアントルームの可能性を探るプロジェクト。「もの」だけでなく「こと」を生み出す新しい私たちの美術館として、作品を鑑賞するだけでなくさまざまな活動が美術館で行われることの一つの実践を『「ひと」を含んだ作品』として提示することで、美術館やそのコンセプトをより多くの市民の方に身近に感じてもらうことを目的として実施したもの。パフォーマンスプロジェクト「居間 theater」の演出・構成により、ジャイアントルームを不思議な大食堂に見立てて多彩な催しを行った。

3. 実施プログラム

イベント・パフォーマンス

場所 | スタジオ、ジャイアントルーム

内容・出演者 | DJタイム(大谷能生)、カンフー体操教室(小田桐咲)、パフォーマンス「ジャイアントルーム」(大谷能生、森純平、土方大、居間 theater)、ジャイアントカラオケタイム、ラジオ公開収録 BeFM「まりなのラジオでおよよよ〜♥」+ミニライブ(真理奈)、ジャイアントピンゴ!、アイドルライブ(pacchi)、ベリーダンス(Jasmine)、カンフー演武(青森・八戸武術クラブ)、クラシック&ジャズライブ(Duo Moonshine)、西アフリカ伝統音楽(マリに行きたい二人)、音楽ライブ(トルホヴォッコ楽団)

飲食ブース

場所 | ジャイアントルーム、マエニワ

出店者 | 茶居花(お弁当)、Rira café(クレープ)、Toshi's DINER(ホットドッグ)、yummy's(クロワッサン)、55kitchen&DELI(揚げ物)、Café D.cha(ピザ)、蜜芋屋 hana(焼き芋)、Fruits kitchen RONRON(パフェ)、清水屋旅館(焼菓子など)、株式会社金入(三島サイダー)、八戸グランドホテル(パン)、おべんとうマーケット(市内飲食店によるお弁当)、TAYORI BAKE(焼菓子、ジェラート)

エルゴン? パレルゴン!

額縁をつくろうワークショップ

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 30人

参加料 | 500円

内容 | 作品(エルゴン)を飾る額縁(パレルゴン)をテーマに、好きな色と装飾でオリジナルの額縁を制作。

建築ツアーガイド

内容 | アートファーマーによる館内ガイドを随時実施。

1. 展覧会+プロジェクト

ジャイアント食堂

館内時報

内容 | 市内の環境音、インフォメーション・案内員など美術館スタッフの声を録音して制作した時報を放送。

制作 | 大谷能生

絵画展示

内容 | 八戸市で保有する作品15点を借用し、ジャイアントルームに展示。

ジャイアントルーム紹介動画上映「ゆけゆけ! ジャイアント!!～ジャイアントルーム探訪編～」

内容 | 「ジャイアントルーム」をわかりやすく紹介する映像を制作し、上映。

音楽 | 稲継美保

映像編集 | 塩田将也

撮影・録音・制作 | 居間theater

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「八戸市美術館「ジャイアント食堂」開催 カラオケやビンゴ催し多数」2022年6月27日
- ・東奥日報「いつもと違う美術館満喫 「ジャイアント食堂」多彩に キッチンカー、ライブ、ビンゴ…」2022年7月3日

1. 展覧会+プロジェクト

ジャイアント食堂

5. 開催の様子



プロジェクト風景

1. 展覧会+プロジェクト

ジャイアント食堂

6. チラシ

立ウエルカウ
八戸市美術館の大空間「ジャイアントルーム」に
1日だけ出現するへんで大食堂！
ご飯を食べて、パフォーマンスをみて、
美術館をおじゃろあ！

OPEN!!

ジャイアント食堂

2022年6月25日(土)
朝 8:00~夜 21:00
八戸市美術館
入場無料、申込不要

演出・構成：居間 theater
音楽監督：大谷能生

ワークショップも開催！
キッズスペースあります！
カラオケ！ビンゴタイム！
絵画の展示も！

八戸市美術館
HACHINOHE ART MUSEUM

チラシ (表裏)

八戸市美術館のメインスペースともいえる「ジャイアントルーム」にオープンする、1日限りの大食堂。
それが「ジャイアント食堂」
美術館前の広場「マニエ」にはキッチンカーが出店。食べ物や飲み物をジャイアント食堂で頂上し
がれ！館内「ステージ」では、さまざまな人が入れ替わりでパフォーマンスを披露。音楽ライブ、ダンス、
カンパニー演劇、朝市アィドル……etc！そのほか絵画展示、建築ツアーなども盛りだくさん。
また美術館に来たことのない方も、常連の方も、希望男女どなたでも気軽に出入り自由。
朝から晩まで1日中、皆さまの好きな遊び方をなさってみてください。

プログラムスケジュール、最新情報はWEBサイトをご覧ください！
<https://hachinohe-art-museum.jp/project/1459/>

ジャイアント食堂の1日

8:00 OPEN

STAGE ステージ
ふだんは観ていない、朝8時からオープンします。目撃まじはカンパニー体験で！
【朝のトーク】
小田真実(カンパニー指導者)、DJ タイム、ほか
ランチ・カフェタイムは盛りだくさん！
【昼のトーク】
paschi(音楽家・作家・出版デザイナー)、青森、八戸芸術クラブ(ソフ・演劇)、Dup Moonlight(Choral Music & Jazz Music)、Jasmine(ペーパース)、大谷能生・稲垣義典(山崎組)ほか、etc...
ほか
いつもは美術館が閉まったあとの時間、幻想的な音楽ライブを堪能してください。
【夜のトーク】
トルネオ・オタク(音楽)

EVENT イベント
① エレガント・バルゴット 観劇をつくるワークショップ
午前部：10:00~12:00 午後部：15:00~17:00
作品(エッセイ)を観る観劇(バルゴット)。好きな色と装飾でオリジナルの観劇をつけてみよう！
参加方法：当日先着順、希望者15名(定員に達し次第終了)
参加費：500円(材料費)
※少人数の手まりは希望者の方と参加ください。定員した観劇はジャイアントルームに限り先着順で希望者の方と参加いたします。

② ジャイアントカラオケタイム
午前部：10:00~11:00 午後部：15:00~17:00
カラオケができるコーナー。あなたの歌声をぜひ披露してください。飛び入り参加大歓迎！
参加方法：当日先着順
参加費：無料

③ ラジオ公開収録+ミニライブ
11:00~12:00
BefM(まじりのラジオ)をおよよよ〜♪の公開収録。パーソナリティ・長理奈のミニライブ。
参加方法：観覧自由

④ ジャイアントビンゴ！
12:00~ビンゴ終了まで
独特なビンゴ大会。ふらっと参加ください。
参加方法：当日会場まで参加ください
参加費：無料

⑤ 建築ツアーガイド
10:00~19:00(人数が集まり次第開始時刻)
ガイド役のアーティストが美術館の建物の動力や特徴をてきまつる建築ツアー。
参加方法：当日会場まで参加ください
参加費：無料

21:00 CLOSE

POGO フード
「マニエ」やジャイアントルーム内に、キッチンカーや飲食店が出店！
【マニエ】
・茶屋花(弁当など)
・Tosh's DINER(コックパフ)
・Fruits Kitchen RONRON(フルーツパフ)
・飯子屋 hana(焼き物)
・yammy's(伊豆パスタ)
・Riva Café(シニアフ)
【館内】
・八戸ランドホテル(焼き物)
・清水屋旅館(焼き物など)
・TAYORI BAKE(焼き菓子)
・asatteのジェラート(ソフトクリーム)ほか
※店舗によっては定員制限が異なります。

プロフィール
居間 theater(東京編、横浜編、宮城編、山崎編)パフォーマンスプロジェクト。2013年から東京を中心に活動。小文化芸術集団「HAGORI」(横浜)に所属するアーティスト。音楽家や美術家、研究者などの共同制作のほか、カフェ、居酒屋、音楽家など、様々な「場」とそこにある「ふらっと」を主な活動の場として活動中。

演出・構成：居間 theater 音楽監督：大谷能生
イラストレータ：上野大、森純平、イラスト：きたがわゆう
協力：PARADISE AIR
主催：八戸市美術館、東京藝術大学芸術研究室
助成：東京大学「I LOVE YOU」プロジェクト

お問い合わせ | 八戸市美術館
〒030-0001 青森県八戸市大字津町 30-4
電話：0178-64-5131 HP：<https://hachinohe-art-museum.jp>
※新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を十分に行い開催いたします。ご来場の際は対策にご協力いただきますようお願いいたします。
※開催予定は天候による変更がございます。当日のご来場はご了承ください。
※一部駐車場がございます。(館内・館外2カ所あり)。混雑駐車場をご利用ください。

1. 展覧会プロジェクト

まるごと馬場のぼる展
描いた つくった 楽しんだ
ニャゴ!

まるごと馬場のぼる展 描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!

1. 開催データ

会期 | 2022年7月2日(土)～8月29日(月)
開催日数 | 51日間
会場 | ホワイトキューブ、コレクションラボ1・2、ブ
ラックキューブ、ジャイアントルーム
観覧料 | 一般1,000円(800円)、高校・大学生
500円(400円)
※()は20名以上の団体料金
※中学生以下は無料
※市内及び近隣町村の65歳以上の方、障がい者手
帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額
※民間駐車場利用の場合、運転手1名分について団
体割引適用
※フリーパス「かおパス」設定 一般1,500円

入場者数 | 21,062人

主催 | まるごと馬場のぼる展八戸実行委員会(八
戸市美術館、三戸町、株式会社デーリー東北新聞社、
青森朝日放送株式会社、一般財団法人VISITはちの
へ)

協力 | コミュニティラジオ局BeFM

後援 | 八戸市教育委員会、三戸町教育委員会、
八戸商工会議所、三戸町商工会、三戸町観光協
会、NHK青森放送局、株式会社八戸テレビ放送、
青い森鉄道株式会社、岩手県北自動車株式会
社、八戸市私立幼稚園協会

特別協力 | こぐま社

企画協力 | 株式会社アドシステム

企画・構成 | 真子みほ(練馬区立美術館)、田村由
衣、神谷剛生(刈谷市美術館)、加藤紘章(アドシス
テム)

監修 | 関谷裕子、田中普子(こぐま社)

図録 | 「まるごと馬場のぼる 描くことは生きるこ
と」25×25cm、220頁

編集：高橋賢、神谷剛生、執筆：関谷裕子(こぐ
ま社)、神谷剛生(刈谷市美術館)、田村由衣、真子
みほ(練馬区立美術館)、高橋賢、デザイン：大西
隆介・沼本明希子・梶元勇季(direction Q)、監

修：関谷裕子、発行日：2021年8月25日、発行：
株式会社こぐま社

ポスター | B2

デザイン：松尾由佳(Nica)

チラシ | A4、2頁

デザイン：松尾由佳(Nica)

ハンドアウト | A4、4頁(作品リスト)

広報物デザイン | 松尾由佳(Nica)

会場構成 | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎
也研究室

映像撮影・編集 | 神智

担当学芸員 | 田村由衣

2. 事業内容

絵本「11ぴきのねこ」シリーズで知られる漫画家・
馬場のぼる(1927～2001)を様々な側面から紹介
する巡回展を開催。絵本や漫画の原画類、50年
分のスケッチブックなどに加え、漫画に熱中してい
た幼少期や青年期の貴重なノートやイラスト、楽
しみのために制作した絵画や立体作品など474
点を展示。八戸圏域を代表する漫画家・馬場のぼ
るの大型回顧展となり、県内外から多くの来館者
が訪れた展覧会となった。

また、八戸市内や三戸町への周遊促進のため、
三戸町が取り組む「11ぴきのねこのまちづくり」
に関わる人々のインタビュー映像の展示をしたり、
「11ぴきのねこ」の商品を扱う店舗や、展覧会
会期中に「ねこ」に関するメニューやサービス
を提供する店舗を掲載した八戸市と三戸町の中心
街回遊マップを作成したりするなど、関係機関と
も連携を図った。

1. 展覧会プロジェクト

まるごと馬場のぼる展
描いた つくった 楽しんだ
ニャゴ!

3. 関連イベント

講演会『「11ぴきのねこ」と馬場のぼる先生—その
世界を支えたユーモアと故郷・青森—』

開催日 | 2022年7月3日(日) 13:30~15:00

ゲスト | 関谷裕子

参加者数 | 55人

内容 | こぐま社元編集長の関谷裕子が馬場のぼるや作品の世界や背景について講演した。

鑑賞プログラム

「見て、読んで、おしゃべり鑑賞会」

開催日 | (1) 2022年7月10日(日) (2) 8月21日(日) 各回10:30~11:30

参加者数 | (1) 3人 (2) 3人

内容 | 子どもを対象に、楽しくおしゃべりをしながら作品を鑑賞。

11ぴきのねこ写真撮影会

開催日 | 2022年7月2日(土)、3日(日)、16日(土)、17日(日)、18日(月・祝)、30日(土)、31日(日)、8月27日(土)、28日(日)、29日(月) 各日11:00~、14:00~

参加者数 | 延べ700人

内容 | 11ぴきのねこ写真撮影会を行った。

11ぴきのねこラッピングバスがやってくる

開催日 | 2022年7月2日(土)、3日(日)、16日(土)、17日(日)、18日(月・祝)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、31日(日)、8月6日(土)、7日(日)、11日(木・祝)、13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日)、27日(土)、28日(日)

内容 | 岩手県北バス「11ぴきのねこラッピングバス」を美術館の広場に展示。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・デーリー東北「八戸市美術館巡回展あす開幕 馬場のぼるさん未発表作品展示／漫画愛デビュー前から」2023年7月1日
- ・デーリー東北「八戸市美術館／原画やスケッチ500点 「馬場のぼる展」きょうから」2023年7月2日
- ・デーリー東北「馬場のぼるワールド全開／八戸市美術館 展覧会開幕」2023年7月3日
- ・デーリー東北、田村由衣「連載①~⑧馬場のぼるのりんかく」2023年7月7日、14日、21日、28日、8月4日、11日、18日、25日
- ・デーリー東北「ほのぼの作品世界体感／八戸市美術館「まるごと馬場のぼる展」」2023年7月10日
- ・デーリー東北「「11ぴき」に仲間入りだニャー／市美術館「馬場のぼる展」中心街ツアー」2023年8月15日
- ・デーリー東北「お気に入りの作品は?／市美術館と小中高連携 4校の児童、生徒交流／「まるごと馬場のぼる展」合同鑑賞会」2023年8月17日
- ・デーリー東北「馬場のぼる展2万人／渋谷さん夫妻(八戸)に記念品／八戸市美術館きょう最終日」2023年8月29日

テレビ |

- ・青森朝日放送「ハッピー」2023年7月2日
- ・青森朝日放送「とくもり!」2023年7月16日

ラジオ |

- ・ビーエフエム「ちょこっと「馬場のぼる展」特集」2023年7月12日、19日、26日、8月9日、16日、23日

1. 展覧会プロジェクト

まるごと馬場のぼる展
描いた つくった 楽しんだ
ニャゴ!

5. 開催の様子



展覧会風景



11ぴきのね写真撮影会



鑑賞プログラム



11ぴきのねこラッピングバスがやってくる



講演会

1. 展覧会プロジェクト

まるごと馬場のぼる展
描いた つくった 楽しんだ
ニヤゴ!

6. ポスター／チラシ／ハンドアウト



ポスター



チラシ (表裏)



まるごと馬場のぼる展



2022年 7月2日(土)
→ 8月29日(月)

・このリストの番号は、展示室内キャプションに記載されている番号と一致します。
・図録に記載されている番号とは一致しません。
・展示順序とは必ずしも一致しません。
・本展覧会のためにつけた仮題は「」で表記しています。

NO	作品名・資料名	組点数	制作年 (発行・発表年)	技法・材質	サイズ (H×W×D)cm	共著者／発行者／受賞など	所蔵／提供など
11びきのねこ 全員集合 ニャゴ!							
A-01	「11びきのねこ」リトグラフ		1967年	版画・紙	56.8×38.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-02	「11びきのねこ」	4点	1967年	パネル		発行:こぐま社	参考図版/提供:こぐま社
A-03	「11びきのねことあほうどり」リトグラフ(色校用)	20点	1972年	版画・紙	33.3×50.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-04	「11びきのねことあほうどり」アイデアスケッチ		1972年	ボールペン・紙	25.0×18.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-05	「11びきのねことあほうどり」ラフスケッチ	22点	1972年	色鉛筆、ボールペン・紙	19.0×27.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-06	「11びきのねことあほうどり」色指定紙		1972年	鉛筆、ボールペン、水彩・紙	27.0×39.5	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-07	「11びきのねことあほうどり」原画(主版用)		1972年	墨、鉛筆・紙	39.5×55.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-08	「11びきのねことあほうどり」原画(薄紫版用)		1972年	墨、鉛筆、印刷・紙	39.5×55.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-09	「11びきのねことあほうどり」原画(オリーブ版用)		1972年	墨、印刷・紙	39.5×55.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-10	「11びきのねことあほうどり」原画(サーモンピンク版用)		1972年	墨、鉛筆、印刷・紙	39.5×55.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-11	「11びきのねことあほうどり」原画(橙版用)		1972年	墨、印刷・紙	39.5×55.0	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-12	「11びきのねことあほうどり」リトグラフ(色校用)	10点	1976年	版画・紙	39.5×54.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-13	「11びきのねこ ふくろのなか」リトグラフ	8点	1982年	版画・紙	36.4×51.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-14	「11びきのねことへんなねこ」リトグラフ(色校用)	6点	1989年	版画・紙	33.5×47.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-15	「11びきのねこどろんこ」リトグラフ(色校用)	8点	1996年	版画・紙	35.5×46.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-16-1	11びきのねこかるた(あ行)原画		1994年	墨、水彩・紙	28.5×18.5	発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-16-2	11びきのねこかるた(ま行)原画		1994年	墨、水彩・紙		発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-17	NOBORU BABA CARTOONIST(漫画家 馬場のぼる)		1972年	映像		7分45秒	映像提供:インタナショナル映画、共同通信イメージズ
A-18	馬場のぼる朗読「11びきのねこ」		1980年	映像		14分10秒/制作:手塚プロダクション	こぐま社蔵
A-19	『絵巻えほん 11びきのねこマラソン大会』		1984年			発行:こぐま社	こぐま社蔵
A-20	ニャンニャン曼陀羅		1963年	印刷	14.0×9.0	『漫画劇場』1963年9月号/発行:普通社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
A-21	ニャンニャン曼陀羅 絵はがき		1963年頃	印刷		発行:普通社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)

ルーツをたどる 幼少期から漫画家デビューまで

幼少期から旧制中学時代							
資C-01	馬場家の人々		撮影年不詳	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-02	幼少期の馬場のぼる		撮影年不詳	パネル			写真提供:青森県三戸町
C-01	タンク・タンクロー(小学1年生)		1934年頃	クレヨン・紙	23.5×15.5		青森県三戸町蔵
C-02	スキー(小学1年生)		1934年頃	クレヨン・紙	23.5×15.5		青森県三戸町蔵
C-03	動物の行軍(小学3年生)		1936年頃	クレヨン・紙	23.8×31.4		青森県三戸町蔵
資C-03	スベルスベル		1934年	印刷	22.5×28.0	画:小林和郎/『幼年倶楽部』1934年1月号/発行:大日本雄弁会講談社	個人蔵
資C-04	クワンペイシキ[親兵式]		1935年	印刷	22.0×26.5	画:武井武雄/『幼年倶楽部』1935年11月号/発行:大日本雄弁会講談社	個人蔵
C-04	えんぶり(小学3年生)		1936年頃	クレヨン・紙	23.5×31.2		青森県三戸町蔵
C-05	雪遊び(小学3年生)		1936年頃	クレヨン・紙	31.3×23.5		青森県三戸町蔵
C-06	尋3の3組 馬場のぼる(小学3年生)		1936年頃	クレヨン・紙	23.5×15.8		青森県三戸町蔵
C-07	棒(小学4年生)		1937年頃	クレヨン・紙	31.3×23.3		青森県三戸町蔵
C-08	紙ふうせん(小学5年生)		1938年頃	水彩・紙	18.8×28.4		青森県三戸町蔵
C-09	清潔教育ポスター(小学生の頃)		1936-40年頃	水彩・紙	43.5×30.5		青森県三戸町蔵
C-10	八幡太郎義家(小学5年生)		1938年頃	墨・紙	33.5×25.0		青森県三戸町蔵
C-11	扁桃腺(小学校卒業文集より)		1940年	パネル	21.3×14.2	『卒業記念帳』第20号/発行:三戸尋常高等小学校	資料提供:青森県三戸町
C-12	馬場のぼる自伝:ウサギ汁大作戦 原画	31点	1974年	墨・紙	39.5×27.2	『別冊少年ジャンプ』1974年5月号/発行:集英社	個人蔵
C-13	歴史科ノート(旧制中学3年生)		1942年頃	インク、鉛筆・紙	30.0×21.0		青森県三戸町蔵
C-14	化学ノート(旧制中学3年生)		1942年頃	インク、鉛筆・紙	21.0×30.0		青森県三戸町蔵
C-15	単語帖:英語(旧制中学3年生)		1942年頃	インク、鉛筆・紙	19.2×13.4		青森県三戸町蔵
C-16	物象書類ノート(旧制中学3、4年生)		1942-43年頃	インク、鉛筆・紙	21.0×30.0		青森県三戸町蔵
C-17	土踏み:中学生生活の思い出		1995年頃	パネル			参考図版/『福陵百年史 下巻』(岩手県立福陵高等学校百年記念事業協賛会、2002年)より
C-18	そば屋:中学生生活の思い出		1995年頃	パネル			
C-19	授業:中学生生活の思い出		1995年頃	パネル			
C-20	冬の通学:中学生生活の思い出		1995年頃	パネル			
資C-05	旧制中学時代の馬場のぼる		1940年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-06	お酌の真似をする馬場のぼると兄・勝美(右)		撮影年不詳	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-07	仮装する馬場		撮影年不詳	パネル			写真提供:青森県三戸町蔵(森晴路コレクション)
予科練から終戦、代用教員、そして漫画家へ							
資C-08	予科練入隊を見送られる馬場のぼる(三戸駅)		1944年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-09	予科練生となった馬場のぼる		1944年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-10	予科練生の集合写真		1944年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
C-21	ノート(予科練時代)		1944-45年	墨、色鉛筆・紙	22.0×30.5		個人蔵
C-22	漫画講談 新篇宮本武蔵		1945年	墨、色鉛筆・紙	9.4×27.0	日付:1945年10月中旬	個人蔵
C-23	漫画物語 龍虎の壺		1945年	墨・紙	16.2×24.0	日付:1945年10月26日	個人蔵
資C-11	向小学校の教師と生徒たち		1947年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
C-24	職員室(代用教員時代)		1947年	墨、水彩・紙	20.2×28.5		青森県三戸町蔵
C-25	各先生の十八番紹介します(代用教員時代)		1948年	水彩・紙	20.3×28.5		青森県三戸町蔵
C-26	演芸大会ポスター		1945-48年頃	パネル	59.0×88.7	主催:三戸地方復員海軍厚生会	参考図版/青森県三戸町蔵
資C-12	「風雲銀河城」執筆中の馬場のぼる		1948年頃	パネル			写真提供:青森県三戸町
資C-13	白木茂(右)の還暦を祝う馬場のぼる		1970年	パネル			写真提供:青森県三戸町

C-27	子供とバアマネト(通信教育のための一枚漫画)		1947年	墨・紙	11.0×18.1		個人蔵
C-28	ユーモア作家でも(通信教育のための一枚漫画)		1947年	墨・紙	11.1×18.2		個人蔵
C-29	投票日(通信教育のための一枚漫画)		1947年頃	墨・紙	11.2×17.3		個人蔵
C-30	バスはゆれる(通信教育のための一枚漫画)		1947年頃	墨・紙	14.0×14.7		個人蔵
C-31	[福中勤労報国隊川崎久慈鉱山へ!]	5点	1943年	墨・紙	10.3×14.8		個人蔵

漫画を描いた! 児童漫画から大人漫画へ

D-01	「怪盗カッポレ団」		1948年	パネル	B6判	発行:昭文社	参考図版/松本零士・日高敏「漫画歴史大博物館」(フロンズ社、1980年)より
D-02	「黄金鷲」		1948年	印刷	18.5×13.0	発行:昭文社	こぐま社蔵
D-03	「赤覆面の怪傑」		1948年	印刷	18.5×12.5	画:嶋馬之助(馬場のぼる)、作:春木一路(不詳)/発行:フレンド書房	こぐま社蔵
D-04	「謎の宝窟」		1949年	印刷	18.4×13.0	発行:昭文社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-05	「快傑旋風児」		発行年不詳	印刷	18.2×12.9	発行社不詳	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-06	野球おじさん		1949年	印刷	20.7×14.9	「小学六年生」1949年8月号/発行:小学館	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-07	社会科[うんどうかい]		1949年	印刷	20.8×29.5	「小学一年生」1949年10月号/発行:小学館	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-08	さんすうまんが34ちゃん56ちゃん		1949年	パネル	21.0×29.6	「小学二年生」1949年10月号/発行:小学館	参考図版/提供:青森県立美術館(森晴路コレクション)
D-10	ポストくん(No.27)		1952年	印刷	25.8×18.1	「おもしろブック」1952年11月号/発行:集英社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-11	ポストくん(No.27)原画	5点	1952年	墨・紙	30.8×24.7他	「おもしろブック」1952年11月号/発行:集英社	個人蔵
D-12	ポストくん(No.31)原画	5点	1953年	墨・紙	30.5×21.2他	「おもしろブック」1953年3月号/発行:集英社	個人蔵
D-13	ポストくん(No.33)原画	8点	1953年	墨、水彩・紙	34.4×25.0他	「おもしろブック」1953年5月号/発行:集英社	個人蔵
D-14	「ポストくん」		1951年	印刷	12.8×18.4	発行:太平洋文庫	青森県三戸町蔵
D-15	付録「ポストくん」		1957年	印刷	18.0×12.6	「おもしろブック」1957年9月号/発行:集英社	こぐま社蔵
D-16	付録「ポストくん」		1957年	印刷	18.0×12.6	「おもしろブック」1957年10月号/発行:集英社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-17	「山から来た河童」		1953年	印刷	20.5×37.0	発行:秋田書店	青森県三戸町蔵
D-19	「山から来た河童 第二集」		1954年	印刷	20.5×18.5	発行:秋田書店	こぐま社蔵
D-20	付録「キャラメルはショッパイこともある」		1953年	印刷	18.2×26.0	「少年画報」1953年2月号/発行:少年画報社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-21	付録「宮本武蔵」		1953年	印刷	18.2×12.8	「おもしろブック」1953年7月号/発行:集英社	青森県三戸町蔵
D-22	付録「まんが太閤記」		1954年	印刷	18.0×12.6	「おもしろブック」1954年新年特大号(1月号)/発行:集英社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-23	付録「まんが太閤記:藤吉郎編」		1954年	印刷	18.0×12.6	「おもしろブック」1954年7月号/発行:集英社	こぐま社蔵
D-24	付録「まんが太閤記:藤吉郎編」校正紙		1954年	印刷	18.7×26.3	「おもしろブック」1954年7月号/発行:集英社	個人蔵
D-25	付録「まんが太閤記:藤吉郎編」原画	10点	1954年	墨、鉛筆・紙	26.8×19.0他	「おもしろブック」1954年7月号/発行:集英社	個人蔵
D-26	ブウタン 原画		1954年	墨、水彩・紙	32.0×21.0	「幼年ブック」1954年1月号/発行:集英社	個人蔵
D-27	ブウタン 原画		1954年	墨、水彩・紙	28.5×20.0	「幼年ブック」1954年9月号/発行:集英社	個人蔵
D-28	ブウタン 原画	8点	1954年	墨、水彩・紙	31.8×22.6他	「幼年ブック」1954年6月号/発行:集英社	個人蔵
D-30	はなぼう		1956年	印刷	25.7×37.0	「りぼん」1956年6月号/発行:集英社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-31	のらねノンちゃん(1)校正紙		1957年	パネル	21.0×15.0	「婦人生活」1957年2月号/発行:同誌社	参考図版
D-32	のらねノンちゃん(3)校正紙		1957年	パネル	21.0×15.0	「婦人生活」1957年4月号/発行:同誌社	参考図版
D-33	のらねノンちゃん(5)校正紙		1957年	パネル	21.0×15.0	「婦人生活」1957年6月号/発行:同誌社	参考図版
D-34	のらねノンちゃん(7)校正紙		1957年	パネル	21.0×15.0	「婦人生活」1957年8月号/発行:同誌社	参考図版
D-35	のらねノンちゃん(14)校正紙		1958年	パネル	25.0×18.0	「婦人生活」1958年3月号/発行:同誌社	参考図版
D-36	のらねノンちゃん(19)校正紙		1958年	パネル	25.0×18.0	「婦人生活」1958年8月号/発行:同誌社	参考図版
D-37	のらねノンちゃん(26)校正紙		1959年	パネル	25.8×18.3	「婦人生活」1959年3月号/発行:同誌社	参考図版
D-38	のらねノンちゃん(44)校正紙		1960年	パネル	25.8×18.3	「婦人生活」1960年9月号/発行:同誌社	参考図版
D-39	のらねノンちゃん(4)校正紙	8点	1957年	パネル	21.0×15.0他	「婦人生活」1957年5月号/発行:同誌社	参考図版
D-40	たらふくまんま(だい7かい)		1958年	印刷	21.0×14.8	「二年の学習」1958年7月号/発行:学習研究社	青森県立美術館蔵(森晴路コレクション)
D-41	たらふくまんま(だい7かい)原画	5点	1958年	墨、鉛筆、水彩・紙	27.5×19.0他	「二年の学習」1958年7月号/発行:学習研究社	個人蔵
D-42	ころっけらいおん 原画	12点	1970年	墨、水彩、印刷・紙	27.0×19.0他	「現代漫画第2期4 馬場のぼる集」/発行:筑摩書房	個人蔵
D-43	ライオンがとびだしたら 原画		1966年	墨、水彩・紙	44.4×60.4	「コンキョウのぼん」1号/発行:野村トイ	個人蔵
D-44	もしもはねがあったら 原画		1966年	墨、水彩・紙	46.7×60.0	「コンキョウのぼん」3号/発行:野村トイ	個人蔵
D-45	もしもおぼけやしきがあったら 原画		1967年	墨、水彩・紙	39.7×54.8	「コンキョウのぼん」1967年版第4号/発行:野村トイ	個人蔵
D-46	もしもパンがふってきたら		1967年	印刷	27.6×41.7	「コンキョウのぼん」1967年版第5号/発行:野村トイ	こぐま社蔵
D-47	ばんざい桃太郎(そのはじまり)原画	2点	1961年	墨・紙	37.8×26.8	「週刊漫画サンデー」1961年4月8日号/発行:実業之日本社	個人蔵
D-48	ばんざい桃太郎(その35)原画	2点	1961年	墨・紙	38.6×27.3	「週刊漫画サンデー」1961年12月28日号/発行:実業之日本社	個人蔵
D-49	ばんざい桃太郎(その45)原画	2点	1962年	墨・紙	38.2×27.0	「週刊漫画サンデー」1962年2月17日号/発行:実業之日本社	個人蔵
D-50	おくて:ろくさん天国(NO126)原画		1963年	墨、鉛筆・紙	30.0×9.8	「週刊漫画TIMES」1963年12月14日号/発行:芳文社	個人蔵
D-51	じゃんばん:ろくさん天国(NO177)原画		1964年	墨、鉛筆・紙	30.0×9.7	「週刊漫画TIMES」1964年12月19日号/発行:芳文社	個人蔵
D-52	うまくない:ろくさん天国(NO215)原画		1965年	墨・紙	28.5×8.7	「週刊漫画TIMES」1965年9月18日号/発行:芳文社	個人蔵
D-53	ふくざつなきもち:ろくさん天国(NO228)原画		1965年	墨、鉛筆・紙	29.8×10.3	「週刊漫画TIMES」1965年12月18日号/発行:芳文社	個人蔵
D-58	ネコと私 原画		1967年	墨・紙	7.7×27.5	「婦人倶楽部」1967年7月号/発行:講談社	個人蔵
D-59	ネコと私 原画		1968年	墨・紙	40.2×27.3	「婦人倶楽部」1968年6月号/発行:講談社	個人蔵
D-60	まっかな泥棒(第八十四話)原画	4点	1967年	墨・紙	39.8×27.4	「週刊漫画サンデー」1967年6月7日号/発行:実業之日本社	個人蔵
D-61	鬼婆(その27)原画	4点	1970年	墨・紙	40.4×27.3	「問題小説」1970年10月号/発行:徳間書店	個人蔵
D-62	こんにゃく物語(第76話)原画	6点	1970年	墨・紙	39.5×27.3	「週刊漫画サンデー」1970年7月4日号/発行:実業之日本社	個人蔵

D-63	バクさん(976)原画		1973年	墨・紙	27.4×19.8	『日本経済新聞』夕刊 1973年4月6日	個人蔵
D-64	バクさん(2454)原画		1978年	墨・紙	27.4×19.8	『日本経済新聞』夕刊 1978年3月30日	個人蔵
D-65	バクさん(2592)原画		1978年	墨・紙	27.5×19.8	『日本経済新聞』夕刊 1978年9月11日	個人蔵
D-66	バクさん(2800)原画		1979年	墨・紙	27.4×12.7	『日本経済新聞』夕刊 1979年5月30日	個人蔵
D-67	バクさん(2947)原画		1979年	墨・紙	27.5×20.0	『日本経済新聞』夕刊 1979年11月22日	個人蔵
D-68	バクさん(3003)原画		1980年	墨・紙	27.4×19.8	『日本経済新聞』夕刊 1980年2月4日	個人蔵
D-69	だあれも止める人いないの?原画		1985年	墨・紙	20.2×27.4	『読売新聞』1985年3月24日	個人蔵
D-70	いつおいてもらうか!だれか決めろ原画		1986年	墨・紙	20.5×27.5	『読売新聞』1986年8月31日	個人蔵
D-73	人間不可解なり:土曜漫評原画		1993年	墨・紙	28.5×21.5	『読売新聞』夕刊 1993年5月15日	個人蔵
D-75	まいどおなじみの場面:土曜漫評原画		1997年	墨・紙	28.7×20.0	『読売新聞』夕刊 1997年5月31日	個人蔵

絵本を描いた! 5つのキーワード

「ふるさと」の風景							
E-01	『きつね森の山男』特装版	9点	1999年	印刷・紙	27.5×38.8他	発行:こぐま社/初版:1974年	こぐま社蔵
E-02	『五助じいさんのキツネ』リトグラフ(色校用)	4点	1979年	版画・紙	39.4×54.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
(故郷・三戸)							
E-03	名久井岳と馬淵川		1948年	パネル			参考図版/提供:青森県三戸町
E-04	城山の子どもたち		1980年	パネル			参考図版/提供:青森県三戸町
E-05	元木平の松並木		1989年	墨・水彩・紙	54.0×71.0		青森県三戸町蔵
資E-01	元木平の松並木(町の北側)		1961年以前	パネル			写真提供:青森県三戸町
資E-02	熊原川と黄金橋		1931年以前	パネル			写真提供:青森県三戸町
幼少期からの「あこがれ」							
E-06	『アリババと40人の盗賊』原画	6点	1988年	墨・水彩・紙	38.4×56.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
E-07	『アラジンと魔法のランプ』原画	4点	1994年	墨・水彩・紙	40.0×33.5他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
「児童漫画」を引き継いで							
E-08	『くまのあすけ』原画	5点	1980年	墨・水彩・紙	26.5×37.5他	発行:ポプラ社	個人蔵
E-09	『ごりらのごんちゃん』原画	4点	1983年	墨・水彩・紙	32.4×46.8他	発行:PHP研究所	個人蔵
「ことばあそび」を絵で展開							
E-10	『かえるがみえる』リトグラフ(色校用)	4点	1975年	版画・紙	49.5×54.8	作:松岡享子/発行:こぐま社	こぐま社蔵
E-11	『ぶたたぬきつねねこ』原画	6点	1978年	墨・水彩・紙	26.0×44.2他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
ずっと「好きなもの」							
E-12	『らしようもんのおに』原画	4点	1974年(表紙のみ1994年)	版画・紙	49.5×54.8	作:松岡享子/発行:こぐま社	こぐま社蔵
E-13	『きつねとごんろう』原画	4点	1984年	墨・水彩・紙	26.0×44.2他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
挿絵とルポのしごと							
E-14	『日本のとんち話』原画	3点	1975年	墨・水彩・紙	28.3×39.8他	著:川崎大治/発行:童心社	こぐま社蔵
E-15	『くいしんぼうさんのうた』原画	4点	1978年	墨・水彩・紙	29.8×49.4他	詩:まど・みちお/発行:童心社	こぐま社蔵
E-16	『てんぐのめんの宇宙人』原画	2点	1986年	墨・水彩・紙	26.4×37.4他	あたらしいSF童話13/作:白木茂/発行:岩崎書店	
E-17	『榎方志功』原画		1976年	墨・紙	39.5×27.3	没後一年追悼特集版『グッドバイ榎方志功』/発行:講談社	
E-18	『青森県ゆかりの人と風物』原画		1986年	墨・水彩・紙	37.5×27.4	『県別性格診断』/発行:河出書房新社	
E-19	『青森県文化観光立県宣言』記念イラスト原画		1998年	墨・水彩・紙	46.8×63.0		
E-20	『'83あかぎ国体スケッチ』		1983年	印刷	25.0×26.2	発行:群馬テレビ	
E-21	まんがルポ:郵便局長に変わった私(東京都・練馬郵便局)		1986年	印刷	26.0×18.0	『ポスト』1986年5月号/発行:廣済堂出版	
E-22	まんがルポ:なんともいえない情感が漂う(愛知県・千種郵便局)		1986年	印刷	26.0×18.0	『ポスト』1986年12月号/発行:廣済堂出版	
E-23	まんがルポ:世にも不思議な昔話の世界(遠野物語)のふるさと(岩手県・遠野市)		1988年	印刷	26.0×18.0	『ポスト』1988年2月号/発行:廣済堂出版	

描いた! つくった! 楽しんだ!

漫画家の絵本の会 仲間たちとともに							
F-01	画家とモデル		1988年	墨・水彩・紙	45.8×52.8	発行:こぐま社/初版:1974年	個人蔵
F-02	金比羅まいり		1992年	墨・水彩・紙	38.0×46.2	発行:こぐま社	個人蔵
F-03	大根引大根で道を教えけり (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	38.5×42.2		個人蔵
F-04	雀の子そこのけそこのけ御馬が通る (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	38.5×44.0		個人蔵
F-05	葉の花のつぼづれ也ふじの山 (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	38.5×42.1		個人蔵
F-06	投げ出した足の先なり雲の峰 (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	38.5×42.1		個人蔵
F-07	秋の風乞食は我を見くらぶる (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	38.5×42.0		個人蔵
F-08	是がまあつひの栞が雪五尺 (一茶)		1997年頃	墨・水彩・紙	37.8×41.8		個人蔵
F-09	空梅雨やにわか俳諧師はしゃぎおり (のぼる)		1999年	墨・水彩・紙	37.8×42.0		個人蔵
F-10	夕月や一本杉は切れられけり (のぼる)		1999年頃	墨・水彩・紙	38.2×41.8		個人蔵
仲間たちが描いた馬場のぼる							
F-11	やなせたかし『ばば仙人 ウホホの術で 霧はれる』		2002年	インク・水彩・紙	43.8×62.0	発行:こぐま社/初版:1974年	個人蔵
F-12	長新太『花笠踊り』		2002年	ガッシュ・紙	51.0×69.0	発行:こぐま社	個人蔵
F-13	佐川美代太郎『シンガポールでは、ニセモンの時計屋さんに立ちよった』		2002年	インク・水彩・紙	44.0×62.0		個人蔵
F-14	多田ヒロシ『靴のこと』		2002年	パステル・水彩・紙	52.5×68.2		個人蔵
F-15	柳原良平『絵本の会の旅 佐渡ヶ島たらい舟に乗る』		2002年	インク紙・コラージュ・ボード	40.0×58.0		個人蔵
鉄腕アトム(手塚治虫)と11びきのねこ(馬場のぼる)の共演							
F-16	『鉄腕アトムに変身する11びきのねこ』		1989年	墨・水彩・紙	48.7×60.5		個人蔵
F-17	『こういとうびかたもあつたの』		1993年	墨・水彩・紙	51.5×72.5		個人蔵
ねこたちの大冒険 絵本から飛び出したニャゴ!							
F-18	『帆船に乗る11びきのねこ』		制作年不詳	墨・パステル・水彩・紙	56.2×76.5		こぐま社蔵
F-19	あざみの中にはいと、ねこは急にりばに見える。		1986年頃	パステル・水彩・紙	28.7×38.0		個人蔵
F-20	『ねこ』		1986年頃	パステル・水彩・紙	28.5×38.5		個人蔵
F-21	『黒い帽子のねこ』		制作年不詳	墨・パステル・水彩・紙	32.0×27.0		個人蔵

F-22	[2ひきのねこ]	1984年頃	アクリル・イラストボード	36.4×51.5		個人蔵
F-23	[とうろこし畑のねこの家族]	1991年	墨、水彩・紙	37.8×56.5		こぐま社蔵
F-24	ぐんぐん大きくなって、りっぱなねこになるのだ。	1985年	墨、パステル、水彩・紙	28.5×38.2		個人蔵
F-25	こら、動かないとおもって安心してるナ。	1986年頃	墨、パステル、水彩・紙	38.0×56.5		こぐま社蔵
F-26	[エルツ城のねこたち]	制作年不詳	墨、水彩・紙	38.2×50.3		個人蔵
F-27	ねこは、スペインの闘牛士のようにはいかないア、どうも。	1986年頃	墨、パステル、水彩・紙	38.0×56.2		こぐま社蔵
F-28	[アフリカでゾウに乗るねこ]	1991年	墨、水彩・紙	37.8×56.5		こぐま社蔵
F-29	ワウ、諸君、もう撃ち合いなにかやる時代じゃないですぞッ。	1986年頃	墨、パステル、水彩・紙	38.0×56.2		こぐま社蔵
F-30	インディアンうそつかない。ねこ、少しうそつく。	1986年頃	墨、パステル、水彩・紙	28.2×19.4		個人蔵
F-31	[サン＝ベルナル峠を越える"11ひきのねこ"]	制作年不詳	墨、水彩・紙	46.7×38.0		個人蔵
F-32	あっあうあああ あうあうあう(ヤッパリヌカナイトダメデスカイ)。	1986年頃	水彩・紙	28.0×38.2		こぐま社蔵
F-33	ねこたちよよくきーけよ、やまねこには なるなーよォー。	1986年頃	墨、パステル、水彩・イラストボード	36.4×51.8		こぐま社蔵
F-34	[鮭とねこ]	1994年頃	墨、水彩・紙	56.5×38.4		個人蔵
F-35	[あほうどりに乗るねこ]	制作年不詳	アクリル・キャンバス	22.5×27.5		個人蔵
F-36	[鳥の丸焼きを運ぶコック]	制作年不詳	アクリル・キャンバス	22.5×27.5		個人蔵
F-37	[クラシックカーに乗るねこ]	制作年不詳	アクリル・キャンバス	22.5×27.5		個人蔵
F-38	[夕焼けのねこ]	制作年不詳	アクリル・キャンバス	22.5×27.5		個人蔵
F-39	[無限に続くねこ]	制作年不詳	アクリル・キャンバス			個人蔵
F-40	[2ひきのねことぶた]	制作年不詳	アクリル・キャンバス			個人蔵
(立体作品など)						
F-41	器[ねころぶねこ]	制作年不詳	陶磁器	16.5×27.0		個人蔵
F-42	器[あくびするねこ]	制作年不詳	陶磁器	160×270×25		個人蔵
F-43	陶板[2ひきのねこ]	制作年不詳	陶磁器	径22.0×1.3		個人蔵
F-44	立体[あくびするねこ]	制作年不詳	陶製置物	105×200×60		個人蔵
F-45	立体[ねこ2ひきとタイヤキ]	制作年不詳	着色・紙(張り子)	300×160×150		個人蔵
F-46	立体[ねこ2ひきと子ねこ]	制作年不詳	着色・紙(張り子)	300×160×150		個人蔵
F-47	立体[馬にまたがるねこ]	制作年不詳	着色・粘土			個人蔵
F-48	立体[馬1]	制作年不詳	粘土	340×330×110		個人蔵
F-49	立体[山男]	制作年不詳	粘土	200×125×100		個人蔵
F-50	立体[なまはげ]	制作年不詳	着色・粘土	235×160×80		個人蔵
F-51	立体[鬼瓦]	制作年不詳	陶製置物	175×180×90		個人蔵
F-52	イラストmyストリート:奈良法隆寺の鬼瓦見物 原画	1986年	墨・紙	382×275	『週刊朝日』1986年10月24日号/発行:朝日新聞出版	個人蔵
F-53	鬼瓦(スケッチ)	制作年不詳	鉛筆・紙	258×190		個人蔵
F-54	想い出すなあ青森の味① 原画	1981年	墨・紙	265×188	味の素広告/『東奥日報』1981年6月6日	個人蔵
F-55	立体[ほうきに乗った魔女とねこ]	制作年不詳	着色・粘土	230×120×225		個人蔵

最期の絵本「ぶどう畑のアオさん」

G-01	『ぶどう畑のアオさん』原画	17点	2001年	墨、水彩・紙	38.0×51.8他	発行:こぐま社	こぐま社蔵
------	---------------	-----	-------	--------	------------	---------	-------

スケッチ:みつめて描いた!

ねこ	[初期のねこ]	1951年		14.8×21.0		個人蔵
	[ねこの動き観察1]	1985年		22.2×34.5		個人蔵
	[ねこイヌ]	1985年		22.2×34.5		個人蔵
人物	[本を読む女性]	1952年頃		25.8×18.0		個人蔵
	[裸婦をスケッチする人々]	1961年		25.0×17.5		個人蔵
	黒部附近の老人たち	1956年		35.8×25.2		個人蔵
	[若い女性たち]	1995-96年		17.3×25.2		個人蔵
	動物	セントバーナード、コリー	1957年		18.8×26.5	
	水牛[上野動物園にて1]	1955年		19.0×27.0		個人蔵
	[犬の散歩、小学生]	1997年頃		17.2×25.0		個人蔵
	らいおん、まだらはいえな	1956年		25.5×36.0		個人蔵
	[ゾウ]	1956年		19.0×27.0		個人蔵
	[カラス]	制作年不詳		18.5×42.8		個人蔵
植物	[落ち葉]	1996年		19.2×20.2		個人蔵
	[ドングリ坊や]	1951年		19.0×27.0		個人蔵
	[サクラ]	1993年		16.3×22.5		個人蔵
	[植物2]	1993年		38.3×28.6		個人蔵
	[植物3]	制作年不詳		33.0×24.2		個人蔵
	[植物4]	1992-93年		27.0×38.2		個人蔵
	[植物5]	1988年		27.2×38.2		個人蔵
風景	[山並み]	2000年頃		17.2×25.0		個人蔵
	[八丈島]	1954年		19.0×27.0		個人蔵
	[熱海]	1952年		17.8×25.5		個人蔵
	[伊豆・吉奈]	1956年		35.6×25.0		個人蔵
漫画の舞台	[武家屋敷]	1957年		19.0×27.0		個人蔵
	[江戸時代風俗2]	1957-58年		19.0×27.0		個人蔵
	[西部劇1]	制作年不詳		25.0×32.0		個人蔵
旅	アイルランド	1991年		33.0×48.6		個人蔵
	[トルコ1]	1977年		24.3×33.2		個人蔵
	[トルコ2]	1977年		32.0×41.9		個人蔵
	[シンガポール]	1992年		24.5×33.2		個人蔵
最期のスケッチブック	[ウヒアハ]	2001年	墨、水彩・紙	29.4×41.0		個人蔵
	硯、竹ペン、墨					個人蔵

コレクションラボ002 地をみつめる

1. 開催データ

会期 | 2022年9月10日(土)～2023年1月16日(月)

※前期: 2022年9月10日(土)～11月7日(月)

後期: 2022年11月9日(水)～2023年1月16日(月)

開催日数 | 109日間

会場 | コレクションラボ1・2

観覧料 | 無料

入場者数 | 9,809人

ポストカード | ハガキ、2頁

ハンドアウト | A4、2頁(作品リストおよび展示マップ)

主催 | 八戸市美術館

協力 | 八戸焼昭山窯渡辺陶房、八戸酒類株式会社

展示作家 | 石橋宏一郎、今川和男、久保博孝、左館暁、白取善助、高藤義雄、名久井由蔵、樋口猛彦、福勢喜一、福田剛三郎、渡辺昭山

会場構成 | 佐藤慎也

担当学芸員 | 平井真里

2. 事業内容

八戸ゆかりの作家による、八戸市の風景が描かれた収蔵作品を21点展示。

作家や描かれた風景の紹介とともに、作品の描かれた背景や、作家の心情を紐解く。また、観覧者と学芸員で展示作品や展示作家、土地について感じたことや知っていることを語り合うイベントや、市内地図に地元作家が描いた作品が展示されているスポット、自分の八戸市内のおすすめスポットの情報を書き込むマッピングプロジェクトも併催した。観覧者と美術館がともにコミュニケーションを図りながら、八戸や作家、作品をみつめる機会となった。

3. 関連イベント

地をみつめるマッピング

期間 | 2022年9月10日(土)～2023年1月16日(月)

内容 | 展示室入口に貼られた市内地図に、観覧者が市内スポットの情報を自由に書き込んだ付箋を貼っていくマッピングプロジェクト。観覧者の情報は、担当学芸員が展覧会場内の大きな市内地図に改めて加えていく。展覧会期中に、観覧者と共に地図を育てていく。

コメント数 | 284件

ほろ酔い鑑賞「ほろ8」

開催日 | 2022年10月7日(金)、11月4日(金)、12月2日(金)、2023年1月13日(金) 各回19:00～20:00

ゲスト | 八戸酒類株式会社代表取締役・九代目・橋本八右衛門(11月4日、12月2日、1月13日)、杜氏・上井裕文(10月7日)、八戸焼昭山窯渡辺陶房渡辺真樹(11月4日、1月13日)

参加料 | 1,000円

参加者数 | 延べ32人

内容 | 八戸焼二代窯元である渡辺真樹の制作したお猪口で八戸酒類の旬の地酒をいただいた後、コレクションラボの展示作品を鑑賞。描かれた景色について感じたことや思い出を語り合う。使用したお猪口は持ち帰り可能。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「収蔵品を独自の切り口で 八戸市美術館コレクションラボ」2022年9月22日

・デーリー東北「作品も、地酒も堪能 八戸市美術館 夜の鑑賞会始まる」2022年10月13日

テレビ |

・八戸テレビ「八戸トピックス カルチャースポット はちのへ #2」2022年10月1日

Web |

・八戸テレビ「八戸トピックス 八戸の風景作品を展示」

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ002
地をみつめる

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
名久井由蔵	種差海岸	1946	油彩・板	21.7×27.1
久保博孝	種差海岸	不詳	油彩・キャンバス	24.3×41.0
今川和男	朝焼けの蕪島	不詳	油彩・キャンバス	90.9 × 116.7
石橋宏一郎	蕪島	不詳	油彩・キャンバス	45.5×53.0
福田剛三郎	海濱風景	1910	油彩・キャンバス	31.8×41.0
白取善助	八戸港	1989	油彩・キャンバス	45.5×53.0
樋口猛彦	魚市場	* 1975	水彩・紙	32.2×40.5
樋口猛彦	浜っこ	** 1943	水彩・紙	27.0×24.0
樋口猛彦	ソイ	* 1980	水彩・紙	31.8×40.7
樋口猛彦	ゆずと焼きアジ	** 1982	水彩・紙	24.0×27.0
石橋宏一郎	冬の街	1988	油彩・キャンバス	116.0×91.0
高藤義雄	新井田川漁港	1984	油彩・キャンバス	37.5×45.5
左館暁	北の河	1987	油彩・キャンバス	89.4×130.3
福勢喜一	八太郎沼の春	不詳	油彩・キャンバス	24.0×33.5
樋口猛彦	八太郎台場跡	* 不詳	鉛筆・紙	25.0×17.5
樋口猛彦	池	** 1963	水彩・紙	18.0×25.8
樋口猛彦	八戸競馬場	* 1947	水彩・紙	24.0×27.0
樋口猛彦	馬力大会	** 1973	水彩・紙	31.0×40.3
樋口猛彦	棟方一様宅に友集まる	* 1971	水彩・紙	26.2×36.0
樋口猛彦	一本杖ですべる	** 不詳	水彩・紙	18.3×35.8
渡辺昭山	八戸焼 遊魚文壺	1977	陶器	21.5×24.0×24.0

*は前期展示 **は後期展示

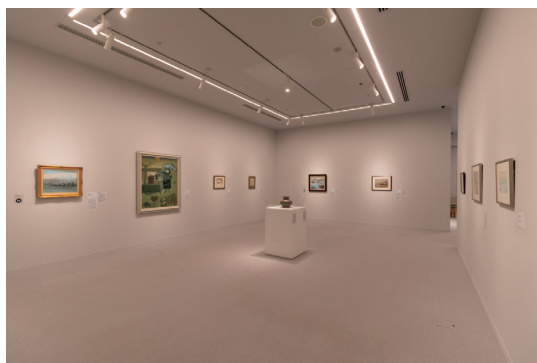
1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ002
地をみつめる

6. 開催の様子



展覧会風景



地をみつめるマッピング



ほろ酔い鑑賞「ほろ8」



1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ002
地をみつめる

7. ポストカード

POSTCARD

コレクションラボ 002

地をみつめる


Collection Lab 002: Gazing at Hometown
2022年9月10日[土]～2023年1月16日[月]

開館時間 | 10:00～19:00(12月28日～1月4日は10:00～17:00) 休館日 | 火曜日、12月31日、1月1日(1月3日は開館) 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 平井真里 会場構成 | 佐藤慎也 ※途中展示替えあり

八戸ゆかりの作家による、八戸市の風景が描かれた作品を中心に紹介するとともに、作品の描かれた背景や、作家の心情を紐解きます。美術館とともに、八戸や作家、作品をみつめ、研究してみませんか。

同時開催 ●八戸市美術館 会期 | 前期:2022年9月30日(金)～10月2日(日) 後期:2022年10月7日(金)～10月9日(日) ●佐藤時啓 —八戸マジックランタン— 会期 | 2022年10月29日(土)～2023年1月9日(月)

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



コレクションラボ002



福田剛三郎
《海濱風景》1910
31.8×41.0(cm)
キャンバス、油彩

福田は八戸で洋画を最初に始め、その普及に貢献した人物です。本作に描かれた建物は石田家旅館といい、県内外、八戸市内の文化人が集まるサロンのような役割を果たしていました。福田もまた、石田家旅館に足繁く通い、文化人同士の交流を深めていました。故地域を代表するこの旅館は、現在は取り壊されています。

ポストカード(表裏)

第59回 八戸市美術展

1. 開催データ

会期 | 前期展(書道) : 2022年9月30日(金) ~ 10月2日(日)

後期(絵画・工芸、写真) : 2022年10月7日(金) ~ 10月9日(日)

開催時間 | 10:00~18:00 (最終日は16:00まで)

会場 | ホワイトキューブ、ジャイアントルーム、ギャラリー1・2、スタジオ

観覧料 | 無料

観覧者数 | 5,613人

※前期展 : 2,568人、後期展 : 3,045人

主催 | 八戸市美術館、八戸市文化協会

後援 | 八戸市、八戸市教育委員会、東奥日報社、デーリー東北新聞社

同時開催 |

第35回八戸市学生書道展 | 2022年9月30日(金) ~ 10月2日(日) 10:00~18:00 (最終日は15:30まで)

第46回八戸市文化協会生活文化展 | 2022年10月7日(金) ~ 10月9日(日) 10:00~18:00 (最終日は16:00まで)

2. 事業内容

八戸市文化協会が長年実施する八戸市美術展を、八戸市美術館との共催により開催。多彩なジャンルの作品が展示されたほか、生活文化展では会場内でワークショップや体験コーナーが設置された。また、八戸市美術展、学生書道展では、出品作品の公募を行い、会期中に授賞式が行われた。

1. 展覧会+プロジェクト

第59回 八戸市美術展

3. 開催の様子



前期展覧会風景



後期展覧会風景

THE 59TH ART EXHIBITION OF HACHINOHE-2022

HCA

八戸市美術展

前期 書道 9/30(金)~10/2(日) 八戸市美術館 Hachinohe Art Museum
■ 時間 10:00~18:00 最終日は16:00まで
■ 入場料 無料

後期 絵画・写真・工芸 10/7(金)~10/9(日) 八戸市美術館 Hachinohe Art Museum
■ 時間 10:00~18:00 最終日は16:00まで

■ 出品申込 8月23日(火)~26日(金) 10時から18時まで
出品申込書に出品料を添えて文化協会事務局まで

■ 入賞者表彰式 日時:10月9日午後1時 場所:八戸グランドホテル

■ 懇親会 日時:10月9日午後2時 場所:八戸グランドホテル
会費: 2,000円

[主催] 八戸市文化協会・八戸市美術館
[後援] 八戸市・八戸市教育委員会
東奥日報社・デュー東北新聞社

[事務局] 八戸市文化協会
八戸市番町14番地(八戸グランドホテル内1階)
TEL.FAX 43-1149

<https://hachibunka.wixsite.com/hachinohe-bunka>

ポスター

佐藤時啓—八戸マジックランタン—

1. 開催データ

会期 | 2022年10月29日(土)～2023年1月9日(月・祝)

開催日数 | 73日間

会場 | ホワイトキューブ、ブラックキューブ

観覧料 | 一般800円(650円)、小・中・高校・大学生400円(300円)

※()は20名以上の団体料金

※11月3日(木・祝)、12月24日(土)は無料デー

※未就学児、八戸市内及び近隣町村(三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町)の小・中学生は無料

※市内及び近隣町村の65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付添い者1名は半額

※民間駐車場利用の場合、運転手1名分について団体割引適用

※17時以降半額

※フリーパス「かおパス」一般1,200円/大学生・専門学校生600円

入場者数 | 6,305人

図録 | A4、176頁

編集：松本知己、テキスト：佐藤時啓、飯沢耕太郎、伊藤俊治、平野啓一郎、齊藤未来、デザイン：野村浩、発行：八戸市美術館

ポスター | B2

デザイン：野村浩

チラシ | A4、4頁

デザイン：野村浩

ハンドアウト | A4、4頁(作品リストおよび展示マップ) デザイン：野村浩

主催 | 八戸市美術館

協賛 | 株式会社ニコン

協力 | 三菱製紙株式会社

後援 | 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、コミュニティラジオ局BeFM、デーリー東北新聞社、東奥日報社、八戸市教育委員会、八戸テレビ

撮影協力 | 大平洋金属株式会社、八戸鉱山株式会社、八戸セメント株式会社

会場構成 | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎

也研究室

広報物デザイン | 野村浩

担当学芸員 | 齊藤未来、高橋麻衣

2. 事業内容

本展覧会は八戸市が2015年度から実施している「写真のまち八戸」事業の一環として実施した展覧会であり、2016年度からは写真家招聘プロジェクトとして佐藤時啓を招聘し、八戸市内をリサーチ・撮影した写真作品を制作、展示した。関連して佐藤が制作した「リヤカメラ(リヤカー+カメラ)」をアートファーマーが運行するプロジェクトなどを実施した。

展示作品は、カメラの原理「カメラオブスクラ」や、ろうそくなどの光とレンズを使用して絵を投影する装置「マジックランタン」、前方の景色を手元に映し出しスケッチの補助器具となる「カメラルチダ」の、カメラにまつわる3つの装置から着想を得て制作された。特に「マジックランタン」シリーズでは、漁港の海面に八戸の伝統的な祭りの画像が映し出され、文化と商業、景観が融合した、八戸の風土の特徴を1枚の写真で可視化した作品となった。

また、市民写真展やフォトブックを制作するワークショップを行った。図録制作に関連して八戸ブックセンターでは「紙から本ができるまで/佐藤時啓—八戸マジックランタン—展覧会図録ができるまで」と題して、図録の制作過程や、紙に関する展示を行うなど、「写真のまち八戸」事業の一区切りとなる包括的な展覧会となった。

1. 展覧会+プロジェクト

佐藤時啓
—八戸マジックランタン—

3. 関連プロジェクト+イベント

アートファーマープロジェクト

「リヤカーメラプロジェクト」

開催日 | 2022年9月4日(日) 13:00~15:00、
18日(日) 13:00~15:00、10月9日(日) 10:
00~16:00、11月6日(日) 10:00~16:00

参加者数 | 11人

内容 | アートファーマーが「リヤカーメラ」を
運行するプロジェクトを実施。リヤカーメラ乗
車イベントに向け、アーティストによるレク
チャーやコース検討、案内物を制作し、アート
ファーマーがリヤカーメラの運行を主体的に
行った。

リヤカーメラに乗ってみよう

開催日 | 2022年9月18日(日) 10:30~15:00、11
月6日(日) 10:30~15:00、12月3日(土) 13:00~
13:45、12月18日(日) 11:00~12:00、2023年1月7
日(土) 11:00~12:00

参加者数 | 203人

内容 | リヤカーメラ乗車イベントを、9月18日は市
内八戸公園を会場に、11月6日以降はマエニワや
ジャイアントルームで実施した。

トークイベント

「マジックランタンと八戸ハウス」

開催日 | 2022年12月3日(土) 14:00~15:00

講師 | 佐藤時啓

参加者数 | 45人

内容 | 展覧会が開催されるまでを振り返るトーク
イベントを実施した。

ワークショップ

「段ボールカメラ」

開催日 | 2022年12月4日(日) 10:30~15:00

講師 | 佐藤時啓

参加者数 | 17人

内容 | 段ボール箱でピンホールカメラをつくる
ワークショップを実施した。

市民写真展

「八戸フォトマッピング」

開催日 | 2022年12月18日(日) ~2023年1月9日
(月・祝)

会場 | ギャラリー1・2

出展作家数 | 32人

内容 | 市民が撮影した写真作品を展示した。

ワークショップ

「八戸フォトブックをつくってみよう」

開催日 | 2023年1月8日(日) 10:30~15:00

講師 | 高田幸枝(八戸フォトジャーニー制作室代表、
写真家)

参加者数 | 8人

内容 | フリーペーパー「八戸フォトジャーニー」の
制作者である高田によるトークと、八戸に関連する
フォトブックをつくるワークショップを実施した。

連携企画

「紙から本ができるまで/佐藤時啓—八戸マジックランタン—展覧会図録ができるまで」

開催日 | 2022年10月29日(土) ~2023年1月9
日(月・祝)

会場 | 八戸ブックセンター ギャラリー

主催 | 八戸ブックセンター

内容 | 展覧会図録の制作過程を紹介する展覧会
を実施した。

4. 主なメディア掲載

テレビ |

・八戸テレビ「カルチャースポット八戸 佐藤時啓
—八戸マジックランタン—」2022年12月

ラジオ |

・BeFM「ゆうらじ八戸 —八戸マジックランタン—」
2022年11月21~25日

雑誌 |

・デジタルカメラマガジン 2022年12月号「佐藤時
啓—八戸マジックランタン—」2022年11月20日

web(動画) |

・一般社団法人日本国際文化交流協会「フロアレ
クチャーライブ配信 佐藤時啓—八戸マジックラ
ンタン—」2022年11月6日

web(記事) |

・art scape「キュレーターズノート 佐藤時啓—
八戸マジックランタン—」2022年12月15日

1. 展覧会+プロジェクト

佐藤時啓
—八戸マジックランタン—

5. 開催の様子



展覧会風景



展覧会風景



市民写真展「八戸フォトマッピング」



リヤカメラに乗ってみよう



ワークショップ「段ボールカメラ」



トークイベント「マジックランタンと八戸ハウス」

1. 展覧会+プロジェクト

佐藤時啓
—八戸マジックランタン—

6. ポスター／チラシ／ハンドアウト



ポスター



チラシ (表裏)



八戸マジックランタン

佐藤時啓

Hachinohe Magic Lantern
Tokihiro Sato

佐藤時啓—八戸マジックランタン—

2022年10月29日(土)～2023年1月9日(月・祝)

主催 | 八戸市美術館
協賛 | 株式会社ニコン
協力 | 三菱製紙株式会社
後援 | 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、コミュニティラジオ局BeFM、
デーリー東北新聞社、東奥日報社、八戸市教育委員会、八戸テレビ
撮影協力 | 大平洋金属株式会社、八戸鉱山株式会社、八戸セメント株式会社

担当学芸員 | 齊藤未来、高橋麻衣
会場構成 | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室
会場の予約 | 野村浩

同時開催

紙から本ができるまで /
佐藤時啓—八戸マジックランタン—展覧会図録ができるまで

会期 | 2022年10月29日(土)～2023年1月9日(月・祝)
会場 | 八戸ブックセンター ギャラリー
開館時間 | 10:00-20:00 ※日・祝は19:00閉館
休館日 | 毎週火曜日、年末年始(2022年12月29日、30日、31日、2023年1月1日)

Tokihiro Sato: Hachinohe Magic Lantern

Date: October 29, 2022 –January 9, 2023

Organizer: Hachinohe Art Museum
Sponsor: Nikon Corporation
Cooperation: Mitsubishi Paper Mills Limited.
Support: Asahi Broadcasting Aomori Co., Ltd., Aomori Television Broadcasting Co., Ltd., Radio Aomori Broadcasting, Community RadioBeFM, The Daily Tohoku Shimbun, The To-onippo Press, Hachinohe City Board of Education, Hachinohe Cable Television Co., Ltd.
Shooting Cooperation: Pacific Metals Co., Ltd., Hachinohe Mining Co., Ltd., Hachinohe Cement Co., Ltd.

Curation: Miki Saito, Mai Takahashi
Exhibition Design: Shinya Satoh, Shinya Satoh Studio, Nihon University
Graphic Design: Hiroshi Nomura

Related Exhibition

From Paper to Book:
How the Exhibition Catalogue *Tokihiro Sato: Hachinohe Magic Lantern* is Made

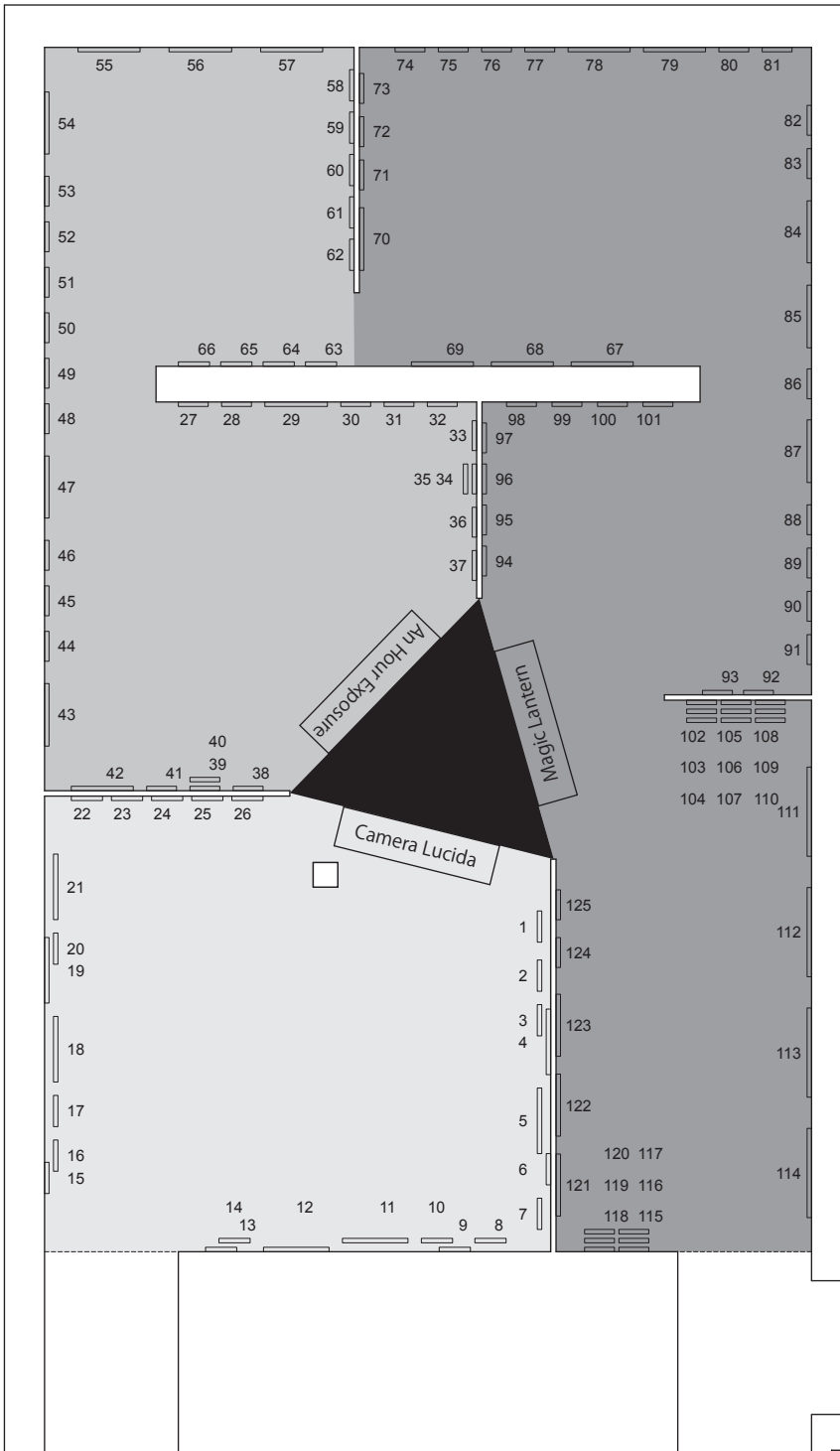
Date: October 29, 2022 –January 9, 2023
Venue: Hachinohe Book Center Gallery

「出品リスト」

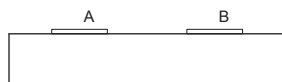


八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

ホワイトキューブ
White Cube



ブラックキューブ
Black Cube



A 「佐藤時啓—八戸マジックランタン—」撮影ドキュメント Tokihiro Sato: Hachinobe Magic Lantern Making Movie

B 「リヤカーカメラプロジェクト」ドキュメント RearCamera Project Documentary

出品リスト | List of Works

No	タイトル title	シリーズ series	制作年 year of production	サイズ dimensions
1	Sakura on Sakura #19	Camera Lucida	2018	500 × 700
2	Sakura on Sakura #15	Camera Lucida	2018	500 × 700
3	Sakura on Sakura #18	Camera Lucida	2018	500 × 700
4	Sakura on Sakura #23	Camera Lucida	2019	1050 × 1470
5	Sakura on Sakura #11	Camera Lucida	2018	1050 × 1470
6	Sakura on Sakura #17	Camera Lucida	2018	500 × 700
7	Sakura on Sakura #16	Camera Lucida	2018	500 × 700
8	Sakura on Sakura #21	Camera Lucida	2019	500 × 700
9	Sakura on Sakura #25	Camera Lucida	2019	500 × 700
10	Sakura on Sakura #22	Camera Lucida	2019	500 × 700
11	Sakura on Sakura #20	Camera Lucida	2019	1050 × 1470
12	Sakura on Sakura #9	Camera Lucida	2018	1050 × 1470
13	Sakura on Sakura #26	Camera Lucida	2019	500 × 700
14	Sakura on Sakura #24	Camera Lucida	2019	500 × 700
15	Sakura on Sakura #5	Camera Lucida	2018	500 × 700
16	Sakura on Sakura #2	Camera Lucida	2018	500 × 700
17	Sakura on Sakura #3	Camera Lucida	2018	500 × 700
18	Sakura on Sakura #10	Camera Lucida	2018	1050 × 1470
19	Sakura on Sakura #1	Camera Lucida	2018	1050 × 1470
20	Sakura on Sakura #4	Camera Lucida	2018	500 × 700
21	Sakura on Sakura #7	Camera Lucida	2018	1050 × 1470
22	Sakura on Sakura #8	Camera Lucida	2018	500 × 700
23	Sakura on Sakura #6	Camera Lucida	2018	500 × 700
24	Sakura on Sakura #12	Camera Lucida	2018	500 × 700
25	Sakura on Sakura #13	Camera Lucida	2018	500 × 700
26	Sakura on Sakura #14	Camera Lucida	2018	500 × 700
27	An Hour Exposure Tanesashi #6	An Hour Exposure	2021	500 × 670
28	An Hour Exposure Tanesashi #7	An Hour Exposure	2021	500 × 670
29	An Hour Exposure Tanesashi #8	An Hour Exposure	2019	1050 × 1403
30	An Hour Exposure Tanesashi #9	An Hour Exposure	2019	500 × 670
31	An Hour Exposure Tanesashi #1	An Hour Exposure	2022	500 × 670
32	An Hour Exposure Tanesashi #2	An Hour Exposure	2022	500 × 670
33	An Hour Exposure Tanesashi #4	An Hour Exposure	2019	500 × 670
34	An Hour Exposure Tanesashi #3	An Hour Exposure	2019	500 × 670
35	An Hour Exposure Tanesashi #5	An Hour Exposure	2019	500 × 670
36	An Hour Exposure Tanesashi #10	An Hour Exposure	2022	500 × 670
37	An Hour Exposure Tanesashi #14	An Hour Exposure	2021	500 × 670
38	An Hour Exposure Tanesashi #11	An Hour Exposure	2022	500 × 670
39	An Hour Exposure Tanesashi #12	An Hour Exposure	2017	500 × 670
40	An Hour Exposure Tanesashi #13	An Hour Exposure	2021	500 × 670
41	An Hour Exposure Tanesashi #15	An Hour Exposure	2021	500 × 670
42	An Hour Exposure Tanesashi #16	An Hour Exposure	2018	1041 × 1391
43	An Hour Exposure Fune #1	An Hour Exposure	2021	1050 × 1403
44	An Hour Exposure Fune #2	An Hour Exposure	2021	500 × 670
45	An Hour Exposure Fune #3	An Hour Exposure	2021	500 × 670
46	An Hour Exposure Fune #4	An Hour Exposure	2017	500 × 670
47	An Hour Exposure Fune #10	An Hour Exposure	2021	1041 × 1391
48	An Hour Exposure Fune #9	An Hour Exposure	2021	500 × 670
49	An Hour Exposure Fune #11	An Hour Exposure	2021	500 × 670
50	An Hour Exposure Fune #12	An Hour Exposure	2021	500 × 670
51	An Hour Exposure Fune #5	An Hour Exposure	2017	500 × 670
52	An Hour Exposure Fune #6	An Hour Exposure	2017	500 × 670
53	An Hour Exposure Fune #8	An Hour Exposure	2021	500 × 670
54	An Hour Exposure Fune #7	An Hour Exposure	2021	1041 × 1391
55	An Hour Exposure Matsuri #1	An Hour Exposure	2019	1041 × 1391
56	An Hour Exposure Matsuri #2	An Hour Exposure	2018	1050 × 1405
57	An Hour Exposure Matsuri #9	An Hour Exposure	2017	1041 × 1391
58	An Hour Exposure Matsuri #7	An Hour Exposure	2019	520 × 700
59	An Hour Exposure Matsuri #8	An Hour Exposure	2019	500 × 700
60	An Hour Exposure Matsuri #10	An Hour Exposure	2019	520 × 700
61	An Hour Exposure Matsuri #11	An Hour Exposure	2017	520 × 700
62	An Hour Exposure Matsuri #12	An Hour Exposure	2018	520 × 700
63	An Hour Exposure Matsuri #3	An Hour Exposure	2017	520 × 700
64	An Hour Exposure Matsuri #4	An Hour Exposure	2017	520 × 700
65	An Hour Exposure Matsuri #5	An Hour Exposure	2017	520 × 700
66	An Hour Exposure Matsuri #6	An Hour Exposure	2017	520 × 700

No	タイトル title	シリーズ series	制作年 year of production	サイズ dimensions
67	On the Plant #1	Magic Lantern	2020	1041 × 1391
68	On the Plant #2	Magic Lantern	2020	1041 × 1391
69	On the Plant #3	Magic Lantern	2020	1041 × 1391
70	On the Niche #1	Magic Lantern	2019	1050 × 1405
71	On the Niche #2	Magic Lantern	2021	500 × 670
72	On the Niche #3	Magic Lantern	2019	500 × 670
73	On the Niche #4	Magic Lantern	2019	500 × 670
74	On the Niche #5	Magic Lantern	2021	500 × 670
75	On the Niche #6	Magic Lantern	2021	500 × 670
76	On the Niche #7	Magic Lantern	2021	500 × 670
77	On the Niche #8	Magic Lantern	2021	500 × 670
78	On the Niche #9	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
79	On the Niche #11	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
80	On the Niche #10	Magic Lantern	2021	500 × 670
81	On the Niche #12	Magic Lantern	2021	500 × 670
82	On the Sea #7	Magic Lantern	2021	520 × 700
83	On the Sea #8	Magic Lantern	2019	520 × 700
84	On the Sea #15	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
85	On the Sea #16	Magic Lantern	2021	1050 × 1400
86	On the Sea #12	Magic Lantern	2021	1050 × 1405
87	On the Sea #11	Magic Lantern	2019	520 × 700
88	On the Sea #13	Magic Lantern	2021	520 × 700
89	On the Sea #14	Magic Lantern	2021	500 × 670
90	On the Sea #17	Magic Lantern	2021	500 × 670
91	On the Sea #18	Magic Lantern	2021	500 × 670
92	On the Sea #19	Magic Lantern	2021	500 × 670
93	On the Sea #20	Magic Lantern	2020	500 × 670
94	On the Sea #1	Magic Lantern	2019	520 × 700
95	On the Sea #2	Magic Lantern	2020	520 × 700
96	On the Sea #3	Magic Lantern	2021	520 × 700
97	On the Sea #4	Magic Lantern	2021	520 × 700
98	On the Sea #5	Magic Lantern	2020	520 × 700
99	On the Sea #6	Magic Lantern	2021	520 × 700
100	On the Sea #9	Magic Lantern	2021	520 × 700
101	On the Sea #10	Magic Lantern	2021	520 × 700
102	On the Rocks #3	Magic Lantern	2021	500 × 670
103	On the Rocks #7	Magic Lantern	2022	500 × 670
104	On the Rocks #12	Magic Lantern	2022	500 × 670
105	On the Rocks #4	Magic Lantern	2021	500 × 670
106	On the Rocks #8	Magic Lantern	2022	500 × 670
107	On the Rocks #14	Magic Lantern	2022	500 × 670
108	On the Rocks #17	Magic Lantern	2022	500 × 670
109	On the Rocks #9	Magic Lantern	2021	500 × 670
110	On the Rocks #15	Magic Lantern	2021	500 × 670
111	On the Rocks #6	Magic Lantern	2021	1500 × 2000
112	On the Rocks #10	Magic Lantern	2021	1500 × 2000
113	On the Rocks #20	Magic Lantern	2022	1500 × 2000
114	On the Rocks #23	Magic Lantern	2022	1500 × 2000
115	On the Rocks #18	Magic Lantern	2022	500 × 670
116	On the Rocks #21	Magic Lantern	2022	500 × 670
117	On the Rocks #16	Magic Lantern	2022	500 × 670
118	On the Rocks #19	Magic Lantern	2022	500 × 670
119	On the Rocks #22	Magic Lantern	2022	500 × 670
120	On the Rocks #24	Magic Lantern	2022	500 × 700
121	On the Rocks #1	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
122	On the Rocks #13	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
123	On the Rocks #11	Magic Lantern	2021	1041 × 1391
124	On the Rocks #2	Magic Lantern	2021	500 × 670
125	On the Rocks #5	Magic Lantern	2021	500 × 670
126	かがり火 えんぶり Bonfire Enburi		2018	
127	「マジックランタンプロジェクト」撮影ドキュメント	Magic Lantern Project Documentary	2021/2022	
128	マジックランタン Magic Lantern		2022	
129	リヤカメラ ReaCamera		2012/2021	

凡例(二五)
*制作年は、作品が撮影された年である。
*サイズは縦横でミリメートル表記とする。
*素材技法は、すべての作品がハイクォリティバークラフトプリントである。

Notes (1~125) * The year of production is the year in which the photographs were shot.
* The size(H x W) is in millimeters.
* The material and method used for all works are baryta paper and pigment print.

コレクションラボ003 七尾英鳳-花鳥風月を愛でる-

1. 開催データ

会期 | 2023年1月21日(土) ~ 2023年2月20日(月)

開催日数 | 27日間

会場 | コレクションラボ

観覧料 | 無料

入場者数 | 2, 239人

ポストカード | ハガキ、2頁

ハンドアウト | A4、2頁(作品リストおよび略歴)

主催 | 八戸市美術館

会場構成 | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室

担当学芸員 | 山田泰子

2. 事業内容

ふるさとの風景を愛で、その優美で繊細な美しさを表現し続けた七尾英鳳(1884~1962)。十和田湖や八甲田山を描いた襖絵や屏風絵など、新収蔵となった作品5点を初公開するとともに、すでに収蔵していた作品から初期の山水図3点を加え、英鳳が得意とした「花鳥風月」の世界を紹介した。

また、襖絵や屏風の作品が主だったことから、座った姿勢で作品を鑑賞できるよう畳を用意し、立った目線と、座った目線で感じる絵の見え方の違いを体感してもらった。

3. 関連イベント

ギャラリートーク

開催日 | 2023年1月28日(土)、2月11日(土) 各回
14:00~

参加者数 | 延べ20人

内容 | 担当学芸員が七尾英鳳の襖や屏風に描かれた風景作品について、岩絵具の特徴などを混ぜながら解説をした。

ほろ酔い鑑賞「ほろ8」

開催日 | 2023年2月17日(金) 19:00~20:00

ゲスト | 八戸酒類株式会社代表取締役・九代目・橋本八右衛門

参加料 | 1,000円

参加者数 | 7人

内容 | 八戸の地酒を楽しんだ後、展示作品を鑑賞。

4. 主なメディア掲載

新聞 |

・デーリー東北「新規収蔵品25点紹介」2022年
12月22日

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ003
七尾英鳳－花鳥風月を愛
でる－

5. 出品作品・資料

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
七尾英鳳	滝図	1909	紙本着色	99.4×63.0
七尾英鳳	山水図	1909	紙本着色	86.7×62.8
七尾英鳳	老樹図	1947	紙本着色	21.2×76.0
七尾英鳳	八戸種差海岸深久保白岩附近	1954	紙本着色	22.0×161.7
七尾英鳳	八甲田山中青椴松林高田大岳眺望	1955	紙本着色	二曲一双屏風 各隻166.5×161.4
七尾英鳳	十和田湖日暮崎之図	1957	紙本着色	四面襖 各面168.5×83.8
七尾英鳳	十和田湖中山崎春景図	1957	紙本着色	四面襖 各面168.5×83.8
七尾英鳳	奥入瀬溪流馬門岩附近清秋	1958	紙本着色	二曲一双屏風 各隻166.5×161.4
	月報誌『野の花』第二卷第十一集 神無月の巻	1907		
	月報誌『野の花』第三卷 卯月の巻	1909		
	月報誌『野の花』第三十九卷 九月・十月の巻	不詳		

6. 開催の様子



展覧会風景

1. 展覧会+プロジェクト

コレクションラボ003
七尾英鳳—花鳥風月を愛
でる—

7. ポストカード

POSTCARD

コレクションラボ 003

七尾英鳳
—花鳥風月を愛でる—

Collection Lab 003: NANAŌ Eiho Kacho-Fugetsu (Beauties of Nature)


2023年1月21日[土]～2月20日[月]

開館時間 | 10:00～19:00 休館日 | 火曜日 観覧料 | 無料 主催 | 八戸市美術館 担当学芸員 | 山田泰子 会場構成 | 佐藤慎也、日本大学理工学部佐藤慎也研究室 ※途中展示替えあり

ふるさとの風景を愛で、その優美で繊細な美しさを表現し続けた七尾英鳳(1884～1962)。十和田湖や八甲田山を描いた襖絵や屏風絵など、新収蔵となった作品5点を初公開します。日本画の醍醐味「花鳥風月」の世界をお楽しみください。

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

〒031-0031
青森県八戸市大字番町10-4
TEL:0178-45-8338



七尾英鳳《十和田湖日暮崎之図》1957
各面 177.0×89.8(cm) 紙本着色

コレクションラボ003

襖4面に描かれた十和田湖日暮崎の風景。急峻な岩山と緑濃く生い茂る樹木。霞がかかった空には月が浮かび、遠く向こうには八甲田連峰が見えています。鏡のように風景を映し込んだ湖面には、一艘の舟が漂っています。陰影と色彩の濃淡で、繊細にして雄大な自然の美を表現した、英鳳74歳の最晩年を代表する一作です。



ポストカード(表裏)

2. コレクション

収集

1. 八戸市美術館美術品等収集方針

1. 八戸市を中心とした近隣地域ゆかりのもの
2. 八戸地域における新たな魅力の創造や学びにつながるもの
3. 八戸の美術を美術史全体の中で位置づけられるもの

2. 八戸市美術館美術品等収集委員会

概要

美術品などを適正かつ公正に収集するため、八戸市美術館美術品等収集委員会規則に基づき、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例等に精通した専門家で構成する「八戸市美術館美術品等収集委員会」を設置し、収集候補作品に係る調査審議を実施。

委員

会長 | 塩田純一（美術評論家、前新潟市美術館館長、元青森県立美術館美術統括監）

副会長 | 滝尻善英（青森県文化財保護協会副会長、八戸市文化財審議委員副委員長）

委員 | 池田亨（青森県立美術館美術統括監）

委員 | 藤浩志（美術家、秋田公立美術大学教授、秋田市文化創造館館長）

委員 | 吉田尊子（岩手県立美術館学芸普及課課長）

開催状況

開催日 | 2023年2月24日（金）14:00～16:00

場所 | 八戸市美術館ホワイトキューブ

内容 | 収集候補美術品などに係る調査審議。

3. コレクション

収集

3. 新規収蔵作品

作者名	作品・資料名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
伊藤二子	無題	2001	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2002	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2003	アクリル・キャンバス	100.0×73.0
伊藤二子	無題	2004	アクリル・キャンバス	100.0×73.0
伊藤二子	無題	2005	アクリル・キャンバス	97.0×162.0
伊藤二子	無題	2007	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2009	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2009	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2009	アクリル・キャンバス	73.0×100.0
伊藤二子	無題	2010	アクリル・キャンバス	97.0×162.0
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	97.0×162.0
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	45.5×53.0
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	53.0×45.5
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	45.5×53.0
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	45.5×53.0
伊藤二子	無題	不詳	アクリル・キャンバス	27.5×22.8
伊藤二子	もろともに	不詳	墨・紙	79.0×109.0
伊藤二子	世界	不詳	墨・紙	78.7×108.9
七尾英鳳	八戸種差海岸深久保白岩附近	1954	紙本着色	22.0×161.7
七尾英鳳	八甲田山中青椴松林高田大岳眺望	1955	紙本着色	二曲一双屏風 隻166.5×161.4
七尾英鳳	十和田湖日暮崎之図	1957	紙本着色	襖4面 各面177.0×89.8
七尾英鳳	十和田湖中山崎春景図	1957	紙本着色	襖4面 各面177.0×89.8
七尾英鳳	奥入瀬溪流馬門岩附近清秋	1958	紙本着色	二曲一双屏風 各隻166.5×161.4

〈二次資料〉

伊藤二子 ペインティングナイフ、アルバム、写真、ネガ、書簡、ハガキ、宇山博明書、書類挟みなど一式

管理

1. 収蔵品修復

以下の資料の修復を行った。

作者名	作品名	制作年	素材・技法	サイズ (cm)
宇山博明	是川作品群301	1976	キャンバス・油彩	132.0×294.0
八戸市立湊中学校 養護学級生徒	虹の上をとぶ船 8点	1973	紙・木版	31.4×45.3

(委託先 有限会社修復研究所21)

2. 収蔵品撮影

デジタル撮影 | 100点

フィルム撮影 | 100点

(委託先：株式会社フォトセンター惣門)

3. 収蔵品貸出

該当なし

4. その他

毎月の昆虫調査および年3回の空気環境調査を行った (委託先：イカリ消毒株式会社八戸営業所)。また、作品の保存管理のため、中性紙で保存箱 (18点) を製作。

3. アートファーマー

建築ツアーガイド

1. 事業内容

八戸市美術館の建物の魅力や特徴を、みんなで一緒に学び、学んだことを他の誰かに自分の言葉で伝える実践(ガイド)を通して、美術館と人をつなぎ、新たなコミュニティを育むことを目的に実施。2022年度は2期生を募集し、2021年度から活動している1期生と一緒に講座と実践を通して八戸市美術館の建物の魅力をより多くの人に伝える取組を実施した。講座では設計者の話を直接聞いて学ぶ場を設けたほか、弘前れんが倉庫美術館へ視察研修を行い、弘前で活動しているガイド(れんが倉庫部部員)との相互交流を図った。

2. 開催データ

登録者数 | 16人(1期生10人、2期生6人)

1. 建築ツアー実施

開催日 | 毎月最終土曜日 (1) 10:30～ (2) 13:30～

2. 建築ツアーガイド講座

第1回講座

開催日 | 2022年10月29日(土) 13:30～16:00

内容 | 自己紹介、館長レクチャー、八戸市美術館の概要説明、1期生による館内ガイドなど

第2回講座

開催日 | 2022年11月3日(木・祝) 15:30～17:30

内容 | 種さがしラボ002「美術館のアクセシビリティ」聴講

第3回講座

開催日 | 2022年11月12日(土) 8:00～18:00

内容 | 弘前れんが倉庫美術館見学、ガイド交流会

第4回講座

開催日 | 2022年12月4日(日) 15:00～18:00

内容 | 第3回講座振り返り、設計者レクチャー、ガイドコース作成

3. 主なメディア掲載

新聞 |

・東奥日報「八戸市美術館ボランティア れんが倉庫へ ガイド活動 思い共有」2022年11月22日

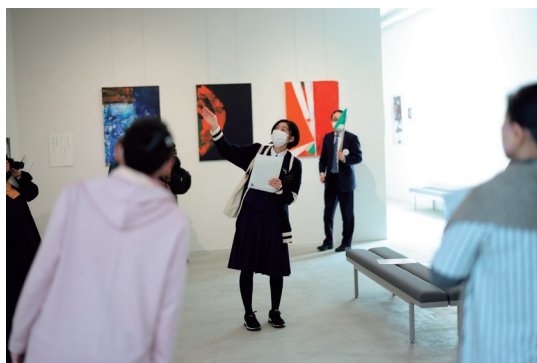
3. アートファーマー

建築ツアーガイド

4. 開催の様子



建築ツアー



建築ツアー



第3回講座



第3回講座



第4回講座

きむらとしろうじんじん八戸野点2022

1. 事業内容

2023年春夏開催の展覧会「美しいHUG!」に先がけ、陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんが野点を開催。野点運営を手伝うプロジェクトスタッフ（アートファーマー）を募集し、一緒に運営した。

じんじんの野点は、素焼きのお茶碗と陶芸窯・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など、その土地のさまざまな場所に出現。参加者がその場で絵付けしたお茶碗を楽焼（らくやき）という方法でその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地の・その日の・その時の風景の中で」お茶を楽しんでもらう、陶芸お抹茶屋台—移動式カフェ—旅回りのお茶会。

プロジェクトスタッフとともに開催場所をさがす「おさんぽ会」を実施し、美術館前広場「マエニワ」での開催を決定した。

2. 開催データ

主催 | 八戸市美術館

アーティスト | きむらとしろうじんじん

担当 | 篠原英里、大澤苑美

1. 野点説明会・おさんぽ会

概要 | 野点の運営を手伝うプロジェクトスタッフ希望者向けに、野点説明会を開催。また、集まったスタッフとともに野点開催地を探すためのおさんぽ会を開催。

開催日 | (1) 2022年6月11日(土) (2) 12日(日)
(3) 7月16日(土) (4) 7月17日(日) (5) 18日(月・祝) 各日10:00~17:00

会場 | ジャイアントルーム、八戸市内各所

参加料 | 無料

参加者数 | (1) 20人 (2) 19人 (3) 14人 (4) 15人 (5) 11人

プロジェクトスタッフ募集チラシ | A4

デザイン: 類家舜

2. 野点体験説明会

概要 | プロジェクトスタッフ向けに道具や準備の仕方を実際に確認する体験説明会を開催。

開催日 | 2022年9月25日(日)終日

会場 | 八戸市美術館前広場マエニワ

参加者数 | 15人

3. 八戸野点2022 in 美術館マエニワ

概要 | プロジェクトスタッフとともに野点を開催。チラシを見て来た人や偶然通りがかった人が参加・見学し、チャーミングなじんじんの姿と野点が路上にてくり広げられる風景を楽しんでいた。

開催日 | 2022年10月1日(土) 昼ごろから日暮れまで

会場 | 八戸市美術館前広場マエニワ

参加料 | お茶碗絵付: 2,000円、お抹茶: 300円

参加者数 | 絵付: 40人、見学: 100人、プロジェクトスタッフ: 15人

チラシ | A4

デザイン: 類家舜

3. アートファーマー

きむらとしろうじんじん八戸野点2022

3. 開催の様子



おさんぽ会



野点

3. アートファーマー

きむらとしろうじんじん八戸野点2022

4. チラシ

**きむらとしろうじんじん野点 in 八戸
プロジェクトスタッフ募集!**

おさんぽ会で野点の場所を探します

2023年春夏開催の展覧会「美しいHUG」に先がけ、2022年10月1日(土)に、アーティストのきむらとしろうじんじんさんと野点を開催するプロジェクトを実施します。じんじんさんと一緒に八戸をおさんぽして、野点(のだて)によさそうな場所を一緒に探しましょう。チームメンバー求む!

野点って?
素焼きのお茶碗と陶芸窯・お茶道具一式を積んだリヤカーで、街かどや山の中、海辺など...その土地のさまざまな場所に出現。参加者がその場で絵付けをしたお茶碗を素焼(らくやき)という方法でその場で焼き上げ、自作のお茶碗で「その土地の、その日・そのときの風景の中で」お茶を楽しんでもらう...陶芸お抹茶舞台-移動式カフェ-旅回りのお茶会です。

活動内容
おさんぽ会での実施場所探し、野点本番時のサポート(説明会+本番前リハーサルあり)

活動時期
2022年6月~10月上旬

活動場所
八戸市美術館、八戸市内

1947年都生まれ、現在京都在住の陶芸家・美術家。1995年から全国各地で移動式陶芸お抹茶舞台「野点」を開催しています。身長190cm。
きむらとしろうじんじん

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum
八戸市美術館アートファーマープロジェクト / 2023年春夏企画「美しいHUG」プロジェクト

プロジェクトスタッフ募集チラシ

Illustration: Shun Ruiko 八戸市美術館 2023年春夏企画「美しいHUG!」プロジェクト

**2022年10月1日(土) 屋ごころから日暮れまで
八戸市美術館マエニワ**

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

参加費
お茶碗絵付 2,000円
お抹茶 300円

雨天決行
お茶碗の数は限りがあります

陶芸家・美術家のきむらとしろうじんじんがリヤカーにお茶碗、陶芸窯、お茶道具一式を積んで、移動式カフェ-旅回りのお茶会を開きます。

**きむらとしろうじんじん
八戸野点 2022**

主催 八戸市美術館 TEL 0178-45-8338 FAX 0178-24-4531 Email art@city.hachinohe.aomori.jp

チラシ

4. 学校連携

学校連携プロジェクト

1. 事業内容

八戸市美術館では、アートの学びを重視し、小学校・中学校・高等学校などの教育機関との連携強化を計画に掲げている。2020年度に設置した「学校連携プロジェクトチーム」は、小中高の教員と美術館学芸員、専門家で構成されており、児童生徒の個々の価値観や美意識を醸成し、一人一人がアートを通して自立する機会をつくるために、互いにアイデアを出しながら協力し、活動している。これまでの活動の中で、教員は、美術館との連携授業やプロジェクトを考えたり、実際にそれを実践して観察し、今後の授業へ活かしたりしている。また、校種の異なる教員と協力、交流することで、多くのことを学び合っている。同時に、八戸市美術館の学芸員も、教員から教育のあり方を学び、美術館の事業に活かしている。2022年度は、ひき続きプロジェクトを実施すると共に、より多くの学校が美術館を活用できるようにプログラムの検討を行った。

2. 開催データ

1. 学校連携プロジェクトチーム

活動日 | 2022年9月29日(火)、12月27日(火)、2023年3月28日(火)

参加者数 | 小学校教諭：9人、中学校教諭：6人、高等学校教諭：3人、専門家：三澤一実、学芸員：2人

内容 | 学校連携プロジェクトチームのメンバーが集まり、今後の活動について話し合った。また、三澤一実から全国の美術教育の事例を学び、対話型鑑賞の研修を行うなど、授業に活かせる会議を行った。

(1) 小中校合同鑑賞会

活動日 | 2022年8月10日(水)

参加校名 | 八戸市立豊崎小学校、三沢市立三沢小学校、八戸市立東中学校、青森県立八戸北高等学校

参加者数 | 児童生徒：11人、プロジェクトチームメ

ンバー：6人

内容 | 当館で開催していた企画展「まるごと馬場のぼる展」を活用し、学校連携プロジェクトチームの運営で、小中学生、高校生の校種合同の鑑賞会を実施した。

(2) 美術館新聞部プロジェクト

開催日 | 2021年3月22日(月)から継続して活動

参加校名 | 八戸市立江南小学校、八戸市立根城中学校、青森県立八戸工業高等学校

参加者数 | 11人

内容 | 小中学生と高校生が、新聞をつくるプロジェクト。アーティストや周辺店舗へのインタビュー取材、イラストカットづくりなどを経て、2023年3月末に第2号を刊行した。

(3) はみ出す力展 vol. 4-図工・美術の授業展 2022への出展

会期 | 2022年9月11日(日)～18日(日)

会場 | うらわ美術館

内容 | 昨年に引き続き学校連携プロジェクトの活動内容を紹介するパネルを作成し展示した。また、オンライン鑑賞会の発表者として登壇依頼を受け、発表を行った。

2. 令和4年度 第1回総合教育会議

開催日 | 2022年11月30日(水)

展示期間 | 2022年11月30日(水)～12月4日(日)

参加校名 | 八戸市立旭ヶ丘小学校

参加者数 | 50人

内容 | 会議出席者は「思い出を美術館に…」という題材で小学生が美術館に作品を展示する公開授業を視察し、意見交換を行った。学芸員が事前に出前授業を行い、作品制作や展示のアドバイスをした。

4. 学校連携

学校連携プロジェクト

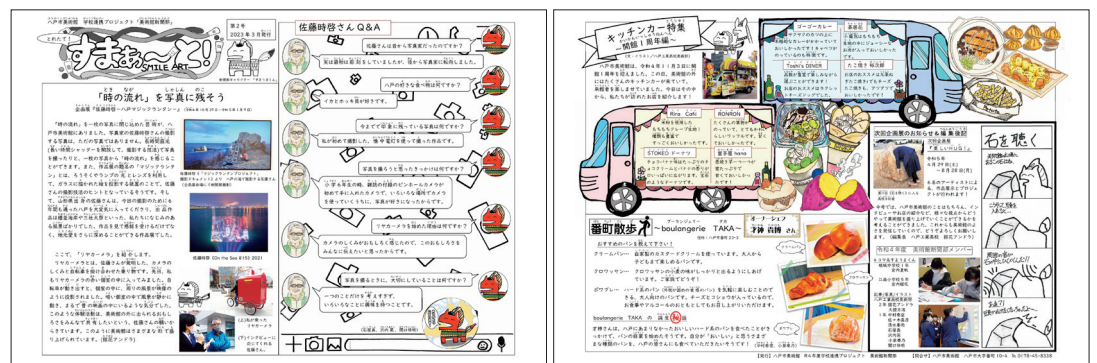
3. 主なメディア掲載

新聞 |

- ・東奥日報「お気に入りの作品は？／市美術館と小中高連携 4校の児童、生徒交流／「まると馬場のぼる展」合同鑑賞会」2022年8月17日
- ・デーリー東北「八戸市総合教育会議／市美術館の教育活用で意見交換」2022年11月30日

- ・東奥日報「美術館と学校どう連携／市総合教育会議 旭ヶ丘小の授業見学」2022年12月2日

4. 開催の様子



美術館新聞部プロジェクト



学校連携プロジェクトチーム



小中高合同鑑賞会



令和4年度 第1回総合教育会議



美術館新聞部プロジェクト

4. 学校連携

大学資産を活用したアートの学び事業

大学資産を活用したアートの学び事業

1. 事業内容

美術館の特徴である「アートの学び」の具現化に向けて、美術館の事業の柱の1つである大学との連携により大学ならではの資産を活用したアートを通じた人材育成に関する事業を行っている。

八戸市美術館が開館1周年を迎えるにあたり、ジャイアントルームや八戸学院まちなカラボを始めとする様々な活動スペースの活用や、大学活動拠点と連携した事業の方向性を探り、人材育成や地域の活性化、アクセシビリティの向上に繋げる事業を展開した。

2. 開催データ

事業期間 | 2022年8月4日(木)～2023年3月31日(金)

委託先 | 八戸学院地域連携研究センター

1. 三校連携創作体験ワークショップ

八戸学院大学・短期大学部、八戸工業大学、八戸高専の特徴を活かした、アートを切り口とした講座を開催し、日常生活や地域における気づきや新たな発想を提供した。

実施事業

「11ぴきのねこマラソン大会」ジャイアントぬりえ

開催日 | 2022年7月2日(土)～8月29日(月)
10:00～19:00

場所 | ジャイアントルーム

内容 | 「まるごと馬場のぼる展」の会期中に、「11ぴきのねこマラソン大会」のジャイアントぬりえを設置し、来館者が自由に楽しんだ。

「11ぴきのねことぶた」に出てくる、ぶたくんのいえをつくろう!

開催日 | 2022年8月27日(日) 10:30～12:00

講師 | 佐貫巧(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科准教授)

場所 | ワークショップルーム

参加者数 | 18人

きえちやう写真を撮ろう～うごく世界ととまった世界～

開催日 | 2022年11月3日(木・祝) 11:00～15:00

講師 | 池田拓馬(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科准教授)

場所 | スタジオほか

参加者数 | 40人

みんなで創る写真の音楽

開催日 | 2022年11月5日(土) 11:00～14:00

講師 | 安田美央(八戸学院地域連携研究センター講師)

場所 | スタジオ

参加者数 | 14人

とぼして まわして 遊ぼう! 1Park(わんぱーく)

開催日 | 2022年11月26日(土) 10:00～15:00

講師 | 差波直樹(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授)、差波ゼミ学生:13人

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 60人

SDGs×LEGOーわたしたちの未来ー

開催日 | 2023年1月7日(土) 10:30～12:00

講師 | 川守田景子(八戸学院地域連携研究センター講師)

場所 | ワークショップルーム

参加者数 | 19人

ハチビ×是川縄文ジャック

開催日 | 2023年1月12日(日) 10:30～12:00

講師 | 馬渡龍(八戸工業高等専門学校准教授)

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 20人

科学工作! 光通信機をつくろう

開催日 | 2023年2月13日(日) 11:00～15:00

講師 | 川本清(八戸工業大学教授)

場所 | ジャイアントルーム

参加者数 | 12人

4. 学校連携

大学資産を活用したアートの学び事業

2. 学生×社会人のアートの学び実践講座事業「ジャイアントルーム開拓団」

開催日 | 2022年11月23日(祝・水)、2023年1月7日(土)、2月18日(土) 各回13:30~16:00

講師 | 笹尾和宏(『PUBLIC HACK 私的に自由にまちを使う』著書)、山下裕子(ひと・ネットワーククリエイター)、堤静子(八戸学院地域連携研究センターセンター長)

参加者数 | 25人(うち八戸学院大学学生15人)

内容 | 公共空間の私的で自由な使い方をみんなで考え、実践するワークショップを開催。『PUBLIC HACK』の著者である笹尾和宏を講師に招き、学生と社会人、公共施設を使う人と管理する人が一緒に、どこまで自由に使えるかやルールづくりを考えながら、既成概念に捉われない使い方をジャイアントルームで実践。講座には美術館スタッフも参加。

3. 美術館のアクセシビリティ向上事業

託児サービス

開催日 | 第1回: 2022年8月21日(日) 第2回: 8月28日(日) 第3回: 10月30日(日) 第4回: 11月3日(木・祝) 第5回: 13日(日) 第6回: 12月11日(日) 第7回: 24日(土) 第8回: 2023年1月8日(日) 各回10:00~16:00

利用者数 | 第1回: 5人 第2回: 7人 第3回: 0人 第4回: 24人 第5回: 0人 第6回: 11人 第7回: 5人 第8回: 8名

担当講師 | 第1~2回、第4~8回: 加藤康子 第3回: 堤静子

内容 | 子育て世代が美術館に気軽に来館できる機会と、学生の実践的な学びの機会を創出するため、「八戸学院まちなかラボ」を活用し、美術館の展覧会の会期中に、保育士を目指している学生が運営する託児スペースを開設した。

3. 開催の様子



みんなで創る写真の音楽



SDGs×LEGO-わたしたちの未来-



「ジャイアントルーム開拓団」



託児サービス

5. イベント

5. イベント

ゴールデン・ジャイアント・ウィーク

ゴールデン・ジャイアント・ウィーク (GGW)

1. 事業内容

ゴールデンウィーク期間に、まだ美術館に来たことがない・美術館に興味がない方をメインターゲットに、ジャイアントルームや広場を中心に集客イベントを開催し、来館動機を喚起する。子どもの日にちなんだプログラムやゴールデンウィーク期間中に開催される街中イベントなどと合わせ、GW企画を実施することで中心街の賑わいを創出し、街中の回遊性を高めるとともに、各イベントにおいて各実施団体・個人と共催することで、新たな共創パートナーの開拓を図った。

2. 開催データ

会期 | 2022年4月29日(金・祝)～5月8日(日)

会場 | スタジオ、ジャイアントルーム

主催 | 八戸市美術館

チラシ | A4、2頁

デザイン：高橋麻衣

1. ジャイアントルーム企画

アートボードゲームで遊ぼう!

開催日 | (1) 2022年4月29日(金・祝) (2) 5月1日(日) 各日10:00～12:00、13:00～15:00

遊べるゲーム | ディクシット、ジャンクアート

参加者数 | (1) 32人 (2) 52人

内容 | アートがテーマのボードゲームで遊べるワークショップ。

モノガタル人たちのモノガタリ ～八戸市美術館スタッフのコレクションから

開催日 | 2022年5月3日(火・祝)～8日(日)

内容 | 手作り人形、レトロゲーム、競馬グッズなど、美術館スタッフの"超"プライベートコレクションを公開。コレクションを通してスタッフの人柄が垣間見える展示。

マステでオリジナル八幡馬をつくろう!

開催日 | 2022年5月4日(水・祝) 10:00～12:00、13:00～15:00

料金 | 1個1,500円(同グループ2個目から1,000円)

協力 | 株式会社八幡馬

参加者数 | 30人

内容 | マスキングテープで自由にデザインし、自分だけのオリジナル八幡馬をつくるワークショップを開催。

みんなで絵かき! デジタルライブペインティング

開催日 | 2022年5月5日(木・祝) 10:00～12:00、13:00～16:00

講師 | 加藤直礼、Ayako Shinohara

参加者数 | 61人

内容 | ペインティングソフトとプロジェクターを使ってジャイアントルームに絵を描いて楽しむワークショップ。

どこでもPark

開催日 | 2022年5月7日(土) 10:30～12:00、13:00～17:00(時間内ならいつでも)

参加料 | 500円

講師 | 三浦きよ美(Spiral Antenna)

参加者数 | 32人

内容 | 小さな公園(Park)のジオラマづくり。

ラクガキでつくる、ジャイアント迷路!

開催日 | 2022年5月8日(日) 10:00～17:00

講師 | 東方悠平(八戸工業大学講師)

内容 | ビニールの迷路にラクガキして、ジャイアントルームに巨大迷路をつくるワークショップ。

2. スタジオイベント

「鮫の神楽」映像上映

開催日 | 2022年4月29日(金・祝)～5月8日(日)
(5月1日、5月7日は除く)

協力 | 八戸市社会教育課

内容 | 「持続するモノガタリ展」で展示されている「墓獅子舞」をはじめとする「鮫の神楽」の映像を大画面で上映。

5. イベント

ゴールデン・ジャイアント・ウィーク

館長トーク「おもしろい建築の話」

開催日 | 2022年5月1日(日) 13:30~14:30

出演 | 佐藤慎也(八戸市美術館館長)

参加者数 | 25人

内容 | 国内・海外の変わった建築物や面白い使われ方をされている建物などを紹介。建物の魅力を感じることができるトークイベント。

「打楽器集団el gesto」打楽器ライブ&打楽器体験

開催日 | 2022年5月7日(土) 13:30~15:30

出演 | 打楽器集団el gesto(エルゲスト)

参加者数 | 32人

内容 | 市内を中心に活動する打楽器集団el gestoによる打楽器ライブと、参加者が打楽器に親しめるワークショップ(体験)を開催。

(3) ツアー

建築ツアーガイド

開催日 | 2022年4月30日(土) (1) 11:00~12:00

(2) 14:00~15:00

集合場所 | ジャイアントルーム

内容 | アートファーマーが八戸市美術館の建築の魅力を独自の目線で紹介するツアーを開催。

参加料 | 無料(要観覧チケット)

参加者数 | (1) 8人 (2) 4人

3. 開催の様子



アートボードゲームで遊ぼう!



みんなでお絵描き! デジタルライブペインティング



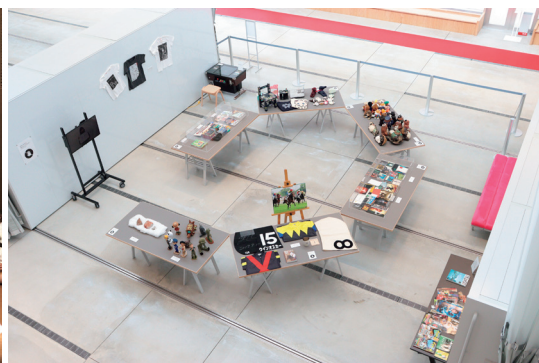
マステでオリジナル八幡馬をつくらう!



どこでもPark



「打楽器集団el gesto」打楽器ライブ&打楽器体験



モノガタル人たちのモノガタリ

5. イベント

ゴールデン・ジャイアント・ウィーク

4. チラシ



チラシ (表裏)

ジャイアントルーム企画 アートボードゲームで遊ぼう! 日時：4月29日(金・祝)、5月1日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00(両時 所限あり) アートゲームのボードゲームで遊んでみま せんか?ゲームは簡単な子でもから大人ま で、どなたでも参加いただけます。遊べる ゲーム：ディクソット、ジャンクアート)		料金を記載しないものは参加無料です。 モノガタリ人たちのモノガタリ 八戸市美術館スタッフのコレクションから 日時：5月3日(水・祝)～5月9日(日) 10:00～19:00 レトロゲーム、駄洒落タズ、其十二間のレン ジンなど、美術館スタッフの“超”アノバー コレクションを大公開!コレクションを通して スタッフの人間性が垣間見える展示です。		マステでオリジナル八幡馬をつくろう! 日時：5月4日(木・祝)10:00～12:00、 13:00～15:00(両時所限あり) マステで自由にデザインし、自 分だけのオリジナル八幡馬をつくろう! 料金は1,500円(マステは200円、用紙 代金は300円) 協力：株式会社八幡馬	
みんなでお絵かき! デジタルライブペインティング 日時：5月5日(金・祝)10:00～12:00、 13:00～16:00(両時所限あり) ペインティングソフトとプロジェクターを使っ て、ジャイアントルームに絵を描いて楽しめ ば! 講師：加藤直礼氏、Ayako Shirohara 氏		どこでも Park 日時：5月7日(土)10:30～12:00、 13:00～17:00(両時所限あり) 小さな公園(パーク)のジオラマづくり。 (ネット予約も受付可。小さなお子様は保護者の方 と一緒に参加ください。所要時間は30～45分。) 参加料：500円 講師：三浦きよ美氏 (Spire Antenna)		ラクガキでつくる、ジャイアント迷路! 日時：5月8日(日)10:00～17:00(両 時所限あり) 美術館のジャイアントルームに迷路が出現! ビデオの通りにラクガキをしましょう。 講師：東方智平氏 (八戸工業大学講師)	
スタジオイベント 「飯の神楽」映像上映 日時：4月29日(金・祝)～5月8日(日) 10:00～19:00(5月1日、5月7日を除く) 企画展「持続するモノガタリ」の展示作 品のモチーフにもなった「飯神子」をはじめ ぬ、青森県形原地区伝説「飯の神楽」 の映像を大画面で鑑賞いただけます。 協力：八戸市教育委員会		館長トーク「おもしろい建築の話」 日時：5月1日(日)13:30～14:30 国内・海外の変わった建築物や面白い 建われ方をされている建物などを紹介。 建築の魅力を伝えることができる一ツ いイベントです。 出演：佐藤慎也氏(八戸市美術館館長)		料金を記載しないものは参加無料です。 打楽器集団 el gesto 打楽器ライブ&打楽器体験 日時：5月7日(土)13:30～15:30 市内を中心に活動している打楽器集団 el gestoによる打楽器ライブと、参加者が打楽 器を触ることができるワークショップを開催します。 (体験は事前予約ですが、当日お申し込みでも可です。) 出演：打楽器集団 el gesto (エムゲスト)	
ツアー 建築ツアーガイド 日時：4月30日(土)①11:00～12:00②14:00～15:00 集合場所：ジャイアントルーム 美術館で活動するアーティストや、八戸市美術館の建築の 魅力を独自の目線で紹介するツアーです。 参加料：無料(車庫券500円) 定員：各回10名(体験者、当日受付)		前編中の展覧会 【企画展】「持続するモノガタリ-語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」 【コラボレーション展】「持続する建築-建築途中に佇む」 【ギャラリー1】「二人展 フォトグラフ memo(5月4日～5月9日)」		新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策について ○八戸市美術館では、次の対策を行っています。 館内の感染予防対策(換気設備の稼働やアルコール消毒液の設置) ○来館のみなさまへお願い ・来館のようないざみや体調がすぐれない方は来館をお控えください。 ・入館時の検温・手洗いやマスクの着用にご協力ください。 ○今後の感染状況によっては、イベントも中止・延期することがあります。	
八戸ポータルミュージアム はっちのゴールデンウィーク 4月29日(金・祝)～5月1日(日) 14:00～15:00 探検! 4月29日(金・祝)～5月8日(日) ミッドナイト「八戸の歴史文化にふれる展」 5月3日(水・祝)～5月5日(金・祝) アップレリアアートワークショップ		問合せ・お申込み 八戸市美術館 〒031-0403 青森県八戸市大字巻町10-4 Tel: 0178-65-6530 FAX: 0178-64-6531 MAIL: art@city.hachinohe.aomori.jp HP: https://hachinohe-art-museum.jp 八戸市美術館から送られたお申し込み用紙、お申し込み用紙を添付していただきます。		連絡先は公式HPへ 	

ジャイアントサマー

1. 事業内容

夏休み期間に、まだ美術館に来たことがない・美術館に興味がない方をメインターゲットに、ジャイアントルームや広場を中心に集客イベントを開催した。「まるごと馬場のぼる展」にちなんだプログラムや街中イベントなどと合わせ、サマープログラムを実施することで中心街の賑わいを創出し、街中の回遊性を高めるとともに、各イベントにおいて各実施団体・個人と共催することで、新たな共創パートナーの開拓を図った。

2. 開催データ

会期 | 2022年7月2日(土)～8月29日(月)

会場 | ジャイアントルームほか

主催 | 八戸市美術館

チラシ | A4、2頁

デザイン:佐々木亜希子(八戸市広報統計課シティブロモーション推進室)

「11ぴきのねこ」写真撮影会

(p.22 参照)

「11ぴきのねこマラソン大会」ジャイアントぬりえ

(p. 22参照)

アートボードゲームで遊ぼう!

開催日 | 2022年7月16日(土)、17日(日) 10:00～15:00

場所 | ジャイアントルーム

内容 | 「ジャンクアート」、「11ぴきのねこすごろく」のアートボードゲームを自由体験できるコーナーを設置。

美術館バックヤードツアー

開催日 | 2022年7月16日(土)、17日(日) 14:00～14:30

集合 | ジャイアントルーム

定員 | 各10人

内容 | 普段は見られない、美術館のバックヤードを職員が案内。

「11ぴきのねこ」かるた大会

開催日 | 2022年7月31日(日) 13:30～15:30

場所 | スタジオ

定員 | 12チーム(2人1組)

内容 | 「11ぴきのねこ」のかるたを使ったかるた大会を開催。

ねこdeまちなかいかいぐいツアー

開催日 | 2022年8月7日(日)、11日(木・祝) 10:30～12:00

集合 | ジャイアントルーム

定員 | 12チーム(2人1組)

内容 | 「11ぴきのねこ」にちなんで、ねこのコスプレやねこグッズを身に着けて参加してもらい、中心街回遊企画に参加している中心街の店舗を巡るツアーを開催。買ったものを美術館で飲食し、楽しんだ。

夏休み工作室

開催日 | 2022年7月23日(土)～8月21日(日) 10:00～17:00

場所 | ワークショップルーム

内容 | 宿題の絵を描いたり工作したり、自由に使える場として、夏休み期間中にワークショップルームを一般開放した。

5. イベント

ジャイアントサマー

3. 開催の様子



夏休み工作室



「11びきのねこマラソン大会」ジャイアントめりえ



アートボードゲームで遊ぼう!



ねこdeまちなかかいぐいツアー

4. チラシ

八戸市美術館 夏休みイベント

2022
7.2 SAT.
↓
8.29 MON.
参加無料

Giant Summer

- 「11びきのねこ」写真撮影会
- 「11びきのねこマラソン大会」ジャイアントめりえ
- アートボードゲームで遊ぼう!
- 美術館バックヤードツアー
- 「11びきのねこ」かるた大会
- ねこdeまちなかかいぐいツアー
- 夏休み工作室

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

びぎ

チラシ (表裏)

八戸市美術館 夏休みイベント ジャイアントサマー

すべて参加無料 /

- 「11びきのねこ」写真撮影会
7月2日(土)~7月16日(日) 11:00~14:30
会場: ジャイアントルーム 料金: 1回50組
※先着順。30分前から整理券を配布します。
※「11びきのねこ」と一緒に写真撮影できます!
- 「11びきのねこマラソン大会」ジャイアントめりえ
7月2日(土)~8月29日(月) ※毎週火曜日は休館
10:00~19:00
※「まるごと馬場のぼる展」の会期中に、「11びきのねこマラソン大会」のジャイアントめりえが出現!
- アートボードゲームで遊ぼう!
7月16日(土)~7月17日(日)
10:00~15:00
会場: ジャイアントルーム 料金: 無料
※アートゲームのボードゲームで遊んでみませんか? ルールは簡単! 子どもから大人まで、どなたでも体験いただけます。(ゲームの種類は9/29まで110本のねこです)
- 美術館バックヤードツアー
7月16日(土)~7月17日(日)
14:00~14:30
会場: ジャイアントルーム 料金: 無料
※7/15までに電話またはメールで
※要予約。要予約。要予約。要予約。
- 「11びきのねこ」かるた大会
7月31日(日)
13:30~15:30 (13:00受付開始)
会場: スタジオ 料金: 12チーム(2人組)
※7/22までに電話またはメールで
※予選や決勝など2人組で、チーム名を決めてお申込みください。
※「11びきのねこ」のかるた大会! 上位入賞者には賞品があります。家族やお友達同士で目指せ優勝!
- ねこdeまちなかかいぐいツアー
8月7日(日)~8月11日(木曜)
10:30~12:00
会場: ジャイアントルーム
※それぞれ前日までに電話またはメールで。
※「11びきのねこ」にもなで、ねこのコスプレやねこグッズを身につけて中庭のぼる展ツアーで、最高級デパートのあるとろやびぎが受け入れられるお店もあります!
- 夏休み工作室
7月23日(土)~8月21日(日) ※毎週火曜日は休館
10:00~17:00
会場: ワークショップルーム 料金: 無料
※夏休み期間中にワークショップルームを大開放! 宿題の絵を描いたり工作したり、自由にお楽しみいただけます。

開催中の展覧会情報

まるごと馬場のぼる展
描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!

7月2日(土)~8月29日(月)
10:00~19:00 (入場は18:30まで)
※休館日: 毎週火曜日

お問い合わせ・お申込み 八戸市美術館

031-0031 青森県八戸市大字榎町10-4
0178-45-8338 0178-24-4531
art@city.hachinohe.aomori.jp
https://hachinohe-art-museum.jp

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

5. イベント

開館1周年!
美術館の誕生日

開館1周年! 美術館の誕生日

1. 事業内容

開館1周年を記念して、館内の賑わいを創出するとともに、市民・地域の自由な創造の場であることを発信することを目的とし、実施したものを。

2. 開催データ

開催日 | 2022年11月3日(木・祝) 10:00~19:00

参加料 | 無料

主催 | 八戸市美術館

チラシ | A4、2頁

デザイン: 類家舜

お祝いステージ

内容 | 法霊神楽、八戸東高校書道パフォーマンス

場所 | ジャイアントルーム

キッチンカー出店

場所 | ジャイアントルーム

出店者 | ゴーゴーカレー、STOKED Doughnuts、たこ焼きやきやき裕次郎、茶居花、Toshi'sDINER、Fruits kitchen RONRON、蜜芋屋hana、yummy's、Rira Café

アートファーマープロジェクト

種さがしラボ02 館長座談会「美術館のアクセシビリティ」

場所 | ジャイアントルーム

ゲスト | 森司(アーツカウンシル東京)、和田夏実(インタープリター)

参加者数 | 30人程度

内容 | 佐藤館長がゲストを迎え、これからの八戸市美術館について考える座談会。

建築ツアーガイド

内容 | アートファーマーによる館内ガイドを午前・午後各1回実施。

5. イベント

開館1周年!
美術館の誕生日

3. 開催の様子



法霊神楽



八戸東高校書道パフォーマンス



館長座談会「美術館のアクセシビリティ」



4. チラシ

11月3日 開館1周年!

(木・祝) 10:00 ~ 19:00

美術館の誕生日

2021年11月3日にオープンした八戸市美術館の
開館1周年を記念して、さまざまなイベントを開催します。
みなさま、ぜひお越しください!

**11/3 (祝) は
観覧無料!**

ホワイトキューブ/ブラックキューブ

写真のまち八戸
佐藤時啓—八戸マジックランタン—

時間 | 10:00 ~ 19:00 最終入場 18:30 まで

**11/3 (祝) 1階
お祝いステージ**

時間・内容
10:30 法雲山龍神社 法霊神楽
11:00 八戸東高等学校書道部 書道パフォーマンス

**11/3 (祝) 2階
お祝いステージ**

時間・内容
10:30 法雲山龍神社 法霊神楽
11:00 八戸東高等学校書道部 書道パフォーマンス

**11/3 (祝) 2階
キッチンカーがやってくる**

時間 | 10:00 ~ 観客出店、なくなり次第終了

**11/3 (祝) 2階
コレクションラボ**

コレクションラボ 002
地をみつめる

時間 | 10:00 ~ 19:00

**11/3 (祝) 2階
スタジオ**

ワークショップ
きえちやう写真を撮ろう
—うごく世界ととまった世界—

時間 | 11:00 ~ 13:00 ~ 14:00
(各 40 分程度)
参加費 | 無料

**11/3 (祝) 2階
お祝いステージ**

時間・内容
11:30 八戸市美術館建築ツアー
13:00 館長座談会「美術館のアクセシビリティ」

チラシ (表裏)

タイムスケジュール

今年4月11月3日 (木・祝) 10:00 ~ 19:00

<p>10:00</p> <p>企画展「佐藤時啓—八戸マジックランタン—」</p> <p>11/3 (木・祝) 観覧無料! 時間 10:00 ~ 19:00 最終入場 18:30 まで 観覧 ホワイトキューブ、ブラックキューブ</p> <p>コレクションラボ 002「地をみつめる」</p> <p>時間 10:00 ~ 19:00 観覧 コレクションラボ</p> <p>【大学連携プロジェクト】無料託児ルーム</p> <p>保育士を招き学生が運営する、来館者のための託児スペースです。 観覧 2階 八戸空想まちなみラボ 参加方法 無料申し込み書 (当日受付) 問い合わせ 八戸市美術館観覧課センター</p> <p>キッチンカーがやってくる</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>出店</th> <th>11/3 (木・祝)</th> <th>11/4 (金)</th> <th>11/5 (土)</th> <th>11/6 (日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バーベキュー</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>STONES Toughness</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>たこ焼きお好み焼き店</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Tsuyasudine</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Fruits kitchen BONDON</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>まよたま</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Yumeya</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Vita Cafe</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>	出店	11/3 (木・祝)	11/4 (金)	11/5 (土)	11/6 (日)	バーベキュー	●	●	●	●	STONES Toughness	●	●	●	●	たこ焼きお好み焼き店	●	●	●	●	Tsuyasudine	●	●	●	●	Fruits kitchen BONDON	●	●	●	●	まよたま	●	●	●	●	Yumeya	●	●	●	●	Vita Cafe	●	●	●	●	<p>11:00</p> <p>【大学連携プロジェクト】ワークショップ きえちやう写真を撮ろう—うごく世界ととまった世界—</p> <p>—見知らぬ写真を使ったSNSインフォグラフィックの制作体験。うごくものが 出てくるような写真を写真と撮って遊ぼう。撮った写真はSNSに 公開して「シェアせよ」!</p> <p>時間 11:00 ~ 13:00 ~ 14:00 ~ (各 40 分程度) 観覧 無料 参加費 500円 申し込み 当日受付 問い合わせ 八戸市美術館観覧課センター</p> <p>13:00</p> <p>お祝いステージ</p> <p>時間・内容 13:00 ~ 八戸東高等学校書道部 書道パフォーマンス 観覧 ジャイアントルーム</p> <p>【大学連携プロジェクト】ワークショップ きえちやう写真を撮ろう—うごく世界ととまった世界—</p> <p>時間 13:00 ~ 15:00 観覧 ジャイアントルーム</p> <p>【アートファーマープロジェクト】八戸市美術館建築ツアー</p> <p>【大学連携プロジェクト】ワークショップ きえちやう写真を撮ろう—うごく世界ととまった世界—</p> <p>時間 15:00 ~ 17:30 観覧 ジャイアントルーム</p> <p>館長座談会「美術館のアクセシビリティ」</p> <p>休館前がラストを飾り、これからの八戸市美術館について考える座談会。 今回は「アートファーマープロジェクト」のメンバーが参加し、開館以来の成 り上りの軌跡も中絶を第一歩として語り、インタープランター（障壁） として活動する和歌山県民をゲストに迎え、「美術館のアクセシビリティ」を テーマに語り合う。</p> <p>時間 18:00 ~ 19:00 観覧 ジャイアントルーム</p> <p>19:00</p> <p>【アートファーマープロジェクト】八戸市美術館建築ツアー</p> <p>八戸市美術館の建物の特徴や情報を、常駐スタッフ「アートファーマー」 がご案内します。</p> <p>時間 19:00 ~ 19:30 ~ (各 30 分程度) 観覧 ジャイアントルーム・緑色のカーブ 参加費 無料 申し込み 当日申し込み書 (当日受付) 観覧 無料</p> <p>お祝いステージ</p> <p>時間・内容 19:30 ~ 法雲山龍神社 法霊神楽 観覧 ジャイアントルーム</p>
出店	11/3 (木・祝)	11/4 (金)	11/5 (土)	11/6 (日)																																										
バーベキュー	●	●	●	●																																										
STONES Toughness	●	●	●	●																																										
たこ焼きお好み焼き店	●	●	●	●																																										
Tsuyasudine	●	●	●	●																																										
Fruits kitchen BONDON	●	●	●	●																																										
まよたま	●	●	●	●																																										
Yumeya	●	●	●	●																																										
Vita Cafe	●	●	●	●																																										

※コロナウイルス感染症拡大防止の観点について
【1】市営施設などは、2021年11月3日を定めて取りやめます
※会場内の換気は確保しています。
※アートファーマープロジェクト、参加費を行っています。
※今後の感染症状況によっては、観覧イベントを中止・延期することとなります。

【お問い合わせ先】
事務局 | 〒035-0058 東京都中央区新富町1-10-4
Tel: 03-5561-4338 / Fax: 03-5561-4331 Mail: art@city.hachinohe.aomori.jp HP: https://hachinohe-art-museum.jp

5. イベント

あそらぼ2022～高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

あそらぼ2022 ～高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

参加者数 | 10組

1. 事業内容

冬休み期間に親子連れをメインターゲットにしたイベントとして、からくり作家の高橋みのるによる、木のからくりおもちゃとプロジェクションマッピングが融合したゲームの展示・体験を行った。また、東北新幹線八戸開業20周年記念事業に位置付け、関連サイトなどでの告知を行うことで観光客の集客を図り、美術館を起点とした中心街の賑わい創出を図った。

「ウルスラスイッチ」成果発表（ウルスラ学院中学校1年生技術科授業）

開催日 | 2022年12月17日（土）10:30～11:00

内容 | 展示の一部であるウルスラスイッチ（高橋みのるが指導し、ウルスラ学院中学生が考案したからくり装置）について、制作した生徒が発表を行った。

2. 開催データ

開催日 | 2022年12月10日（土）～25日（日）

場所 | ジャイアントルーム、スタジオ、ワークショップルーム

料金 | 無料

主催 | 八戸市美術館、あそらぼ実行委員会

チラシ | A4、2頁

デザイン：新光印刷株式会社

講演会

「赤ちゃんから高齢者までの多世代交流を促すおもちゃ美術館の挑戦」

開催日 | 2022年12月23日（金）14:00～15:00

講師 | 多田千尋（東京おもちゃ美術館館長）

参加者数 | 30人程度

ワークショップ

「ビー玉迷路を作ろうワークショップ」

開催日 | 2022年12月24日（土）10:00～12:00

講師 | 高橋みのる

参加料 | 600円

参加者数 | 12組

ワークショップ

「登り人形・ウェイクルンを作ろうワークショップ」

開催日 | 2022年12月25日（日）10:00～12:00

講師 | マーティー松橋

参加料 | 500円

5. イベント

あそらぼ2022～高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

3. 開催の様子



講演会



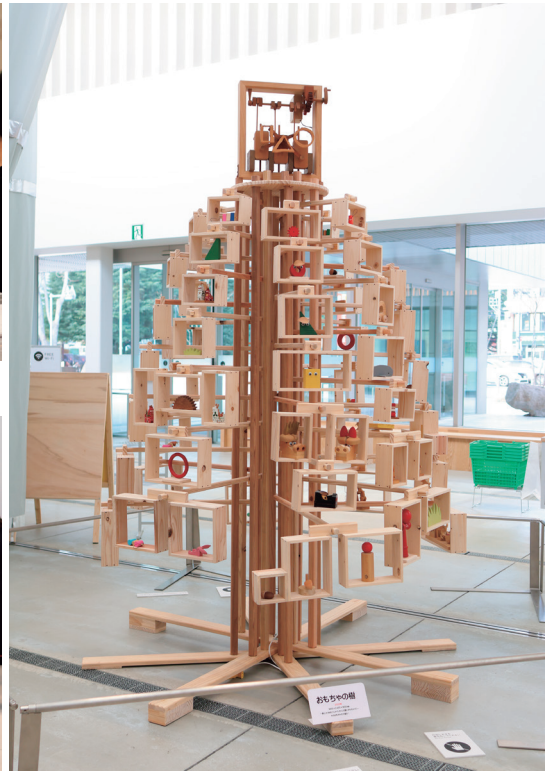
展覧会風景



「登り人形・ウェイクルンを作ろうワークショップ」



「ウルスラスイッチ」成果発表



展覧会風景

5. イベント

あそらぼ2022~高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

4. チラシ

東北新幹線八戸開業20周年記念
八戸市美術館 体験イベント

高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

あそらぼ 2022
ASO LABO

2022年 12月10日 | 土 | 12月25日 | 日 |

時間 10:00 - 18:00
観覧料 無料 会場 八戸市美術館

主催 | あそらぼ2022実行委員会 八戸市美術館

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

チラシ (表裏)

木のからくりアート作家・高橋みのる氏の
からくりおもちゃが美術館に大集合！
アナログ・デジタルの新感覚ゲームに挑戦しよう！
八戸聖ウルスラ学院中学校の生徒たちが考案した
からくりおもちゃ展

あそらぼ 2022
高橋みのるのゲームとからくりおもちゃ展

ワークショップ
ビー玉迷路を作ろう
12/24 (土) 10:00-12:00
ビー玉を転がして進む、木の迷路ゲームを作るワークショップ。
【講師】高橋みのる
【定員】12組
【参加料】600円
【場 所】ワークショップルーム
【申込み】電話またはメールで
代表者へ人数・電話番号をお知らせください。

ワークショップ
「登り人形・ウェイクル」を作ろう
12/25 (日) 10:00-12:00
ひもを引くとスズメと登っていくからくり人形を作るワークショップ。
【講 師】マツウー也哉
【定 員】10組
【参加料】500円
【場 所】ワークショップルーム
【申込み】電話またはメールで
代表者へ人数・電話番号をお知らせください。

Profile
高橋みのる
TAKAHASHI Minoru
八戸市を拠点とする木のからくり作家。「木」と「メカニズム」と「遊び心」の三つの要素を組み合わせさせた動きの世界を「メカニズム」と「ゲーム」から創り出す。ワークショップなどの創作活動を行う。2011年ポータルミュージアムはっち「からくり獅子舞仕掛時計」制作。2022年「第51回デューラー賞」受賞。

講演会
赤ちゃんから高齢者までの多世代交流を促すおもちゃ美術館の挑戦
12/23 (金) 14:00-15:00
全国各地で開催されている「おもちゃ美術館」の取組を紹介。
【講 師】東京おもちゃ美術館 実行委員 藤枝
【定 員】30名
【参加料】無料
【場 所】ロビーホール
【申込み】当日受付

お問い合わせ・ワークショップお申し込み
八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字藤野10-4 Tel.0178-64-8338 Fax.0178-24-4531
Mail: info@hachinohe-art-museum.jp 別荘街1-hachinohe-art-museum.jp
休館日: 火曜日 ※一般観覧場はございません(障がい者利用のみのあり)。

同時開催
■企画展「佐藤時彦 -八戸マジックランタン-」(～1/9) ※大学生以上有料、12/24は無料デー
■コレクション002「地をみつめる」(～1/16) ※無料

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

5. イベント

帆風美術館×八戸市美術館共催「新春屏風展」

帆風美術館×八戸市美術館共催「新春屏風展」

1. 事業内容

帆風美術館と八戸市美術館が共催し、帆風美術館が所蔵しているデジタル光筆画で原寸大に複製された屏風「風神雷神図」(原品:東京国立博物館)を、新春にあわせて展示。

また、琴や尺八の演奏や、落語、ミニ屏風をつくるワークショップなどの関連イベントを合わせて実施し、日本伝統文化に触れる機会を提供した。

2. 開催データ

会期 | 2023年1月2日(月)～23日(月)

会場 | ジャイアントルーム

観覧料 | 無料

主催 | 帆風美術館、八戸市美術館

観覧者数 | 6,883人

3. 関連イベント

新春 琴と尺八の調べ

開催日 | (1) 2023年1月2日(月) (2) 8日(日)
14:00～15:30

出演 | 松の実會鈴木操良慈、高橋巧山、土嶺懐山

会場 | ジャイアントルーム

参加者数 | (1) 70人 (2) 90人

内容 | 日本伝統の音色に触れる。

こどもワークショップ「屏風を作ろう」

開催日 | 2023年1月21日(土) 13:30～15:00

講師 | 佐貫巧(八戸学院大学短期大学准教授)、類家清敏(類家表具内装店)

会場 | ジャイアントルーム

参加料 | 1,000円

参加者数 | 15人

内容 | 見よう見まねでミニ屏風をつくる。

新春 落語と漫談の夕べ

開催日 | 2023年1月22日(日) 14:00～15:30

出演 | 大地球(落語)、ケン・シラハタ(マジック)

会場 | スタジオ

参加者数 | 55人

内容 | 大江戸の伝統話芸・落語とマジックのステージショー

6. その他事業

5館連携プロジェクト AOMORI GOKAN

1. 事業内容

青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、十和田市現代美術館、八戸市美術館の5つの美術施設による連携の取組を推進するための組織として2020年7月に「青森アートミュージアム5館連携協議会」(事務局：青森県立美術館)が設立された。県民および観光客の県内周遊を促進し、美術館への入館者数の増加につなげるため、5館連携の基盤を活用して、青森のアートの魅力を国内外への情報発信及び周遊促進に係る事業を行っている。

2. 開催データ

1. 5館共通ウェブサイトを活用した館の基本情報、 展覧会スケジュールの情報発信

URL | <https://aomorigokan.com>

2. 連携促進に係る協議・検討

2024年4月13日(土)～9月1日(日)に5館で共同企画「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」を開催することを決定し、AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会が設立された。

八戸市美術館ではこのアートフェスのメイン企画として「エンジョイ!アートファーム!!」の開催を検討。

3. 主なメディア掲載

雑誌 |

- ・フィガロジャポン
- ・ハーパーズバザー

はちとまネットワーク

1. 事業内容

フェリー航路で繋がる工業都市である青森県八戸市と北海道苫小牧市は、平成30年より、交流連携協定を締結し、さまざまな分野で交流を行っている。文化分野において、八戸市美術館は、苫小牧市美術博物館と連携を行っている。令和4年度はネットワーク会議が八戸市で開催され、八戸市美術館では、視察受入や会場提供を行った。

また、翌年度に苫小牧市美術博物館で予定される展覧会において、当館所蔵の作品の貸出を検討し、調査受入を行った。

2. 開催データ

はちとまネットワーク会議

開催日 | 2022年11月17日（木）、18日（金）

会場 | 八戸市内各所、八戸グランドホテル、八戸市美術館ジャイアントルーム（分野別担当課長会議会場）

内容 | 情報交換、次年度の事業に向けた打合せでの開催。

作品調査の受入

実施日 | 2023年1月24日（火）

7. 貸館

貸館

1. 特別貸館

2件

貸出期間 | 2023年1月20日(金)～22日(日)
事業名 | 第37回八戸工業大学第二高等学校美術
コース作品展
主催 | 八戸工業大学第二高等学校
会場 | ホワイトキューブ

貸出期間 | 2023年3月2日(木)～12日(日)
事業名 | 第26回「NHKハート展」八戸展
主催 | NHK青森放送局、八戸市、NHK構成文化
事業団、全国社会福祉協議会
会場 | ギャラリー2

2. 貸館説明会

開催日 | 2022年8月27日(土)、2023年3月25日
(土) 10:30～

3. 貸館

54件

※会場名のGRはジャイアントルーム

貸出期間 | 2022年4月8日(金)～10日(日)
事業名 | 第31回大日本書芸院八戸地区連合書道
展
主催 | 大日本書芸院八戸地区連合
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年4月14日(木)～17日(日)
事業名 | 第17回田端義彦写真展「一期一会」
主催 | 田端義彦
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年5月4日(水・祝)～9日(月)
事業名 | 二人展「フォトレツ」×mamo
主催 | 中村烈
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年6月3日(金)～5日(日)
事業名 | 第1回八美の会絵画展
主催 | 八美の会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年6月10日(金)～12日(日)
事業名 | 第16回三戸シャッタークラブ写真展
主催 | 三戸シャッタークラブ
会場 | GR展示エリア1・2

貸出期間 | 2022年6月17日(金)～19日(日)
事業名 | 第42回イーゼル会絵画展
主催 | イーゼル会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年6月24日(金)～27日(月)
事業名 | 八戸製氷冷蔵株式会社100周年×八戸
工業大学50周年記念ポスター展
主催 | 八戸工業大学
会場 | ギャラリー2

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2022年7月1日(金)～3日(日)
事業名 | 米内安芸写真教室第19回写真展「step by step」
主催 | 米内安芸写真教室
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年7月8日(金)～10日(日)
事業名 | 第39回青森二紀グループ展
主催 | 青森二紀グループ
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年7月15日(金)～17日(日)
事業名 | 東光会東北支部第4回展示会
主催 | 東光会東北支部
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年7月22日(金)～24日(日)
事業名 | 第19回樹の会
主催 | アトリエオガワ絵画教室・ピアノ教室
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2

貸出期間 | 2022年7月28日(木)～31日(日)
事業名 | 第75回書道芸術院役員作品巡回展及び北日本支局展
主催 | 公益財団法人書道芸術院
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2

貸出期間 | 2022年8月3日(水)～29日(月)
事業名 | 「いつもだれかが見ている」刊行記念「見えるものとかたるもの」
主催 | 八戸ブックセンター
会場 | GR

貸出期間 | 2022年8月5日(金)～7日(日)
事業名 | 表装を楽しむ短冊展
主催 | (株)八戸額装
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年8月7日(日)
事業名 | 渡辺さとる八戸ワークショップの集い
主催 | 渡辺さとる八戸ワークショップの集い
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2022年8月11日(木・祝)～13日(土)
事業名 | 諏訪内溪山の書-還暦を迎えて-
主催 | 諏訪内博彦
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年8月11日(木・祝)～14日(日)
事業名 | ペーパーフラワーアート展
主催 | 久保田久美絵
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年8月13日(土)～14日(日)
事業名 | サステナまつり2022
主催 | byeごみプロジェクト
会場 | GR展示エリア2

貸出期間 | 2022年8月20日(土)～21日(日)
事業名 | 日本習字作品展
主催 | 日本習字香墨会
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年8月26日(金)～28日(日)
事業名 | 季心書道展
主催 | 季心書道会
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1

貸出期間 | 2022年9月2日(金)～4日(日)
事業名 | 第50回北奥羽現展
主催 | 現代美術家協会北奥羽支部
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年9月9日(金)～11日(日)
事業名 | 第61回黒潮書道展
主催 | 黒潮書道会
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年9月16日(金)～18日(日)
事業名 | 漆畑幸男絵画展
主催 | 漆畑幸男
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年9月21日(水)～26日(月)
事業名 | 古川裕一展
主催 | 古川裕一
会場 | ギャラリー1

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2022年9月24日(土)～25日(日)
事業名 | 2022ヒロシマの高校生が描く「原爆の
絵」パネル展
主催 | 新日本婦人の会八戸支部
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年10月8日(土)～9日(日)
事業名 | 横丁オンリーユーシアター2022
主催 | 酔っ払いに愛を実行委員会
会場 | GR

貸出期間 | 2022年10月14日(金)～16日(日)
事業名 | 佐々木脩水彩画展
主催 | 佐々木脩
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年10月15日(土)～17日(月)
事業名 | グランフォート写真展
主催 | 株式会社グランフォート
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年10月16日(日)
事業名 | 未来創造作戦!? XX年後へのタイムカ
プセル(ワークショップ)
主催 | 八戸青年会議所
会場 | GR

貸出期間 | 2022年10月22日(土)～23日(日)
事業名 | 八戸工業大学まちなか学園祭/教育・
研究展示
主催 | 八戸工業大学
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2、スタジ
オ、ワークショップルーム、マエニワ

貸出期間 | 2022年10月23日(日)
事業名 | ハンドメイド展示販売会
主催 | CAPRiCE
会場 | GR展示エリア1・2

貸出期間 | 2022年10月27日(木)～31日(月)
事業名 | 未来創造作戦!?XX年後へのタイムカプセ
ル(展示)
主催 | 八戸青年会議所
会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年10月28日(金)～30日(日)
事業名 | 第63回チャーチル会八戸展
主催 | チャーチル会
会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2022年10月29日(土)～30日(日)
事業名 | 八戸市民劇場60周年記念例会ポス
ター・色紙展
主催 | 八戸市民劇場
会場 | スタジオ

貸出期間 | 2022年11月3日(木・祝)～6日(日)
事業名 | 鳥海山に見守られてダム湖に沈む桃源
郷 百宅
主催 | 佐藤義弘
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年11月5日(土)～6日(日)
事業名 | A I 人工知能アート展99作品-人工
知能が描いた美しい世界
主催 | 市川進也
会場 | GR展示エリア2

貸出期間 | 2022年11月11日(金)～13日(日)
事業名 | グループひまわり絵画展
主催 | グループひまわり
会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2022年11月13日(日)
事業名 | 三陸国際芸術祭 三陸芸能短期留学
～鮫神楽を習う～
主催 | 三陸国際芸術推進委員会
会場 | GR

貸出期間 | 2022年11月19日(土)～20日(日)
事業名 | 八戸市鷗盟大学第43回大学祭総合美
術展
主催 | 八戸市鷗盟大学
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2

貸出期間 | 2022年11月24日(木)～27日(日)
事業名 | 二科会写真部東北地区公募会
主催 | 二科会写真部青森支部
会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2

7. 貸館

貸館

貸出期間 | 2022年12月2日(金)～4日(日)

事業名 | 縄文是川ボランティア作品展

主催 | 縄文是川ボランティア

会場 | ギャラリー1

貸出期間 | 2022年12月7日(水)

事業名 | 松本一哉3rd album「無常」RELEASE
TOUR

主催 | 松本一哉

会場 | GR展示エリア2

貸出期間 | 2022年12月22日(木)

事業名 | あおもり共創ビジネスプログラム・キック
オフセミナー

主催 | 八戸学院大学

会場 | GR

貸出期間 | 2022年12月25日(日)

事業名 | インフィニート・コラルコ弦楽合奏団クリ
スマスコンサート

主催 | インフィニート・コラルコ弦楽合奏団

会場 | GR展示エリア2

貸出期間 | 2023年1月21日(土)～22日(日)

事業名 | 俊文書道会+YAM Pop掛軸展

主催 | 俊文書道会

会場 | ギャラリー2

貸出期間 | 2023年1月28日(土)～2月5日(日)

事業名 | 八戸国体メモリアルギャラリー

主催 | 特別国体青森県実行委員会事務局

会場 | GR

貸出期間 | 2023年2月4日(土)～26日(日)

事業名 | 泉山元・堀井裕子二人展「縄文人を尋
ねて」

主催 | 泉山 元・堀井裕子

会場 | ギャラリー1・2、スタジオ

貸出期間 | 2023年2月15日(水)～20日(月)

事業名 | 是川花六能面個展「心もよう」

主催 | いりおもて工房

会場 | GR展示エリア

貸出期間 | 2023年2月18日(土)

事業名 | フォーチュンシアター八戸 演劇ワーク
ショップ

主催 | フォーチュンシアター八戸

会場 | ワークショップルーム

貸出期間 | 2023年2月24日(金)～26日(日)

事業名 | 2022年度八戸工業大学感性デザイン
学部卒展

主催 | 八戸工業大学

会場 | GR、マエニワ

貸出期間 | 2023年3月4日(土)～5日(日)

事業名 | アクトプロジェクトToyBox 八戸市美術館
公演

主催 | アクトプロジェクトToyBox

会場 | ギャラリー1・2

貸出期間 | 2023年3月10日(金)～12日(日)

事業名 | 第51回八戸臨泉会書展・第74回八戸臨
泉会学生書道展

主催 | 八戸臨泉会

会場 | ギャラリー1・2、GR展示エリア1・2、スタジ
オ

貸出期間 | 2023年3月12日(日)

事業名 | 八戸ブックセンターギャラリー展「絵本を
建てる」ワークショップ

主催 | 八戸ブックセンター

会場 | GR

貸出期間 | 2023年3月15日(水)

事業名 | あおもり共創ビジネスプログラム成果報
告会

主催 | 八戸学院大学

会場 | スタジオ

貸出期間 | 2023年3月26日(日)

事業名 | HACHINOHE DIME CUP

主催 | HACHINOHE DIME

会場 | GR

8. データ

8. データ

入館者の状況

入館者の状況

1. 入館者数

月別入館者数

2022年	4月	3,632人	
	5月	6,289人	
	6月	10,535人	
	7月	14,553人	
	8月	21,197人	
	9月	6,739人	
	10月	15,836人	
	11月	10,599人	
	12月	8,026人	
	2023年	1月	8,679人
		2月	6,867人
		3月	7,031人

年度ごとの延べ入館者数

	年度入館者数	開館後総延べ入館者数
2021年度	24,329人	24,329人
2022年度	119,983人	144,312人

2. 視察見学受入

視察見学受入合計

184件

種別と件数

行政・議会	40件
美術館・文化施設（準備室含む）	9件
学校	58件
その他	77件

8. データ

広報

広報

1. WEBサイト

<https://hachinohe-art-museum.jp>

年間アクセス 158,711回 (2022年4月1日～2023年3月31日)

2. ソーシャルメディア

Twitter | @hachinohe_art_m

Instagram | @hachinohe_art_museum

Facebook | <https://www.facebook.com/HachinoheArtMuseum>

YouTube | @8artmuseum

3. 広報掲載実績

新聞 | 18件 (うち新聞連載8件)

デーリー東北、東奥日報、サンケイスポーツ、河北新報

テレビ | 4件

青森朝日放送、八戸テレビ

ラジオ | 11件

RAB青森放送、BeFM、NHK仙台放送局

雑誌 | 25件

月刊MOE、FIGARO JAPON、rakra、季刊 あおもりのき、BRUTUSほか

WEB | 14件

美術手帖、ELLE DÉCOR、サライ.jp、旅色FO-CALほか

その他 | 4件

八戸市美術館運営協議会

1. 八戸市美術館運営協議会

概要

八戸市美術館の運営や企画の検討にあたり、国内外の美術の動向や美術館運営のあり方、先進事例などに精通した専門家及び、地元関係者の視点からご意見・ご助言をいただくため、運営協議会を設置・運営する。

委員

会長 | 日比野克彦（東京藝術大学学長）

副会長 | 坂本禎智（八戸工業大学学長）

委員 | 池田亨（青森県立美術館美術統括監）

委員 | 伊藤達矢（東京藝術大学社会連携センター特任教授）

委員 | 漆畑幸男（八戸市に新美術館を熱望する市民の会代表）

委員 | 熊倉純子（東京藝術大学教授）

委員 | 志賀野桂一（東北文化学園大学特任教授）

委員 | 堤静子（八戸学院地域連携研究センター事務室長）

委員 | 馬渡龍（八戸工業高等専門学校准教授）

委員 | 三澤一実（武蔵野美術大学教授）

委員 | 安田真理子（八戸市立三条中学校校長）

委員 | 吉川由美（有限会社ダ・ハ プランニング・ワーク代表取締役）

開催状況

第1回委員会

開催日 | 2022年5月31日（火）

第2回委員会

開催日 | 2023年3月29日（水）

8. データ

運営(決算・組織)

運営(決算・組織)

1. 決算概要

決算内容	決算額(円)	比率
美術事業費	63,156,627円	26.0%
└ 各種展覧会・体験講座等	46,215,991円	
└ 写真のまち八戸事業	16,940,636円	
美術館整備事業費	13,986,405円	5.8%
運営経費	165,636,674円	68.2%
└ 施設維持管理経費	114,423,367円	
└ 一般管理事務経費	43,382,760円	
└ 美術品管理経費	7,830,547円	
合計	242,779,706円	100%

(職員人件費は含まない)

2. 組織

館長 | 佐藤慎也

副館長 | 高森大輔

美術専門監 | 山田泰子

総務経営グループ

副参事/グループリーダー | 水野茂樹

主査 | 山内伶奈

主事 | 竹高友里亜

技師 | 多田洸貴

一般事務員 | 小笠原夕子

一般事務員 | 類家舜

一般事務員 | 小林幸子

一般事務員 | 金子幸子

企画運営グループ

副参事/グループリーダー | 松倉寛幸

主査兼学芸員 | 大澤苑美

主事兼学芸員 | 篠原英里

主事兼学芸員 | 齊藤未来

主事兼学芸員 | 田村由衣

主事兼学芸員 | 高橋麻衣

主事兼学芸員 | 平井真里

テクニカル・コーディネーター | 神智

(2022年4月1日時点)

八戸市美術館条例

令和3年3月26日条例第10号

趣旨

第1条 この条例は、美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）の収集、保管及び展示並びに美術その他の芸術に関する調査研究及び普及活動を行うことにより、市民の文化及び芸術の振興に資するとともに、文化芸術活動を通じた様々な出会い、学び及び交流の機会を提供し、もって新たな文化の創造と八戸市全体の活性化を図るため、美術館を設置し、その管理について必要な事項を定めるものとする。

美術館の名称及び位置

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 八戸市美術館
- (2) 位置 八戸市大字番町10番地4

事業

第3条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）は、次の事業を行う。

- (1) 美術品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言及び指導に関すること。
- (3) 美術その他の芸術に関する調査及び研究に関すること。
- (4) 美術その他の芸術に関する講演会、講座等の開催に関すること。
- (5) 美術その他の芸術に関する情報の収集及び提供に関すること。
- (6) 美術その他の芸術に関する創作活動及び発表の場の提供に関すること。
- (7) 美術その他の芸術を通じた教育及び学習に関すること。
- (8) 学校等教育機関及び他の美術館、博物館その他の文化施設等との連携に関すること。
- (9) 文化芸術活動を通じたまちづくりの推進に関すること。
- (10) 文化芸術活動を通じた市民交流の推進に関すること。
- (11) その他美術館の設置目的を達成するために必要な事業

観覧料

第4条 美術館の観覧料は、別表第1のとおりとする。
2 前項に規定する観覧料（以下「観覧料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

使用の許可及び条件

第5条 美術館の施設のうち有料で使用させるもの（以下「有料施設」という。）を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可に当たって、その使用について条件を付けることができる。

使用制限

第6条 市長は、有料施設の使用が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用を許可しない。

- (1) 風俗又は公益を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 建物又は附属物を損傷するおそれがあると認めるとき。
- (3) 美術館の管理に支障があると認めるとき。
- (4) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。
- (5) その他市長が不適当と認めるとき。

使用条件の変更等

第7条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、有料施設の使用条件を変更し、又はその使用を停止し、若しくは使用許可を取り消すことができる。

- (1) この条例若しくはこれに基づく規則又は使用許可の条件に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正の行為により使用の許可を受けたとき。
- (3) 使用の許可後前条各号のいずれかに該当することが判明し、又は該当することとなったとき。
- (4) 公益上やむを得ない理由が生じたとき。

2 前項の規定（第4号の場合は、災害等による緊急の必要があるときに限る。）により使用条件を変更し、又は使用を停止し、若しくは使用の許可を取り消した場合において、当該変更、停止又は取消しにより、第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）に損害を及ぼすことがあっても、市はその賠償の責めを負わない。

使用料

第8条 有料施設の使用料は、別表第2及び別表第3のとおりとする。

2 前項に規定する使用料（以下「使用料」という。）は、前納しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

観覧料等の還付

第9条 既納の観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）は、還付しない。ただし、災害その他不可抗力により観覧し、又は使用することができなくなったとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

観覧料等の減免

第10条 市長は、公益上必要があると認められるとき、その他特別の理由があると認めるときは、観覧料等を減額し、又は免除することができる。

目的外使用等の禁止

第11条 使用者は、有料施設又は附属設備を、その許可を受けた目的以外の目的に使用し、又はその権利を他に転貸し、若しくは譲渡してはならない。

特別設備の設置等の許可

第12条 使用者が有料施設の使用に当たって、特別の設備を設置し、又は特殊物品の搬入をしようとするときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。

使用者の原状回復義務

第13条 使用者は、その使用を終わったとき、又は第7条第1項の規定により使用を停止されたとき、若しくは使用許可を取り消されたときは、直ちにその使用場所を原状に回復して返還しなければならない。ただし、同項第4号の場合において、市長がその義務を免除したときは、この限りでない。

2 使用者が前項本文の規定による義務を履行しないときは、市長がこれを代行し、使用者からその費用を徴収する。

秩序保持

第14条 使用者及び入場者は、美術館の秩序保持及び施設的良好な保全に努めなければならない。

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

2 使用者及び入場者は、常に係員の指示に従わなければならない。

入場の拒否等

第15条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入場を拒否し、退場を命じ、又はその他の必要な措置をとることができる。

- (1) 感染性疾患があると認められる者
- (2) 美術館の秩序又は公益を害するおそれがあると認められる者
- (3) 係員の指示に従わない者
- (4) その他管理上入場を不適当と認める者

損害賠償

第16条 美術館の施設、設備、資料等を損傷し、又は滅失した者は、市長の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害の賠償をしなければならない。

美術館運営協議会

第17条 美術館の円滑な運営を図るため、八戸市美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、美術館の運営に関し必要な事項について協議し、市長に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

美術館美術品等収集委員会

第18条 美術品等の適切な収集を図るため、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、美術品等の収集について調査審議し、市長に対して意見を述べるものとする。

3 前2項に定めるもののほか、委員会の組織及び運営等について必要な事項は、市長が定める。

委任

第19条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則

施行期日

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第5項の規定は公布の日から、第17条、第18条並びに附則第3項及び第4項の規定は令和3年4月1日から施行する。（令和3年9月規則第86号で、同3年11月3日から施行）

八戸市美術館条例の廃止

2 八戸市美術館条例（平成23年八戸市条例第11号）は、廃止する。

八戸市附属機関設置条例の一部改正

3 八戸市附属機関設置条例（平成25年八戸市条例第6号）の一部を次のように改正する。

別表の1八戸市新美術館運営検討委員会の項を削る。

八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

4 八戸市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和31年八戸市条例第26号）の一部を次のように改正する。

別表第1及び別表第2中「新美術館運営検討委員会の委員」を削り、「美術館運営協議会の委員」を「美術館運営協議会の委員美術館美術品等収集委員会の委員」に改め

る。

準備行為

5 この条例を施行するために必要な準備行為は、この条例の施行前においても行うことができる。

別表第1（第4条関係）

観覧料	全額
コレクションラボ展示	無料
企画展示及びコレクション特別展示	1人につき2,000円を超えない範囲内で市長がその都度定める額

備考

コレクションラボ展示とは美術館が収蔵する美術品等を活用して日常的に行う展示を、企画展示及びコレクション特別展示とは美術館が特別に行う展示をいう。

別表第2（第8条関係）

使用料

(1) 展示室等

	基本区分			複合区分		
	午前 午後	午後 夜間	夜間	午前 午後	午後 夜間	午前 夜間
	開館時刻から午後1時まで	午後1時から午後5時まで	午後5時から閉館時刻まで	開館時刻から午後5時まで	午後1時から閉館時刻まで	開館時刻から閉館時刻まで
ギャラリー1	1,280	1,710	850	2,990	2,560	3,850
ギャラリー2	2,600	3,470	1,730	6,070	5,200	7,810
ホワイトキューブ	9,340	12,450	6,220	21,790	18,680	28,020
ブラックキューブ	820	1,100	550	1,930	1,650	2,480
コレクションラボ	1,830	2,440	1,220	4,270	3,660	5,490
スタジオ	1,950	2,600	1,300	4,550	3,900	5,850
ワークショップブルーム	1,140	1,520	760	2,660	2,280	3,420
ジャイアントルーム 展示エリア1	680	910	450	1,600	1,370	2,060
ジャイアントルーム 展示エリア2	950	1,270	630	2,230	1,910	2,870
ジャイアントルーム 展示エリア3	1,100	1,460	730	2,560	2,200	3,300
会議室1	380	510	250	890	760	1,150
会議室2	310	420	210	740	630	950
会議室3	400	540	270	950	810	1,220
ジャイアントルーム その他エリア	占有して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円					
ティールーム	占有して使用する場合に限り、1時間当たり6円					

(2) 広場

区分	広場
金額	占有して使用する場合に限り、1平方メートルにつき1時間当たり6円

(3) 設備、器具等
市長が定める額

備考

1 1,000円を超える入場料等（入場料、会費、入場整理費その他名称のいかんにかかわらず、催物1回について入場者が支払

8. データ

関係規約
八戸市美術館条例

う対価をいい、座席等により入場の対価の額が異なる場合は、その最高額とする。)を徴収して施設を使用する場合又は物品の販売を伴う場合の使用料は、規定使用料の額の100分の200に相当する額とする。

2 美術館内で開催する予定の催物の準備、撤収等のみを行うために使用する場合の使用料の額は、規定使用料の額(前項の規定に該当する場合は、同項の規定により算出した額)の100分の50に相当する額とする。

3 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合の使用料の額は、当該超過し、又は繰り上げて使用する時間1時間(当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。)につき、それぞれの規定使用料(前2項の規定に該当する場合は、それぞれの規定により算出した額)の1時間当たりの額の100分の120に相当する額とする。

4 この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

別表第3(第8条関係)

サテライト施設の使用料

区分	多目的室
金額	月額168,000円

備考

1 使用期間が1月に満たないときは、1月を30日とする日割計算により計算する。

2 電気料は、別に実費を徴収することができる。

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

八戸市美術館条例施行規則

令和3年9月17日規則第87号

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

開館時間

第2条 八戸市美術館（以下「美術館」という。）の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、同項に規定する開館時間を変更することができる。

休館日

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- 1) 火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下単に「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）
- 2) 12月29日から翌年1月1日まで

2 前項の規定は、同項の休館日に有料施設（条例第5条第1項に規定する有料施設をいう。以下同じ。）の使用許可を受けた者が当該使用許可に係る有料施設を使用することを妨げない。

観覧料の納付

第4条 美術館の観覧料（以下「観覧料」という。）は、観覧券の交付を受ける際に納付しなければならない。

使用期間

第5条 有料施設の使用期間は、サテライト施設を除き、同一使用につき引き続き6日を超えることができない。ただし、市長が必要があると認めるときは、この限りでない。

2 サテライト施設の使用期間は、1年以内とし、市長が必要があると認めるときは、これを更新することができる。

使用者登録

第6条 次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約を初めて行おうとする者は、あらかじめ、八戸市美術館施設使用者登録申込書（別記第1号様式。次項において「申込書」という。）を市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申込みがあった場合は、その記載事項を確認し、当該申込みをした者について次条第1項の規定による申請又は第9条第1項の規定による仮予約ができる者として登録（以下「使用者登録」という。）をするものとする。この場合において、市長は、当該申込みをした者（団体にあっては、その代表者又は連絡担当者（代表者に代わりこの規則に定める手続を行う者として選任されている者をいう。））に対し、その者の氏名、住所、生年月日等が記載された書類その他申込書の記載事項に誤りがないことを確認するために必要な書類の提示を求めることができる。

3 市長は、使用者登録を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、これを取り消すことができる。

- 1) 条例、この規則又は施設の使用、維持管理等に関する法令に違反したとき。

- 2) 偽りその他不正な手段により使用者登録を受けたとき。
- 3) 有料施設の使用料（以下「使用料」という。）の支払その他の債務を履行しないとき。
- 4) その他市長が使用者登録を不適当と認めるとき。

4 第2項の規定により使用者登録を受けた者は、登録内容に変更が生じたときは、遅滞なく、市長に届け出なければならない。

5 前各項に定めるもののほか、使用者登録に関し必要な事項は、別に定める。

使用許可の申請手続等

第7条 条例第5条第1項の規定により有料施設の使用許可を受けようとする者は、八戸市美術館施設使用許可申請書（別記第2号様式）を、市長に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める期間内に提出しなければならない。ただし、市長が相当な理由があり、かつ、美術館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

- 1) 第9条第1項の規定による仮予約をした場合の使用許可 当該仮予約の決定を受けた日から施設を使用する日（施設を使用する日が連続して複数ある場合は、その初日。以下「使用日」という。）前10箇月に当たる日の属する月の末日まで
- 2) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用許可（前号に掲げるものを除く。） 使用日前10箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前7日に当たる日まで
- 3) サテライト施設の使用許可 使用日前12箇月に当たる日の属する月の初日から使用日前30日に当たる日まで

第8条 前条の規定にかかわらず、有料施設に売店を設置しようとする者は、売店設置許可申請書（別記第3号様式）に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- 1) 営業種目、販売品目及び価格、営業時間その他営業に関する計画を記載した書類
- 2) その他市長が必要と認める書類

仮予約

第9条 有料施設（ギャラリー1及び2、スタジオ、ワークショップルーム、ジャイアントルーム展示エリア1及び2、会議室1から3まで並びに広場に限る。次項において同じ。）を使用しようとする者は、次の各号に掲げる使用日の区分に応じ、当該各号に定める期間に、仮の使用の予約（以下「仮予約」という。）を行うことができる。

- 1) 使用日が1月から3月まで又は10月から12月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の9月中
- 2) 使用日が4月から9月までの間である場合 使用日の属する年度の前年度の4月中

2 前項の規定により、同一の有料施設を同一日の同一時間に使用したい旨の仮予約が複数の者からあったときは、市長は、抽選により当該有料施設を使用する者を決定するものとする。ただし、市長が特に必要があると認めるときは、抽選以外の方法により決定することができる。

使用許可書の交付等

第10条 市長は、第7条第1項又は第8条の申請書を受領した場合において、有料施設の使用を許可したときは、第7条第1項の申請者には八戸市美術館施設使用許可書（別記第4号様式）を、第8条の申請者には売店設置許可書（別記第5号様式）を交付する。

2 前項の規定により有料施設の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、有料施設の使用の際、同項の規定

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

により交付を受けた八戸市美術館施設使用許可書又は売店設置許可書（以下これらを「使用許可書」という。）を携帯し、係員の要求があったときは、これを提示しなければならない。

事前打合せ

第11条 使用者は、有料施設の使用に際しては、原則として事前に使用方法その他必要な事項について係員と打合せをしなければならない。

使用時間の超過又は繰上げ

第12条 使用者は、やむを得ない理由により当該許可に係る使用可能時間を超過し、又は繰り上げて有料施設を使用する必要があるときは、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。この場合において、当該超過又は繰上げは、超過又は繰上げのいずれか一方かつ1時間以内に限るものとする。

使用の変更

第13条 使用者は、許可を受けた事項を変更しようとするときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書（別記第6号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、サテライト施設の使用許可を受けた者は、自己の都合により、許可を受けた使用期間を短縮しようとするときは、短縮後の使用期間の末日前3箇月までに八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前2項の申請書を受理した場合において、使用の変更を承認したときは、八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を当該申請者に交付する。

使用の中止

第14条 使用者は、有料施設の使用を中止しようとするときは、八戸市美術館施設使用中止届（別記第7号様式）に使用許可書（前条第3項の規定により交付された八戸市美術館施設使用変更申請（承認）書を含む。第17条第2項及び第18条第3項において同じ。）を添えて、市長に届け出なければならない。

設備、器具等の使用料等

第15条 条例別表第2の規定により市長が定める設備、器具等の使用料は、別表のとおりとする。

2 使用する設備、器具等の設営及び撤去は、係員の指示に従って使用者が行うものとする。

使用料の納付

第16条 使用料は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める時期に納付しなければならない。

(1) 有料施設（サテライト施設を除く。）の使用料 第10条第1項の規定により使用許可書の交付を受けるとき。ただし、設備、器具等の使用料にあっては、当該使用終了時までに納付することができるものとする。

(2) サテライト施設の使用料 翌月分の使用料及び前月分の電気料を毎月末日まで

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる場合にあっては、市長の定める期限までに使用料を納付することができるものとする。

(1) 国又は地方公共団体が使用する場合

(2) その他市長がやむを得ない理由があると認める場合

観覧料等の還付

第17条 条例第9条ただし書の規定により還付する観覧

料及び使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他不可抗力により、観覧又は有料施設の使用ができなくなったとき 既納の観覧料又は使用料の全額
- (2) 条例第7条第1項第4号の規定により有料施設の使用ができなくなったとき 既納の使用料の全額
- (3) 有料施設の使用日前90日までに使用中の届出があったとき 既納の使用料の3割の額
- (4) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 観覧料又は使用料（以下「観覧料等」という。）の還付を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等還付申請書（別記第8号様式）に観覧券又は使用許可書及び観覧料等の領収書を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の還付を決定したときは、八戸市美術館観覧料等還付決定通知書（別記第9号様式）により当該申請者に通知する。

観覧料等の減免

第18条 条例第10条の規定により減額し、又は免除する観覧料の額は、次のとおりとする。

- (1) 当市が主催する行事において観覧するとき 観覧料の全額
- (2) 未就学児 観覧料の全額
- (3) 身体障害者手帳、愛護手帳、療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者（当該交付を受けている者に介護人がある場合にあっては、介護人1人を含む。）が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (4) 市内に住所を有する65歳以上の者が観覧するとき 観覧料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (5) 当市が発行する八戸ウェルカムチケットの提出を受けたとき 観覧料の全額
- (6) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

2 条例第10条の規定により減額し、又は免除する使用料の額は、次のとおりとする。

- (1) 市内の小学校、中学校又は特別支援学校が無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の全額
- (2) 市内の高等学校又は大学が無料で行う行事に有料施設を使用するとき 使用料の5割に相当する額（当該相当する額に10円未満の端数があるときは、これを切り上げた額とする。）
- (3) その他市長が特に必要があると認めるとき 市長が定める額

3 観覧料等の減額又は免除を受けようとする者は、八戸市美術館観覧料等減免申請書（別記第10号様式）に使用許可書を添えて市長に提出しなければならない。ただし、第1項第2号から第5号までの規定により減額又は免除を受けようとする者については、この限りでない。

4 市長は、前項の申請書を受理した場合において、観覧料等の減額又は免除を決定したときは、八戸市美術館観覧料等減免決定通知書（別記第11号様式）により当該申請者に通知する。

行為の禁止

第19条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 美術館の施設、設備等を損傷し、又は滅失すること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、若しくは他人に迷惑となる行為をし、又はこれらのおそれがある物品若しくは動物の類を携帯すること。
- (3) 許可なくして美術館が収蔵する美術品等（条例第1条に規

8. データ

関係規約

八戸市美術館条例施行規則

定する美術品等をいう。以下同じ。)の写真撮影又は拓本複写等の行為をすること。

- (4) 許可なくして物品の販売、宣伝その他営利行為をすること。
 - (5) 許可なくして印刷物、ポスター等を配布し、又は掲示すること。
 - (6) 美術館の施設及び敷地内において喫煙すること。
 - (7) 所定の場所以外において火気を使用すること。
 - (8) その他美術館の管理に支障がある行為
- 2 前項第3号の許可を受けようとする者は、八戸市美術館美術品等特別利用許可申請書(別記第12号様式)を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、前項の申請書を受理した場合において、これを許可したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等特別利用許可書(別記第13号様式)を交付する。

美術品等の寄託

第20条 美術館に美術品等の寄託をしようとする者は、当該美術品等に八戸市美術館美術品等寄託申請書(別記第14号様式)を添えて市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の申請書を受理した場合において、美術品等の寄託を受けることを決定したときは、当該申請者に八戸市美術館美術品等受託書(別記第15号様式)を交付する。

寄託美術品等の免責

第21条 市長は、寄託を受けた美術品等が災害その他の不可抗力によって損害を受けた場合にあっては、その賠償の責めを負わない。

(補則)

第22条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が定める。

附則

- 1 この規則は、条例の施行の日から施行する。
 - 2 八戸市美術館条例施行規則(平成23年八戸市規則第27号)は、廃止する。
 - 3 第7条第2項第1号及び第9条第1項の規定にかかわらず、この規則の施行の日から令和5年3月31日までの間の使用に係る同項に規定する仮予約及び当該仮予約をした場合の使用許可に係る第7条第2項第1号に定める申請書の提出期間については、市長が別に定める。
- 別表(第15条関係)

設備、器具等使用料

区分	設備等の名称	単位	金額(円)	摘要
照明設備	追加スポットライト	1個	140	ギャラリー1を使用する場合は15個まで、ギャラリー2を使用する場合は30個まで無料
展示設備	キャスター付き展示パネル	1枚	140	ジャイアントルーム展示エリア1又は2を使用する場合は各2枚まで、スタジオを使用する場合は4枚まで無料
映像設備	プロジェクター(備付)	1台	500	ブラックキューブ専用
	ポータブルプロジェクター	1台	300	
	壁掛けスクリーン	1台	200	スタジオ専用
	テレビモニター	1台	270	
音響設備	拡声装置	1式	270	スタジオ又はジャイアントルーム専用。有線マイク2本を含む。
	ワイヤレスマイク	1チャンネル	150	
その他	電池		実費	電池代は含まない。

備考

- 1 この表に定める使用料の額は、当該設備、器具等を使用する施設の使用許可に係る使用時間1時間当たり(追加スポットライト及びキャスター付き展示パネルにあっては、使用1日当たり)の額とする。
- 2 使用可能時間を超過し、又は繰り上げて使用する場合は使用料の額は、当該超過し、又は繰り上げて使用する時間1時間(当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、これを1時間とする。)につき、それぞれこの表に規定する使用料の額の100分の120に相当する額とする。
- 3 この表に基づいて算出した額に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。

8. データ

関係規約
八戸市美術館美術品等収
集委員会規則

八戸市美術館美術品等収集委員会規則

令和3年3月30日規則第41号

定める。

趣旨

第1条 この規則は、八戸市美術館条例（令和3年八戸市条例第10号）第18条第3項の規定に基づき、八戸市美術館美術品等収集委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

附則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。（別記第4号様式）を、第8条の申請者には売店設置許可書（別記第5号様式）を交付する。

調査審議事項

第2条 委員会は、八戸市美術館（以下「美術館」という。）が収集しようとする美術品及び美術その他の芸術に関する資料（以下「美術品等」という。）に関する次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 美術品等の購入の適否及び価格の評価に関すること。
- (2) 美術品等の寄贈の受入れに関すること。
- (3) その他収集に係る専門事項に関すること。

組織

- 第3条 委員会は、委員7人以内で組織する。
- 2 委員は、美術品等に関し専門的知識を有する者のうちから、市長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は、2年以内とする。ただし、再任を妨げない。
 - 4 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

委員長及び副委員長

- 第4条 委員会に、委員長及び副委員長各1人を置く。
- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
 - 3 委員長は、会務を総理する。
 - 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

会議

- 第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、新たに委員の委嘱が行われた後最初に招集すべき委員会の委員長の職務は、市長が行う。
- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
 - 3 委員は、調査審議の対象である美術品等に直接の利害関係を有する場合は、その議事に加わることができない。
 - 4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
 - 5 委員会の会議は、非公開とする。

資料の提出の要求等

に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

秘密の保持

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

庶務

第8条 委員会の庶務は、美術館において処理する。

委任

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の組織及び運営等に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って

施設概要

1. 設計者

設計者

西澤徹夫建築事務所・タカバンスタジオ設計共同体（東京都中央区）

施工者

鴻池組・田名部組・東復建設特定建設工事共同企業体（建築）

ダイダン・サカモト・葵特定建設工事共同企業体（機械）

ユアテック・溝口電気特定建設工事共同企業体（電気）

2. 概要

敷地概要

指定建ぺい率 | 100% (6,731.16㎡)

指定容積率 | 600% (40,386.96㎡)

防火地区 | 防火地域

用途地域 | 商業施設

接道 | 幅員13.205m、接道174m

建築概要

設置場所 | 八戸市大字番町10番地4

構造種別 | 鉄骨造

仕上 | 押出成形セメント板、ガルバリウム鋼板（外壁）

超速硬化ウレタン塗膜防水（一部押えコンクリート仕上）（屋根）

敷地面積 | 6,732.14㎡

建築面積 | 3,080.21㎡

延床面積 | 4,844.95㎡

階数 | 地上3階建て

杭・基礎 | 杭基礎

最高高さ | 19.23m

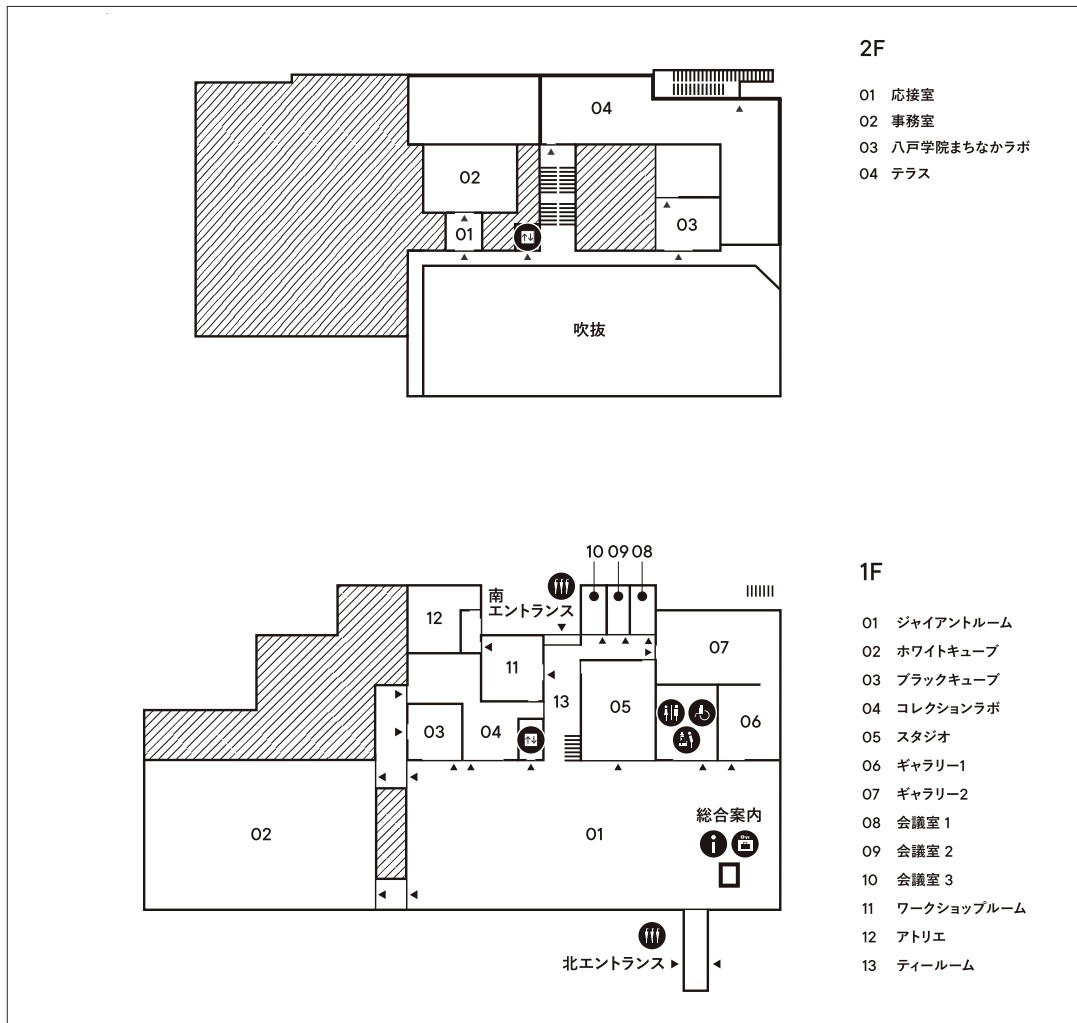
駐車場台数 | 10台（公用車用2台、来客者用2台、障がい者用2台、荷捌用2台、大型車用2台）

設計期間 | 2018年3月～2019年1月

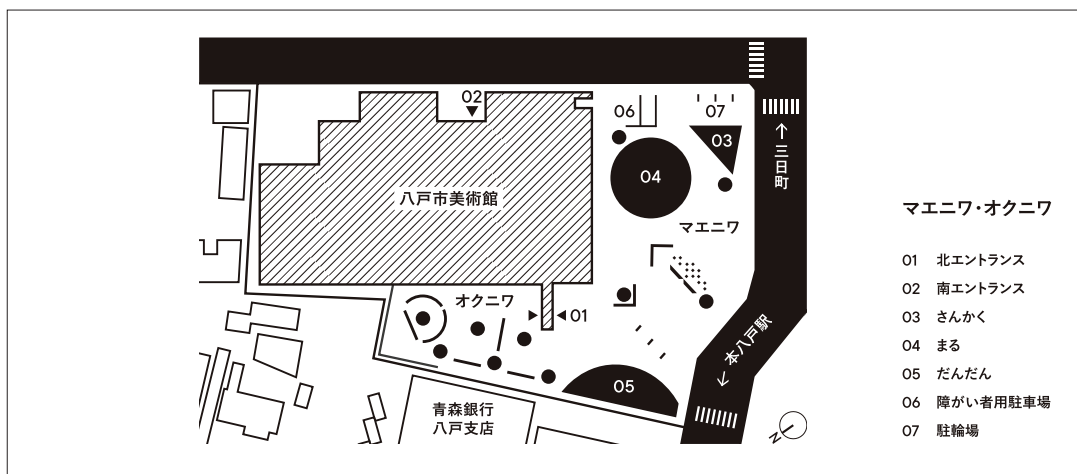
工事期間 | 2019年4月～2020年12月

8. データ

施設概要



館内マップ




館外マップ

8. データ

沿革

沿革

年月	項目
1985年 3月30日	大蔵省東北財務局青森財務事務所から市長あて「未利用国有地の買受け等勸奨について」の文書が送付される。
6月7日	上記買受け勸奨を受けて、新築移転する八戸税務署の跡地建物等の買受け要望のある旨回答（理由：八戸市美術展示館（仮称）として活用したい）。
9月18日	国有財産「八戸税務署」売払要望書を提出。
12月	「買受け等予定地等一覧表」が青森財務所長から送付され、買受けをする旨の確認書を提出。
1986年 2月25日	八戸市美術展示館（仮称）建設懇談会を設置。第1回会合、以降全5回開催。委員：月館唯師、小山田孝、田名部定吉、石橋正美（座長）、米内安芸。
3月24日	議会－八戸市美術展示館（仮称）用の建物として旧八戸税務署の買入れを議決。
4月12日	国有財産売払契約を締結。
7月	工事請負業者各社と契約締結。
9月20日	議会－八戸市博物館条例の一部を改正する条例を制定。名称「八戸市美術館」、博物館の分館とする。
10月29日	教育委員会－八戸市博物館条例施行規則の全部、八戸市博物館等規則の一部改正する規則を制定。
11月10日	八戸市美術館の工事終了。
11月21日	開館式。
11月22日	一般公開 開館記念特別展「日本現代美術秀作展－文化庁収蔵作品による」開催。
2011年 4月1日	教育委員会より市長部局まちづくり文化観光部へ移管。
2016年 4月1日	新美術館整備のため、新美術館建設推進室が設置。
2017年 8月8日	美術館解体のため、新美術館建設推進室事務所を移転（八戸市八日町9）。同事務所内に「はちのへまちなかアートラボCo部屋」を開設。
2019年 3月	「八戸市新美術館管理運営基本計画」策定。
4月	新美術館建物建設工事に着手。
2020年 3月	「八戸市新美術館 中期運営計画」策定。
12月	美術館本棟 竣工。
2021年 2月	新美術館建設推進室事務所を八戸市美術館内へ移転（八戸市大字番町10-4）。
3月	広場工事着手（9月完了）。
8月8日	イベント「美術館のプロローグ」実施。一般公開。
11月3日	（新）八戸市美術館開館。開館記念「ギフト、ギフト、」開催。
2022年 10月	2022年度グッドデザイン賞ベスト100に選出。
2023年 3月	第43回東北建築賞「作品賞」受賞。



八戸市美術館
令和4年度(2022年)
年報

編集・発行 | 八戸市美術館
〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4
Tel : 0178-45-8338
Mail : art@city.hachinohe.aomori.jp

発行 | 令和6年4月